平成２９年度実施事業 実施報告会

協 働 推 進 事 業

と　き　　平成３０年6月3日（日）
ところ　　市役所本庁舎４階　会議室２～５

【協働推進事業実施報告会】

９：００　開会（委員長あいさつ、委員紹介、実施報告についての説明）

９：１０　報告（平成２９年度に１年目として実施）

１１：０９　報告（平成２９年度に２年目として実施）

１２：３８　全体意見交換・あいさつ

１３：００　協働推進事業実施報告会　終了

茅ヶ崎市

平成２９年度実施協働推進事業　実施報告会
目　次

進行予定表 …… 1

平成２９年度実施協働推進事業について …… 2

協働推進事業の評価の実施について …… 3

茅ヶ崎市市民活動推進委員会委員構成名簿 …… 8

平成２９年度に１年目として実施

行政提案型協働推進事業

１　市制７０周年　茅ヶ崎市民文化会館改修工事期間を活用したメモリアル事業 …… 9
NPO 法人3F Community Service・文化生涯学習課

２　茅ヶ崎市の未来を考える政策コンテスト …… １７
特定非営利活動法人ドットジェイピー・企画経営課

市民提案型協働推進事業

３　ハマミーナ魅力 UP 大作戦 …… ４１
特定非営利活動法人まちづくりスポット茅ヶ崎・文化生涯学習課・福祉政策課

４　防災への動画活用 …… ５５
特定非営利活動法人湘南ふじさわシニアネット・防災対策課

５　中学生への学習支援事業―わかる喜びを、生きる力に― …… ６５
特定非営利活動法人こども応援丸・学校教育指導課

平成２９年度に２年目として実施

行政提案型協働推進事業

６　海岸利用におけるマナー啓発事業 …… ７５
サーフ９０茅ヶ崎ライフセービングクラブ・環境保全課・農業水産課・公園緑地課

７　柳島キャンプ場協働運営事業 …… ８３
NPO 法人茅ヶ崎つなぐ海と森・公園緑地課

８　ちがさき丸ごとふるさと発見博物館講座の動画配信及び事業 PR …… １１７
NPO 法人湘南スタイル・社会教育課

９　落書き防止、抑制のためのペイント事業 …… １３９
NPO 法人湘南スタイル・広域事業政策課

市民提案型協働推進事業

10　子育て世代のための生涯学習交流サロン Tsu・mu・gu ちがさき …… １５３
マム０４・文化生涯学習課

11　美術「みるっこ」プログラム事業 …… １６７
NPO 法人赤ちゃんからのアートフレンドシップ協会・文化生涯学習課

12　これから働きたいママのための起業・就業支援事業 …… １８５
うみのあお、そらのあお・男女共同参画課・雇用労働課

平成２９年度実施協働推進事業実施報告会　進行予定表

【協働推進事業実施報告会】

各団体及び事業担当課があわせて事業の実施状況を発表し、その後、市民活動推進委員が今後の事業展開や収支決算等についてコメントします。

開　会　　９時００分（市民活動推進委員会委員長あいさつ、委員紹介、実施報告についての説明）

発表順	時間	区分		事業名	団体名	事業担当課
1	9:10 ～9:30	1年目実施	行政提案型	市制７０周年　茅ヶ崎市民文化会館改修工事期間を活用したメモリアル事業	NPO 法人３F Community Service	文化生涯学習課
2	9:32 ～9:52			茅ヶ崎市の未来を考える政策コンテスト	特定非営利活動法人ドットジェイピー	企画経営課
3	9:54 ～ 10:14		市民提案型	ハマミーナ魅力 UP 大作戦	特定非営利活動法人まちづくりスポット茅ヶ崎	文化生涯学習課、福祉政策課
休憩（10:14～10:25）						
4	10:25 ～ 10:45	1年目実施	市民提案型	防災への動画活用	特定非営利活動法人湘南ふじさわシニアネット	防災対策課
5	10:47 ～ 11:07			中学生への学習支援事業 ―わかる喜びを、生きる力に―	特定非営利活動法人こども応援丸	学校教育指導課
6	11:09 ～ 11:19	2年目実施	行政提案型	海岸利用におけるマナー啓発事業	サーフ９０茅ヶ崎ライフセービングクラブ	環境保全課、農業水産課、公園緑地課
7	11:21 ～ 11:31			柳島キャンプ場協働運営事業	NPO 法人茅ヶ崎つなぐ海と森	公園緑地課
休憩（11:31～11:40）						
8	11:40 ～ 11:50	2年目実施	行政提案型	ちがさき丸ごとふるさと発見博物館講座の動画配信及び事業 PR	NPO 法人湘南スタイル	社会教育課
9	11:52 ～ 12:02			落書き防止、抑制のためのペイント事業	NPO 法人湘南スタイル	広域事業政策課
10	12:04 ～ 12:14		市民提案型	子育て世代のための生涯学習交流サロン Tsu・mu・gu ちがさき	マム 04	文化生涯学習課
11	12:16 ～ 12:26			美術「みるっこ」プログラム事業	NPO 法人赤ちゃんからのアートフレンドシップ協会	文化生涯学習課
12	12:28 ～ 12:38			これから働きたいママのための起業・就業支援事業	うみのあお、そらのあお	男女共同参画課、雇用労働課
総括・評価（12:38～12:56）						

閉　会　　１３時ごろ

平成２９年度実施協働推進事業について

１　協働推進事業企画案の募集

【行政提案型】

行政提案型協働推進事業公募説明会を実施しました。

〇日程　平成２８年９月１５日（木）１１時～
　　平成２８年９月２１日（水）１０時～

協働推進事業の企画案を募集しました。

〇期間　平成２８年８月上旬～９月２３日（金）

※行政提案型協働推進事業公募テーマ

部課名	事業テーマ
文化生涯学習課	市制７０周年　茅ヶ崎市民文化会館改修工事期間を活用したメモリアル事業
企画経営課	茅ヶ崎市の未来を考える政策コンテスト
環境保全課、農業水産課、公園緑地課	海岸利用におけるマナー啓発事業
公園緑地課	柳島キャンプ場協働運営事業
社会教育課	ちがさき丸ごとふるさと発見博物館講座の動画配信及び事業PR
広域事業政策課	落書き防止、抑制のためのペイント事業

【市民提案型】

市民提案型協働推進事業意見交換会を実施しました。

〇日程　平成２８年９月１１日（日）１０時～・１３時３０分～
　　平成２８年９月１２日（月）１８時～
　　平成２８年９月１５日（木）１８時～
　　平成２８年９月１６日（金）１５時～・１８時～

協働推進事業の企画案を募集しました。

〇期間　８月上旬～１０月２０日（木）

２　協働推進事業公開プレゼンテーション

協働推進事業応募団体の公開プレゼンテーションと市民活動推進委員による質疑を行いました。

〇日時　平成２８年１２月４日（日）９時３０分～１６時

〇会場　茅ヶ崎市役所本庁舎４階会議室２・３

３　協働推進事業の選考

非公開の選考会議で、市民活動推進委員会委員が各団体の事業内容を次の項目で評価しました。

(1)協働テーマ・概要：市民ニーズを的確に捉えたものであり、緊急性の面など、公共サービスとして重要性が高いものであるか。（市民提案型のみ）事業内容は、課題の解決につながるものであるか。また、その手法として適切か。市民満足度の向上や具体的な成果（質の高い公共サービスの提供等）が期待できるか。

(2)協働の効果：市との役割分担は適切であり、市が関わることの必要性が認められるか。協働することで相乗効果が得られるか。

(3)団体の能力：提案の団体は、事業提案書の内容を実現するために必要な能力（アピール力、実施体制を含む）を有しているか。

(4)市民活動としての特性：事業内容は市民活動の特性（先駆性・専門性等）を生かした手法、発想によるものとなっているか。

(5)事業の具体性・実現の可能性：事業の実施手法、スケジュールは、事業目的を達成するために適切な内容となっているか。

(6)収支予算：経費の予算配分及び内容は適正であるか。

(7)事業の発展性：市民・他団体や事業者等に理解され、発展が期待できるか。または、地域社会の市民力・自治力のアップにつながるか。

4　協働推進事業の評価の実施について

（1）　評価の目的

協働プロセス及び事業内容の視点から評価を行うことで、事業の成果を検証するとともに、取り組み過程等における改善点を抽出し、協働推進事業の発展を通した協働によるまちづくりの推進を図ります。

また、評価結果の公表により、協働推進事業の透明性の向上と市民への説明責任を果たします。

（2）　評価対象事業

① 行政提案型協働推進事業

② 市民提案型協働推進事業

（3）　評価形態

協働推進事業の評価は、自己評価と第三者評価を基本とし、事業の性質に応じて、可能な限り受益者評価も取り入れます。

①自己評価…実施団体と事業担当課による自己評価（中間評価・最終評価）

ア　中間評価（報告）

実施時期は、事業内容に応じて実施団体と事業担当課が事業開始前に決定する。ただし、事業期間が６ヶ月に満たない場合は、双方合意のうえで省略することができる。

イ　最終評価

事業終了後、４月を目途に自己評価を実施し、その後の実施報告会（一般公開）で市民活動推進委員会による第三者評価を受ける。

②　第三者評価…市民活動推進委員会による(1)の自己評価を受けての評価

（中間評価は、確認のみ（見守り、アドバイス）とする。）

③　受益者評価…サービス利用者を対象としたアンケート等の実施による評価

（事業の性質に応じて、可能な限り実施する。）

（4）　評価の実施方法

①　評価の準備（事業開始前に行う。）

ア　実施団体と事業担当課が評価項目を確認し、協議のうえで成果目標を決定

イ　中間評価の実施時期を決定

ウ　受益者評価（利用者アンケート等）の実施を検討

※プロジェクトチームの場合は、すべての関係課かいが参加する。

② 中間評価（報告）

「進捗状況」「今後のスケジュール」「課題等」を報告する。

※評価結果は、協議内容も含めてホームページで公表する。

実施団体と事業担当課が課題等について協議

※プロジェクトチームの場合は、関係課かいで評価結果を検証したうえで、実施団体との協議を行う。

事業の進捗状況、役割分担等についての課題を双方で確認し、改善を図る

協議内容について双方が同意
（当事者間で課題が解決した）

協議内容について合意ができない
（当事者間で課題が解決できなかった）

再協議
※市民自治推進課及び中間支援組織等が協議に参加し、課題の解決を図る。

結果を市民活動推進委員会に報告

③ 最終評価

実施団体と事業担当課が「協働推進事業評価シート」による自己評価

※プロジェクトチームの場合は、関係課かいで評価結果を検証したうえで、実施団体との協議を行う。

実施団体と事業担当課が評価結果について協議を行い、事業成果及び評価結果を共有

※受益者評価を実施した事業については、その結果の確認と分析も行う。

実施報告会

〇実施団体と事業担当課が事業成果及び評価結果を発表
〇事業成果及び評価結果を受けて、市民活動推進委員会で評価

※実施報告会は、一般公開で行う。
※実施報告会の内容は、評価結果も含めてホームページで公表する。

評価結果のフィードバック

〇協働推進事業の仕組みの見直し、改善
〇個別事業における実施手法の見直し、改善

協働推進事業の発展・協働まちづくりの推進

（５）　当事者評価の評価項目

評価は、「協働プロセス」及び「事業内容」について実施する。

また、市民活動推進委員会の評価は、第三者評価としての視点から、市民活動団体及び担当課が実施した評価結果と実施報告会での発表を踏まえて実施します。

①協働プロセス評価

評価要素	着　眼　点
目的共有	・事業目的は共有できたか。 ・事業内容について十分な検討ができたか。
役割分担	・事業計画書で定めた役割分担は適切であったか。
対等性確保、相互理解	・上下関係ではなく、対等な形で意見交換、事業を行ったか。 ・十分な意思の疎通が図られたか。
自主性、自立性	・お互いの立場、役割を尊重して事業を進められたか。
透明性、公開性	・事業に関する情報を広報紙、ホームページ等で公表したか。 ・事業の進捗に応じて、情報を速やかに更新できたか。
相乗効果	・それぞれが得意とする部分（優れている部分）を事業に生かせたか。 ・それぞれが単独で実施するよりも大きな効果が得られたか。

②事業内容評価

評価要素	着　眼　点
事業目的、目標達成度	・事業計画に記載した事業目的は達成できたか。 ・協働事業評価書で設定した成果目標は達成できたか。
事業スケジュール	・事業計画書のスケジュールどおりに実施できたか。
費用対効果	・投入した資源は適正であったか。 ＊総事業費は予想どおりだったか、予想以上の支出があったか等により判断する。
事業手法の妥当性	・この事業を協働で実施してよかったと思うか。 （理由も記入する。）
市民（受益者）満足度	・サービスの受け手となる市民の意見の反映や情報収集に努めたか。 ・事業を実施したことによって、市民（受益者）満足度は高まったか。

（６）　市民活動推進委員会の評価項目

市民活動推進委員会の評価は、実施団体及び担当課の評価を受けて、協働プロセス及び事業内容についての意見を「協働推進事業評価票」シートに記入するとともに、次により５段階評価を行います。

① 協働プロセスについての意見及び評価

② 事業内容についての意見及び評価

③ 全体評価（協働のプロセス、事業内容を含めた全体に関する評価、今後に向けた意見等）

（7） 評価段階

市民活動推進委員会が行う「協働プロセス」「事業内容」についての評価は、５段階評価とする。

評点	評価段階
５	事業実施前の想定をはるかに良い方向に上回った。
４	事業実施前の想定をやや良い方向に上回った。
３	事業実施前に想定した範囲の評価。
２	事業実施前の想定より評価がやや低いと感じられた。
１	事業実施前の想定より評価がはるかに低いと感じられた。

（8） 評価における市民活動推進委員会の役割

個々の事業実施結果及び当事者評価に対し、第三者的視点からの評価、助言を行うとともに、市の協働の取り組みの全体像を把握することで、今後の制度改善、より望ましい協働のあり方についての審議を効果的に進めます。

（9） 評価結果の活用

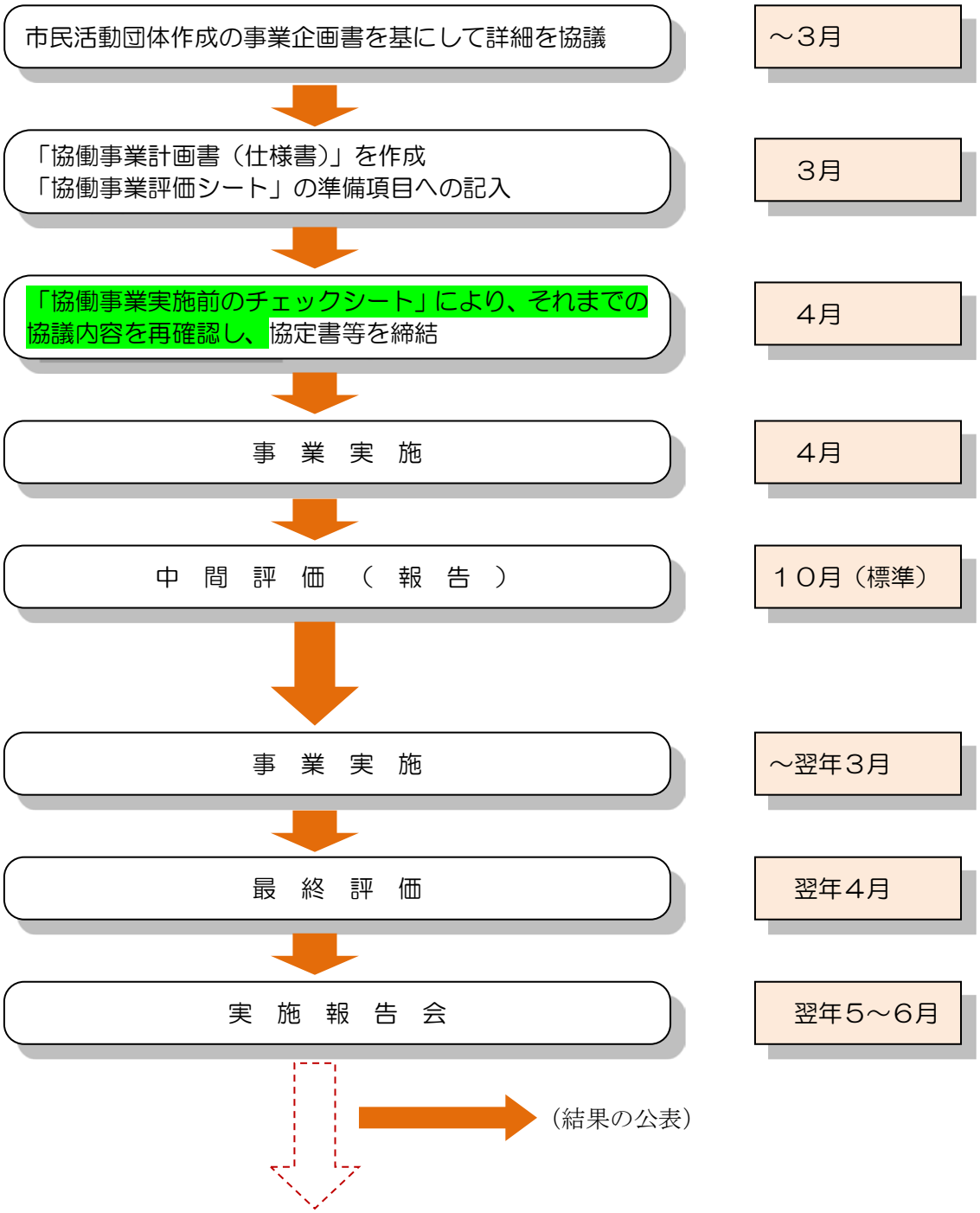
① 市民活動団体と担当課が共有し、事業の改善等に役立てます。

評価が高かった場合は、結果を分析したうえで、さらに高い効果を得るための方策を検討する。
評価が低かった場合は、目標を達成できなかった要因を明らかにし、事業に改善に役立てる。（事業の見直しを含む。）

② 市民自治推進課で一元管理を行い、協働の推進及び制度の改善に活用します。

評価項目等については、評価実施者の意見等を参考として、必要に応じて見直しを行う。

５　事業実施前の準備から評価までの流れ



評価結果は、市民自治推進課で一元管理し、制度改善、職員研修等に活用する。

茅ヶ崎市市民活動推進委員会委員構成名簿

平成２９年６月１３日現在

区分	委員名	所属
市　　民	草野　正弘（くさの　まさひろ）	公募
	西野　義一（にしの　ぎいち）	
	森　祐一郎（もり　ゆういちろう）	
市民活動を行うものの代表者	椎野　典子（しいの　のりこ）	NPO 法人市民活動を支える会理事長
	秦野　拓也（はだの　たくや）	NPO 法人まちづくりスポット茅ヶ崎事務局長
事業者の代表者	石田　貴一（いしだ　きいち）	湘南信用金庫執行役員茅ヶ崎営業部部長
	北川　哲也（きたがわ　てつや）	公益社団法人茅ヶ崎青年会議所事務局長
	髙橋　準治（たかはし　じゅんじ）	株式会社タウンニュース社湘南支社長 兼　茅ヶ崎編集室編集長
学識経験を有する者	伊藤　隆（いとう　たかし）	元日本財団非営利セクター基盤整備事業 企画開発室部長
	大江　守之（おおえ　もりゆき）	放送大学客員教授 慶應義塾大学名誉教授
	中川　久美子（なかがわ　くみこ）	元横浜市政策支援センター主席研究員
	水島　修一（みずしま　しゅういち）	社会福祉法人茅ヶ崎市社会福祉協議会常務理事
	三觜　健一（みつはし　けんいち）	茅ヶ崎市まちぢから協議会連絡会の代表

行政提案型　１　市制７０周年　茅ヶ崎市民文化会館改修工事期間を活用したメモリアル事業
（ＮＰＯ法人　３Ｆ　Ｃｏｍｍｕｎｉｔｙ　Ｓｅｒｖｉｃｅ・文化生涯学習課）

協働推進事業実績報告書

平成３０年５月１日

（あて先）茅ヶ崎市長

所在地
提出者　名称　NPO法人3F Community Service
代表者氏名　　内田　洋茂　　印

平成２９年度行政提案型協働推進事業の実績について、次のとおり報告します。

事業の名称	茅ヶ崎市民文化会館改修工事期間を活用したメモリアル事業
担当課名	文化生涯学習課
事業の内容等	別紙「協働推進事業実施結果」のとおり

※この実績報告書には、収支決算書及び最終評価（当事者評価後の協議を含む）終了後の協働事業評価書を添付してください。

※実績報告書の内容については、協働事業評価書の内容とともに、事業実施の翌年度５月から６月に開催する協働推進事業報告会で発表していただくことになります。

協働推進事業実施結果

事業の実施内容 ※できるだけ具体的に記入してください。	①仮囲いアート事業 （茅ヶ崎の未来を創造しよう！文化会館壁面アート制作プロジェクト） 文化芸術の拠点施設として親しまれてきた文化会館の休館期間中の工事用壁面（仮囲い）に、次世代を担う子どもをはじめとしたから大人までの市民一人一人が、茅ヶ崎市制施行１００周年となる「茅ヶ崎の３０年後の未来」をアートで彩るプロジェクト。このプロジェクトをとおして、市民が身近なところで文化芸術に親しみながら、茅ヶ崎の未来について考えるきっかけを提供するとともに、その集大成である作品を仮囲いに掲示しました。 （主な実施内容） 平成２９年７月５日～３１日　写真の公募 平成２９年９月３日　子どもと一緒に、写真の上に「波」と「風」を描くワークショップを実施 平成３０年２月２７日　作品をお披露目 ②メモリアルグッズ事業 茅ヶ崎ゆかりのアーティスト・地元の企業とタイアップし、使わなくなった「文化会館のカケラ」を再利用したメモリアルグッズを制作、販売しました。この事業をとおして文化会館のリニューアルの周知を図りましたが、多数のメディアで取り上げられたものの、ほとんどの人が事業について知りませんでした。 （主な実施内容） ・ 平成２９年１１月１１日～平成３０年２月１１日　限定販売 ・ 3F Community Serviceは、キーホルダーを制作
事業の参加者等	事業総責任者　内田洋茂 事業ＰＭ&アートディレクター　佐川友星 フォトグラファー　傅田太郎・田村友一郎 ＷＥＢ制作・プロダクトコーディネーター　川瀬夏男 事務局　柄澤将文
実施日程等	主な事業の実施日程は、上記「事業の実施内容」のとおり。 その他の打合せ日程等は、別紙「業務日報」のとおり。

収 支 決 算 書

協働推進事業費
（総事業費）　　７１６，０００　円

（収　入）　　（円単位）

区　分	当初予算額	決算額	内訳（内容、数量、単価など）
A　委託料または負担金の額	716,000	716,000	市の支出金
B　団体の負担金		60,129	協働事業者負担額
C			
D			
E　収入合計額（A＋B＋C＋D）	716,000	776,129	

※収入欄には、市の支出金のほか、参加費、寄附金等の収入を記入して下さい。

（支　出）　　（円単位）

区　分	当初予算額	決算額	内訳（内容、数量、単価など）
F　人件費	563,000	643,000	別紙「業務日報」参照
G　謝金			
H　旅費交通費	24,000	24,000	事業ＰＭ&アートディレクター交通費として ガソリン代３０００円×８か月
I　通信運搬費	12,000	0	
J　印刷製本費	18,000	0	
K　消耗品費	90,000	100,129	写真シート大判プリント　50,220 円 ワークショップ材料費用　49,909 円
L　賃借料			
M　一般管理費	9,000	9,000	
N　支出合計額（F から M まで）	716,000	776,129	

協働事業評価書

事業名	茅ヶ崎市民文化会館改修工事期間を活用したメモリアル事業
団体名	NPO法人スリーエフコミュニティーサービス
担当課名	文化生涯学習課

目標の設定

事業実施前に、事業の実施により達成する目標や、受益者評価の目標を設定してください

成果目標

各項目については、実施団体と担当課が協議の上で決定してください。

目標とする成果（何がどう変化することを目指すのかを記入してください。）
文化会館の改修工事期間の何もない仮囲いの壁面に、市民の方の写真や子ども達のワークショップや、茅ヶ崎ゆかりのアーティストの作品を展示する空間に変える。市民の参加者と茅ヶ崎ゆかりのアーティスト共に作品を制作し、茅ヶ崎市民文化会館のPR及び茅ヶ崎ゆかりのアーティストのPRにつなげる。

活動指標（サービスやイベントなどの実施内容）	対象者等	目標値	結果
ワークショップの実施、写真コンテストの実施、壁面アート展示	市民	3回	3回実施

受益者評価の目標値

評価手法	対象者等	目標値
ワークショップ参加者のアンケート調査	子ども達	満足度　90%以上

受益者評価ができない場合、その理由を記入してください。

中間評価

中間評価

各項目の評価

下記の評価項目について、1点から5点の評価または、設問に沿ったコメントを記入してください。

評価得点の目安

5点・・事業実施前の想定をはるかに良い方向に上回った
4点・・事業実施前の想定をやや良い方向に上回った
3点・・事業実施前に想定した範囲の評価であった
2点・・事業実施前の想定より評価がやや低いと感じられた
1点・・事業実施前の想定より評価がはるかに低いと感じられた

協働プロセス

相乗効果	評価点数・団体	評価点数・行政
1. それぞれが単独で行うよりも大きな効果を得ることができていますか	5	5
	↑　1点から5点を記入	↑　1点から5点を記入

事業内容の評価

事業の進捗状況	評価点数・団体	評価点数・行政
1. 事業は計画通りに進捗しているか	3	3
	↑　1点から5点を記入	↑　1点から5点を記入
1点及び2点と評価した場合、理由を記入してください→		
	↑コメントを記入してください	↑コメントを記入してください

事業手法の妥当性	評価点数・団体	評価点数・行政
3. この事業を協働という事業手法で行うことが最善であると感じましたか	5	5
	↑　1点から5点を記入	↑　1点から5点を記入
そのように感じる理由を記入してください→	お互いに自分達では動けない、動かせない部分を補う形が正に協働と感じたため。	アーティストのネットワークやセンスに負う部分が大きいため。
	↑コメントを記入してください	↑コメントを記入してください

事業手法の妥当性	評価点数・団体	評価点数・行政
4. 事業を実施する事により市民の満足度は高めることができそうであると感じますか	4	4
	↑　1点から5点を記入	↑　1点から5点を記入
そのように感じる理由を記入してください→	茅ヶ崎はアートに興味がある人が多いにも関わらず、アートと触れ合う機会がなかなかない。こういった協働事業をすることは、市民にとっても、行政にとっても、茅ヶ崎というまちをもっと楽しく面白くする。	ワークショップの参加者の満足度が予想以上に高かった。
	↑コメントを記入してください	↑コメントを記入してください

期末評価

期末評価について

各項目の評価

下記の評価項目について、1点から5点の評価または、設問に沿ったコメントを記入してください。

評価得点の目安

5点・・事業実施前の想定をはるかに良い方向に上回った
4点・・事業実施前の想定をやや良い方向に上回った
3点・・事業実施前に想定した範囲の評価であった
2点・・事業実施前の想定より評価がやや低いと感じられた
1点・・事業実施前の想定より評価がはるかに低いと感じられた

協働プロセス

目的共有	評価点数・団体	評価点数・行政
1. 事業内容は共有できましたか	3	3
	↑ 1点から5点を記入	↑ 1点から5点を記入

役割分担	評価点数・団体	評価点数・行政
2. 協定書で定めた役割分担は適正でしたか	4	4
	↑ 1点から5点を記入	↑ 1点から5点を記入

対等性と相互理解	評価点数・団体	評価点数・行政
3. 対等な関係で意見交換や事業を推進することができましたか	4	3
	↑ 1点から5点を記入	↑ 1点から5点を記入

自主性と自立性	評価点数・団体	評価点数・行政
4. 互いの立場、役割を理解して事業を進めることができましたか	3	4
	↑ 1点から5点を記入	↑ 1点から5点を記入

透明性と公開性	評価点数・団体	評価点数・行政
5. 事業に関する情報を広く公開し、事業の状況を周知することができましたか	3	4
	↑ 1点から5点を記入	↑ 1点から5点を記入

相乗効果	評価点数・団体	評価点数・行政
6. それぞれが単独で行うよりも大きな効果を得ることができましたか	4	4
	↑ 1点から5点を記入	↑ 1点から5点を記入

協働プロセスの総合評価	評価点数・団体	評価点数・行政
7. 1～6の視点で、協働プロセスを総合的に評価してください	4	4
	↑ 1点から5点を記入	↑ 1点から5点を記入

最終評価	B 左のA～Eを記入
最終評価の理由や根拠などを記入してください	当初想定していたよりも手続きが多かったことや、実施に際して課題が浮上したことなどから、スケジュールどおりに進まないことも多かったですが、双方が自らの役割を認識しながら適切に取り組むことができました。 また、課題に突き当たったときは、迅速且つ綿密に情報を共有しながら協議し、より良い方向にむかって進めることができたと思います。

A:十分達成できた　B:ほぼ達成できた　C:課題も残ったが概ね達成できた　D:あまり達成できなかった　E:ほとんど達成できなかった

事業内容の評価

事業目的目標達成度	評価点数・団体	評価点数・行政
1. 事業計画に記載した事業目的は達成できましたか	3 ↑ 1点から5点を記入	3 ↑ 1点から5点を記入
2. 評価書で設定した成果目標は達成できましたか	3 ↑ 1点から5点を記入	3 ↑ 1点から5点を記入

事業スケジュール	評価点数・団体	評価点数・行政
3. 事業計画書のスケジュールどおりに実施できましたか	2 ↑ 1点から5点を記入	2 ↑ 1点から5点を記入

事業手法の妥当性	評価点数・団体	評価点数・行政
4. この事業を協働という事業手法で行うことが最善であると感じましたか	5 ↑ 1点から5点を記入	5 ↑ 1点から5点を記入
そのように感じる理由を記入してください→	お互いに自分たちでは動けない、動かせない部分を補う形がまさに協働と感じたため。 ↑コメントを記入してください	アーティストのネットワークやセンスに負う部分が大きいため。 ↑コメントを記入してください

市民（受益者）満足度	評価点数・団体	評価点数・行政
5. サービスの受け手となる市民のニーズや意見、その他情報収集に努めましたか	2 ↑ 1点から5点を記入	3 ↑ 1点から5点を記入
6. 事業を実施した事により市民満足度は高まったと感じますか	2 ↑ 1点から5点を記入	3 ↑ 1点から5点を記入
そのように感じる理由を記入してください→	市民参加のアートはよかったものの、メモリアルグッズはまったく話題に上がらず知らない人が多かったため。 ↑コメントを記入してください	市民参加の壁面アートをつくれたことと、メモリアルグッズ制作により、文化会館のリニューアルを周知できたため。 ↑コメントを記入してください

事業内容の総合評価	評価点数・団体	評価点数・行政
7. 1～6の視点で、事業内容を総合的に評価してください	4 ↑ 1点から5点を記入	4 ↑ 1点から5点を記入

予算の妥当性	評価点数・団体	評価点数・行政
8. 事業を進める上、当初設定した予算は、想定よりも有効に活用されたと感じますか	2 ↑ 1点から5点を記入	3 ↑ 1点から5点を記入

最終評価	C 左のA～Eを記入
最終評価の理由を記入してください	特に市民参加型のワークショップ事業については、アーティスト主導のもとで、参加した子どもたちは、自分が持っているチカラ以上に創造力を発揮することができました。これらの事業をとおして、これまで文化会館で培われてきた文化と歴史を継承しながら、休館中であっても当該施設が文化の発信拠点として機能させることができました。文化会館のみならず、他施設においても、休館期間を活用した事業展開の可能性を見出したと思います。 しかしながら、周知不足等引き続き改善を行いつつ、より効果的な事業展開を図る必要があります。

A：十分達成できた　B:ほぼ達成できた　C:課題も残ったが概ね達成できた　D:あまり達成できなかった　E:ほとんど達成できなかった

行政提案型　２　茅ヶ崎市の未来を考える政策コンテスト
（特定非営利活動法人ドットジェイピー・企画経営課）

協働推進事業実績報告書

平成３０年４月２３日

（あて先）茅ヶ崎市長

所在地
提出者　名称　特定非営利活動法人ドットジェイピー
代表者氏名　理事長　佐藤大吾　印

平成２９年度（行政提案型・市民提案型）協働推進事業の実績について、次のとおり報告します。

事業の名称	茅ヶ崎市の未来を考える政策コンテスト
担当課名	企画経営課
事業の内容等	別紙「協働推進事業実施結果」のとおり

※この実績報告書には、収支決算書及び最終評価（当事者評価後の協議を含む）終了後の協働事業評価書を添付してください。

※実績報告書の内容については、協働事業評価書の内容とともに、事業実施の翌年度５月から６月に開催する協働推進事業報告会で発表していただくことになります。

協働推進事業実施結果

事業の実施内容 ※できるだけ具体的に記入してください。	■茅ヶ崎市の未来を考える政策コンテスト概要 「茅ヶ崎市の未来を考える政策コンテスト」とは、９～１１月の活動期間に参加できる１８歳以上２４歳以下の茅ヶ崎市及び近隣に在学・在勤・在住の若者たちがチームを組み、約2か月間かけて未来の茅ヶ崎市の政策を練りあげた上で、市民のみなさまの前で提案プレゼンテーションを行う政策立案コンテストである。開催に当たっては「未来茅ヶ崎市２０１７」という読みやすい通称を用いた。 平成２９年度においては、次代を担う若者たちが「もし自分が茅ヶ崎市長だったら」という前提のもと、２０３０年の茅ヶ崎市のビジョンを掲げ、それを実現するための５年後の重点政策・予算にまで落とし込むことで、「若者らしい斬新かつ、現実性を備えた夢」を競い合った。 本コンテストは茅ヶ崎市と特定非営利活動法人ドットジェイピー（以下、「ドットジェイピー」と称する）との協働事業として、ドットジェイピーが開発した社会教育プログラムに沿って行われた。参加者全員に、ドットジェイピーが作成したワークブック・テキストブックを配付した。 本コンテストは3回の催事と、催事の間の自主活動によって構成した。第1回の催事（キックオフ）は、これから茅ヶ崎市について考える上での学びの場として、市職員が登壇し参加チームへの講義を行った。 キックオフ後、参加チームは運営受託事業者のドットジェイピーからの指導を受けながら、２０３０年の茅ヶ崎市のビジョンと、それを実現するための５年後の重点政策を考案した。また茅ヶ崎市の現状を体感するためのまちあるきイベントも希望者を募り実施した。 第2回の催事（中間チェック）では、参加チームが考案したプランを持ち寄り、チームごとに市職員から直接のアドバイスを受けた。 中間チェック後、参加チームは再びドットジェイピーの指導を受けながら、ビジョン・重点政策の見直しに加えて、５年後の市全体予算についても考案した。 第3回の催事（予行練習・決勝）では、参加チームがお互いにプランをプレゼンテーションし合い、一般観覧者・市職員による投票により得票数上位3チームを選出、最も票数の多かったチームに市長賞を贈った。 コンテストに参加した若者は、大学生を中心に計１０チーム（４１名）であった。 **１．コンテスト概要** 対　象：９～１１月の活動期間に参加できる１８歳以上２４歳以下の方で、４～６人のグループ又は個人(合計１０チーム程度を募集申込み先着順) 期　間：２０１７年9月１０日（日）～２０１７年１１月１２日（日）

課　題：２０３０年の茅ヶ崎市のビジョン
　　上記を実現するための、茅ヶ崎市の５年後の重点政策・予算
選　考：投影資料を用い、募集した一般観覧者に対しプレゼンテーションを行う。一般観覧者・市職員による投票を持って、最優秀チームを決定する。

２．参加チーム一覧

① 子育て愛
② SMT
③ ふるさと
④ 大澤ゼミ sunshine
⑤ オオハラボ
⑥ Summit For Children
⑦ 三銃士
⑧ アカシア
⑨ 茅ヶ崎ファースト
⑩ 茅ヶ崎アウトサイダーズ

３．参加チームの所属大学（５０音順）

神奈川大学、慶應義塾大学、社会医学技術学院、上智大学、筑波大学、文教大学、法政大学、明治大学、横浜市立大学、横浜国立大学、立命館アジア太平洋大学
※社会人は横浜銀行ほか県内企業

４．各イベント日時・場所・参加チーム数

【キックオフ】
日時：９月１０日（日）　１３時～１６時３０分
場所：茅ヶ崎市役所　本庁舎１階　ふれあいプラザ
参加者数：２９人

【まちあるき】
日時：９月２３日（土）　１３時～１６時３０分
場所：茅ヶ崎市役所～
　　下寺尾官衙遺跡群
　　旧和田家（旧三橋家）
　　県立里山公園
　　富士見赤羽根ファーム　他

参加者数：６人

【中間チェック】
日時：１０月９日（月・祝）　１３時～１７時１０分
場所：茅ヶ崎市役所　本庁舎１階　ふれあいプラザ
参加者数：３７人

【予行練習・決勝】
日時：１１月１２日（日）　９時３０分～１６時３５分
場所：茅ヶ崎市役所　本庁舎４階　会議室
参加者数：４０人　観覧者数：１９名

■キックオフの詳細

日時：平成２９年９月１０日（日）　１３時～１６時３０分
場所：茅ヶ崎市役所　本庁舎１階　ふれあいプラザ
参加者数：２９人

１．タイムテーブル

１３:００～　挨拶・ナビゲーター紹介・
１３:２５～　未来茅ヶ崎市概要説明
１３:３５～　未来茅ヶ崎市ワークショップ１　【WORK：今、どうなの？】
１４:３５～　茅ヶ崎市職員の方から現状のレクチャー
　　└企画経営課　松本氏
１５:０５～　未来茅ヶ崎市ワークショップ２　【WORK：本当は、どうあるべき？】
１６:２０～　ガイダンス・終わりに
１６:３０　　終了

２．キックオフ内容

２か月間に渡る「未来茅ヶ崎市」政策コンテストの開催に当たり、参加チームに茅ヶ崎市政について学んでいただく場として開催された。

講師は、過去にも本市政策コンテストの講師を務めた杤尾圭亮氏（株式会社 船井総合研究所 地方創生事業グループ マネージャー）が務めた。

初めに、当コンテストの主旨について説明を行った。参加チームには「２０３０年を見据えたある程度の実現可能性があり、かつ“茅ヶ崎らしい”政策を考案せよ」という課題が発表された。

次に、最初のワークショップを行った。参加チームには「茅ヶ崎市の生活者」という自己の立場から、当市で感じる問題意識を個々のチームメンバーに書き出してもらい、次にチームで共有した。共有に際して、個人で挙げた問題にはテーマに共通性がある

か？どのような生活者が感じる問題なのか？など列挙された茅ヶ崎市の問題点をチームで再編成することにより、参加者は無意識に感じていた問題を意識することができた。チームで編集されたものを発表し、他のチームとも共有した。

次に「立場を決めれば、世界が見えてくる」と題したドットジェイピー作成のスライドショーを鑑賞し、立場によって「何を問題と意識するか、どんなニーズがあるか」が違うことを認識した。

次に市職員による講義を行った。企画部企画経営課の松本氏より茅ヶ崎市の財政内容や、現在抱えている課題、その課題の解決策として市が行っていることについて参加チームに講義していただいた。参加者は茅ヶ崎市が今どのような状況にあってどのような問題があると考えられるか、市の職員の方々から直接学ぶことができた。

当日最終のワークショップでは、本コンテストの課題である「２０３０年」を描くという目的の前段として、参加者個々人に２０３０年の理想の茅ヶ崎市ではどんな光景が見られるか思い浮かべてもらい、これも参加チーム、及び他チームとの間で共有した。

この半日に渡るイベントで、問題意識の表出化・市の現状理解・２０３０年の理想をイメージ化する３段階のワークを行い、２か月の政策立案の土台を固めることができた。

図３－１　枋尾講師からのアドバイスの様子

図３－２　発表の様子

■ キックオフ～中間チェックまで

参加した１～２チームごとに、ドットジェイピーに関わる学生スタッフの内、特に自治体政策について学んでいる者、関心の高い者が担当者として付き、問合せに対する回答、立案に関するある程度のアドバイスなど、参加チームのフォローを行う体制をとった。

担当スタッフと参加チームの連絡に関しては、メールのみならず LINE など若者に好まれる手段を用い、昼夜を問わない連絡体制を構築した。

また、参加者がまちを実際に見て回り、課題を発見したり確かめたりできる、政策立案の一助となるようなフィールドワークを茅ヶ崎市の協力のもと実施した。

以下、キックオフから次の催事である中間チェックまでに行った主なフォロー活動を記す。

１．週報提出

参加チームにはキックオフの後、運営受託事業者のドットジェイピー担当者に対して、その週の進捗を電子メールで報告することとした。返答についてはドットジェイピー内で協議の上、適切な回答文を精査して行った。

このようにコミュニケーションを密にしたことが、参加チームの成果物クオリティの向上、参加モチベーションの維持に寄与した。

提出日：９月１５日、２２日、２９日

２．茅ヶ崎市への質問受付・取りまとめ

参加チームから茅ヶ崎市への質問をドットジェイピーにて取りまとめ、市側がこれに回答文書を作成した。回答文書は、直接その質問をしなかったチームも含めて、一律に全参加チームへ共有した。

こちらも参加チームの成果物クオリティの向上に寄与した。

提出日：９月２０日

３．フィールドワーク（まちあるき）

参加者の中から希望者を募り、市の名所・施設を車で移動しながら見て回るフィールドワークを行った。

実際に目で見て歩いて確かめることで、キックオフで考えた仮説の検証や再考を行うことができたため、立案した政策の実現可向上に寄与した。

日時：９月２３日（土）　１３時～１６時３０分

場所：茅ヶ崎市役所、下寺尾官衙遺跡群、旧和田家(旧三橋家)、県立里山公園、富士見

赤羽根ファーム他

参加者数：６人

図３−３　まちあるきの様子

図３−４　まちあるきの様子

図３−５　まちあるきの様子

図３−６ まちあるきの様子

■ 中間チェックの詳細

日時：平成２９年１０月９日（月・祝） １３時～１７時１０分
場所：茅ヶ崎市役所　本庁舎１階　ふれあいプラザ
参加者数：３７人

１．タイムテーブル

１３:００～　挨拶
１３:０５～　私たちが描く茅ヶ崎市のビジョン
　　└各チーム発表３分
１４:００～　政策立案タイム
　　└各小部屋にてプレゼンテーション・アドバイス（２回）
　　└大部屋でブラッシュアップ
１６:４０～　コミットメント宣言・終わりに
１７:１０　終了

２．中間チェック内容

始めに、各チームがキックオフから考えてきた２０３０年の茅ヶ崎市のビジョンや問題点・政策案について進捗報告を行った。また、各チームの報告に対して、講師の土屋大輔氏（株式会社 船井総合研究所 経営改革事業本部 地方創生グループ）から講評があった。各チームは、他のチームのプレゼンテーションや講評を聞き、自らのビジョンについて議論を深めた。

その後は、アドバイザー職員にさらに詳細なアドバイスを受け、受けたアドバイスをその場で修正する時間「政策立案タイム」とした。

会場内に企画経営課のアドバイザーが待機する２つのブースを設けた。各チームは政

策立案タイム中に、それぞれブースで１回ずつ１５分間のアドバイスを受けた。ブースでは、アドバイザーと参加チームの間で熱心な議論が交わされた。参加チームは、キックオフからの議論やフィールドワークで得た気づき、中間チェックでの講評など、それまでの活動を通して生じた疑問について尋ねた。

また、アドバイザーからも厳しいアドバイスや質問が相次いだ。多かった指摘は以下のようなものがある。

・茅ヶ崎らしいビジョンが不明確なので、もっと詰める必要がある
・２０３０年のビジョン、５年後の政策という時間軸が不明確である(もっと直近で実行できるような政策にとどまっている)
・政策にかかる予算と捻出方法が不明確である。

アドバイスを受けている以外の時間では、アドバイスを参考に、ドットジェイピーの学生スタッフ等からも追加のアドバイスを受けたり質疑応答をしたりしながら、自チームのビジョン・政策のブラッシュアップを行った。各チームは、若者らしさと実現可能性を両立させた茅ヶ崎らしいビジョンを描くことの難しさに頭を悩ませながらも、真剣に議論に取り組んでいた。

最後に、さらに約１か月間を頑張るという意味を込めて、各参加チームがチーム内で決勝に向けた意気込みを発表し、その後、各チームの代表者が会場全体に向けて意気込みと決意を表明した。

図５−１　発表の様子

図５−２　チーム内議論の様子

図５−３　職員からアドバイスを受ける様子

図５−４　当日の参加者による記念撮影

■ 中間チェック～決勝まで

中間チェックでは主に政策へのブラッシュアップの他、予算に対してのアドバイスもいただいたため、その点も考えて「現実性を兼ね備えた、未来の夢」を考案した。

中間チェック以後も、継続してドットジェイピーのスタッフからは参加者へ週報や、その他個別相談という形でアドバイスを行った。未来茅ヶ崎市のプログラムには、「フォアキャスト型」（現状を理解して、その延長線上で未来を考えるもの）と、「バックキャスト型」（あるべき姿から逆算して政策を練っていくという型）があること、未来茅ヶ崎市においてはバックキャスト型の提案をしてほしいことなど、参加者に対してこれからプランを考えるに当たって必要になる知識やアドバイスを共有することで、よりよい政策の提案を手伝った。

１．週報提出

提出日：１０月２０日、２７日、１１月３日

■ 決勝の詳細

日時：平成２９年１１月１２日（日）９時３０分～１６時３５分
※午前中は予行演習
場所：茅ヶ崎市役所　本庁舎４階　会議室
参加者数：４０人
観覧者数：１９名

１．タイムテーブル

９:３０～　進行説明
９:４０～　参加者予行発表・最終ブラッシュアップ
１３:００～　決勝開会
１３:０５～　各チームプラン発表
１６:００～　結果発表・表彰
１６:２０～　市長と参加チーム代表者によるパネルディスカッション
１７:００～　終わりの挨拶
１７:１０　終了

２．決勝内容

中間チェックから約１か月が経過した１１月１２日、決勝イベントが開催された。イベントには服部信明市長も訪れ、参加者はここで初めて、市長へプレゼンテーションを

	する機会となった。 午前中は、本番と同じ環境で実際のプレゼンテーションを意識した予行演習を行い、予行演習が終わったチームは１階のふれあいプラザ等のスペースを利用し各々で発表の予行練習を行った。と運営スタッフからは発表に対するフィードバックが行われ、詰めてきた政策の内容をいかに分かりやすく伝えるか、という点においてのフィードバックが多くされた。発表を踏まえた上で、最後に直すべきところを洗い出し、ブラッシュアップの作業を行った。 プランの内容はもちろん、プレゼンテーションも重要なため、使用するスライドの可読性や、身振り手振りなどの部分中心に最終調整を行うチームも多くいた。一方、あくまでも政策をさらに良くできないかと机でパソコンを囲んでもう一歩精緻な政策を目指すチームもいた。ブラッシュアップ時にもスタッフや市職員を交え、決勝の成果物を午前中で完成させた。 午後からは一般観覧者にも来場いただいての発表が始まった。市長からの挨拶があり、１０チームの発表が始まった。発表順は、公平を期すために、午前中にくじ引で決められた順に行われた。 その後、投票が行われた。投票は実際の選挙で使われる投票箱を使用し、本番を意識した演出を行った。これにより選挙に関する理解を深め、投票の意義を強く訴えかけた。自分たちが投票する姿をカメラに収める参加者もいた。 投票結果から得票上位３チームが発表された。「オオハラボ」と「大澤ゼミ sunshine」が同票で第３位を受賞した。両チームとも分かりやすく考えられた発表を行い、多くの観覧者の心をつかんだ発表だった。続いて「茅ヶ崎アウトサイダーズ」が第２位を受賞した。チームメンバーが全員茅ヶ崎市外出身ならではの視点で立案したユニークな政策が印象的だった。 最多得票で優勝したのは、「Summit For Children」。医療や介護、保育を学ぶ女子大生だけで構成されたチームで、子供から大人まで、健常者も障害者も分け隔てなくスポーツを楽しめるまちというビジョンのもと、政策を発表した。 現状の茅ヶ崎市が抱えるスポーツ政策の課題点、広く社会で問題とされている子供の部活動をめぐる問題から、自らの実体験を踏まえた熱くも精緻な政策と発表が、最も多くの観覧者の心に響いた。 最後に、上位の代表者が未来茅ヶ崎市に参加したことも踏まえ、今後どう行政に関わっていくか決意表明という形で宣言した。「自分たちができることをもっと考えて行動していきたい」と答える参加者も複数おり、参加者の行政参画意識が多いに高まった。

図７－１　発表の様子

図７－２　発表の様子

図７－３　発表チームに質問する他の出場者

図７－４　発表の様子

図７－５　市長・職員からのアドバイスを聞く出場者

図７－６　服部信明市長からの講評

図７-７　２位の茅ヶ崎アウトサイダーズ

図７-８　最優秀賞の Summit For Children

図７-９　インタビューを受ける最優秀チーム代表

図７−１０ 最後の記念撮影

事業の参加者等

●主催：茅ヶ崎市（所管：企画経営課）

●共催：特定非営利活動法人ドットジェイピー

●出場者：

組番号	チーム名	個番号	氏名（敬称略）	ふりがな	所属	在住自治体
1	子育て愛	1	落合みちる	おちあいみちる	文教大学	平塚市
		2	柳田真司	やなぎだしんじ	文教大学	茅ヶ崎市
		3	五十嵐琢人	いがらしたくと	文教大学	藤沢市
		4	湯本浩平	ゆもとこうへい	文教大学	藤沢市
		5	田中貴大	たなかたかひろ	文教大学	茅ヶ崎市
2	SMT	6	衛祐樹	まもりゆうき	文教大学	葉山町
		7	小島奈津絵	こじまなつえ	文教大学	茅ヶ崎市
		8	飯島拓也	いいじまたくや	文教大学	茅ヶ崎市
		9	渡邊遥希	わたなべはるき	文教大学	茅ヶ崎市
3	ふるさと	１０	小酒部翼	おさかべつばさ	文教大学	横浜市
		１１	内山俊貴	うちやまとしき	文教大学	小田原市
		１２	佐藤和哉	さとうかずや	文教大学	茅ヶ崎市
		１３	小宮山俊太	こみやましゅんた	文教大学	茅ヶ崎市
4	大澤ゼミ sunshine	１４	池田ゆりな	いけだゆりな	横浜市立大学	横浜市
		１５	蓑田莉奈	みのだりな	横浜市立大学	横浜市
		１６	中谷圭那	ながやかな	横浜市立大学	横浜市

			１７	星野俊樹	ほしのとしき	横浜市立大学	横浜市
			１８	高橋佳代子	たかはしかよこ	横浜市立大学	横浜市
	5	オオハラボ	１９	小松辰啓	こまつたかひろ	横浜国立大学	横浜市
			２０	加藤大地	かとうだいち	横浜国立大学	横浜市
			２１	山本奈生	やまもとなお	横浜国立大学	横浜市
			２２	伊藤雄大	いとうゆうだい	横浜国立大学	横浜市
	6	Summit For Children	２３	早川優香	はやかわゆうか	社会医学技術学院	茅ヶ崎市
			２４	徳舛恵里	とくますえり	社会医学技術学院	茅ヶ崎市
			２５	藤巻栞	ふじまきしおり	法政大学	横浜市
	7	三銃士	２６	桐木佑弥	きりきゆうや	横浜国立大学	横浜市
			２７	山本蓮平	やまもとれんぺい	慶應義塾大学	横浜市
			２８	國枝勇佑	くにえだゆうすけ	慶應義塾大学	横浜市
	8	アカシア	２９	細合義輝	ほそあいよしき	横浜銀行	海老名市
			３０	岩瀬翔	いわせしょう	社会人	伊勢原市
			３１	浦野宏太	うらのこうた	社会人	大和市
			３２	佐久間智彬	さくまともあき	社会人	伊勢原市
			３３	加賀谷帆香	かがやほのか	社会人	海老名市
			３４	高薮本	たかやぶはじめ	神奈川大学	横浜市
	9	茅ヶ崎ファースト	３５	藤沼侑太郎	ふじぬまゆうたろう	横浜市立大学	茅ヶ崎市
			３６	高橋謙介	たかはしけんすけ	横浜市立大学	横浜市
			３７	鈴木智晴	すずきともはる	筑波大学	つくば市
			３８	七海健太	ななうみけんた	筑波大学	さいたま市
	10	茅ヶ崎アウトサイダーズ	３９	鈴木光	すずきひかる	立命館アジア太平洋大学	横浜市
			４０	内海竜太	うつみりょうた	明治大学	藤沢市
			４１	橋本和実	はしもとかずみ	上智	横浜市

実施日程等	【出場者募集】 期間：６月１日（木）～８月３１日（木） 募集方法：文教大学ほか茅ヶ崎市近隣大学へのお声がけ、ＮＰＯ法人や学生団体へのお声がけ 受付方法：特設Ｗｅｂサイト上の応募フォームより受付 【キックオフ】 日時：９月１０日（日）　１３時～１６時３０分 場所：茅ヶ崎市役所　本庁舎１階　ふれあいプラザ 参加者数：２９人 【まちあるき】 日時：９月２３日（土）　１３時～１６時３０分 場所：茅ヶ崎市役所～ 下寺尾官衙遺跡群 旧和田家（旧三橋家） 県立里山公園 富士見赤羽根ファーム　他 参加者数：６人 【中間チェック】 日時：１０月９日（月・祝）　１３時～１７時１０分 場所：茅ヶ崎市役所　本庁舎１階　ふれあいプラザ 参加者数：３７人 【予行練習・決勝】 日時：１１月１２日（日）　９時３０分～１６時３５分 場所：茅ヶ崎市役所　本庁舎４階　会議室 参加者数：４０人　観覧者数：１９名

収 支 決 算 書

協働推進事業費
（総事業費）　1,500,000 円

（収　入）　（円単位）

区　分	当初予算額	決算額	内訳（内容、数量、単価など）
A　委託料または負担金の額	1,500,000	1,500,000	市の支出金
B			
C			
D			
E　収入合計額（A＋B＋C＋D）	1,500,000	1,500,000	

※収入欄には、市の支出金のほか、参加費、寄附金等の収入を記入して下さい。

（支出の部）　（円単位）

区　分	当初予算額	決算額	内訳（内容、数量、単価など）
F　人件費	1,255,000	1,254,080	プログラム設計　1,040円 × 2 人 × 80 時間 イベント設計　1,040円 × 2 人 × 80 時間 出場者配布参考書作成　1,040円 × 2 人 × 120 時間 募集チラシ原稿作成　940円 × 1 人 × 15 時間 出場者募集フォーム作成　940円 × 1 人 × 1 時間 出場者募集活動　1,040円 × 2 人 × 100 時間 出場者募集活動 補佐　940円 × 1 人 × 30 時間 キックオフ投影・配布資料作成　1,040円 × 2 人 × 16 時間 キックオフ当日運営　1,040円 × 1 人 × 5 時間 出場者補助　1,040円 × 2 人 × 120 時間 出場者補助 補佐　940円 × 1 人 × 50 時間 決勝投影・配布資料作成　1,040円 × 2 人 × 24 時間 決勝当日運営　1,040円 × 2 人 × 8 時間 報告書作成　940円 × 1 人 × 20 時間
G　謝金	20,000	20,000	講師費　10,000円 × 1 人 × 2 回
H　旅費交通費	76,000	75,260	職員打合せ交通費（横浜⇔茅ヶ崎）　1,940円 × 1 人 × 3 回 キックオフ・決勝のボランティア交通費（横浜⇔茅ヶ　992円 × 10 人 × 2 回 告知・募集活動のボランティア交通費（横浜⇔茅ヶ　992円 × 5 人 × 10 回
I　通信運搬費			
J　印刷製本費	15,000	14,400	募集チラシ印刷費　@4.8円 × 3000 部
K　消耗品費			
L　賃借料			
M　一般管理費	134,000	136,260	直接事業費の10%以内
N　支出合計額（FからMまで）	1,500,000	1,500,000	

協働事業評価書

事業名	茅ヶ崎市の未来を考える政策コンテスト
団体名	特定非営利活動法人ドットジェイピー
担当課名	企画経営課

目標の設定

事業実施前に、事業の実施により達成する目標や、受益者評価の目標を設定してください。

成果目標

各項目については、実施団体と担当課が協議の上で決定してください。

目標とする成果（何がどう変化することを目指すのかを記入してください。）
出場する若者たちが自ら茅ヶ崎市の政策や予算を考え、立案することで、行政や政治への関心を高める。

活動指標（サービスやイベントなどの実施内容）	対象者等	目標値	結果
■魅力的なイベント等の実施 ・キックオフイベントの開催 ・まち歩きイベントの開催 ・中間チェックイベントの開催 ・決勝イベントの開催 ・出場者との週1回程度のレポートの受信・返信	18歳以上24歳以下の茅ヶ崎市および近隣に在住・在学・在勤の方	出場者50名 政策立案数10政策	出場者41名 政策立案数10政策

受益者評価の目標値

評価手法	対象者等	目標値
アンケート	コンテスト出場者	行政や政治に対して関心が高まったと回答した人数の割合80%
－	－	－

受益者評価ができない場合、その理由を記入してください。
－

中間評価

中間評価

各項目の評価

下記の評価項目について、1点から5点の評価または、設問に沿ったコメントを記入してください。

評価得点の目安

5点・・事業実施前の想定をはるかに良い方向に上回った
4点・・事業実施前の想定をやや良い方向に上回った
3点・・事業実施前に想定した範囲の評価であった
2点・・事業実施前の想定より評価がやや低いと感じられた
1点・・事業実施前の想定より評価がはるかに低いと感じられた

協働プロセス

相乗効果	評価点数・団体	評価点数・行政
1．それぞれが単独で行うよりも大きな効果を得ることができていますか	5	5
	↑　1点から5点を記入	↑　1点から5点を記入

事業内容の評価

事業の進捗状況	評価点数・団体	評価点数・行政
2．事業は計画通りに進捗していますか	3	3
	↑　1点から5点を記入	↑　1点から5点を記入
1点及び2点と評価した場合、理由を記入してください→	－	－
	↑コメントを記入してください	↑コメントを記入してください

事業手法の妥当性	評価点数・団体	評価点数・行政
3．この事業を協働という事業手法で行うことが最善であると感じましたか	4	4
	↑　1点から5点を記入	↑　1点から5点を記入
そのように感じる理由を記入してください→	弊団体は政策コンテスト運営のノウハウは蓄積しているものの、茅ヶ崎市の市勢・行政の知見は不十分であった。協働で行うことで、出場者に円滑な運営と、十分な知識を提供することができる。	お互いの持つ強みを活かすこと。また、事業手法について知恵を出し合い、適宜協議を実施することで、事業の進行管理をより円滑に行うことができる。
	↑コメントを記入してください	↑コメントを記入してください

事業手法の妥当性	評価点数・団体	評価点数・行政
4．事業を実施する事により市民の満足度を高めることができそうであると感じますか	3	3
	↑　1点から5点を記入	↑　1点から5点を記入
そのように感じる理由を記入してください→	もう少し高い年齢の若年層にも参加ニーズがありそうなので、コンテスト設計細部は微調整を要する。	若者の行政への関心が高まることが、まちの活性化につながると考える。結果、満足度は向上すると考える。
	↑コメントを記入してください	↑コメントを記入してください

期末評価

期末評価について

各項目の評価

下記の評価項目について、1点から5点の評価または、設問に沿ったコメントを記入してください。

評価得点の目安

5点・・事業実施前の想定をはるかに良い方向に上回った
4点・・事業実施前の想定をやや良い方向に上回った
3点・・事業実施前に想定した範囲の評価であった
2点・・事業実施前の想定より評価がやや低いと感じられた
1点・・事業実施前の想定より評価がはるかに低いと感じられた

協働プロセス

目的共有	評価点数・団体	評価点数・行政
1．事業内容は共有できましたか	5 ↑ 1点から5点を記入	5 ↑ 1点から5点を記入

役割分担	評価点数・団体	評価点数・行政
2．協定書で定めた役割分担は適正でしたか	5 ↑ 1点から5点を記入	5 ↑ 1点から5点を記入

対等性と相互理解	評価点数・団体	評価点数・行政
3．対等な関係で意見交換や事業を推進することができましたか	5 ↑ 1点から5点を記入	5 ↑ 1点から5点を記入

自主性と自立性	評価点数・団体	評価点数・行政
4．互いの立場、役割を理解して事業を進めることができましたか	5 ↑ 1点から5点を記入	5 ↑ 1点から5点を記入

透明性と公開性	評価点数・団体	評価点数・行政
5．事業に関する情報を広く公開し、事業の状況を周知することができましたか	4 ↑ 1点から5点を記入	3 ↑ 1点から5点を記入

相乗効果	評価点数・団体	評価点数・行政
6．それぞれが単独で行うよりも大きな効果を得ることができましたか	5 ↑ 1点から5点を記入	5 ↑ 1点から5点を記入

協働プロセスの総合評価	評価点数・団体	評価点数・行政
7．1～6の視点で、協働プロセスを総合的に評価してください	5 ↑ 1点から5点を記入	4 ↑ 1点から5点を記入

最終評価	B 左のA～Eを記入
最終評価の理由や根拠などを記入してください	弊団体からは政策コンテストのテキストや運営のノウハウ、茅ヶ崎市からは市政に関する様々な情報や行政プロフェッショナルとしての知見を持ち寄り、全チームから有意義な茅ヶ崎市の理想像、政策アイデアを得ることができたから。ただし茅ヶ崎市民への周知には改善の余地がある。

A:十分達成できた　B:ほぼ達成できた　C:課題も残ったが概ね達成できた　D:あまり達成できなかった　E:ほとんど達成できなかった

事業内容の評価

事業目的目標達成度	評価点数・団体	評価点数・行政
1．事業計画に記載した事業目的は達成できましたか	5	4
	↑　1点から5点を記入	↑　1点から5点を記入
2．評価書で設定した成果目標は達成できましたか	5	4
	↑　1点から5点を記入	↑　1点から5点を記入

事業スケジュール	評価点数・団体	評価点数・行政
3．事業計画書のスケジュールどおりに実施できましたか	5	5
	↑　1点から5点を記入	↑　1点から5点を記入

事業手法の妥当性	評価点数・団体	評価点数・行政
4．この事業を協働という事業手法で行うことが最善であると感じましたか	4	4
	↑　1点から5点を記入	↑　1点から5点を記入
そのように感じる理由を記入してください→	弊団体だけでは出場者に茅ヶ崎市政に関する有益な情報やアドバイスをすることが難しかったから	コンテスト運営のノウハウ、プロセスにおける出場者へのフォロー等、トッドジェイピー様の強みがあって、事業の進捗管理や質の向上が図られたと考えるため
	↑コメントを記入してください	↑コメントを記入してください

市民（受益者）満足度	評価点数・団体	評価点数・行政
5．サービスの受け手となる市民のニーズや意見、その他情報収集に努めましたか	3	3
	↑　1点から5点を記入	↑　1点から5点を記入
6．事業を実施した事により市民満足度は高まったと感じますか	3	3
	↑　1点から5点を記入	↑　1点から5点を記入
そのように感じる理由を記入してください→	多くの市民に観覧いただくべき決勝会場への来場者数が多く集められなかったから	出場者の市内在学・在住・在勤者の割合が低く、観覧者数も想定より少なかった。広く市民への関心が高まっているとは言えず、結果満足度に寄与したとは言い難い。
	↑コメントを記入してください	↑コメントを記入してください

事業内容の総合評価	評価点数・団体	評価点数・行政
7．1～6の視点で、事業内容を総合的に評価してください	4	4
	↑　1点から5点を記入	↑　1点から5点を記入

予算の妥当性	評価点数・団体	評価点数・行政
8．事業を進める上、当初設定した予算は、想定よりも有効に活用されたと感じますか	5	5
	↑　1点から5点を記入	↑　1点から5点を記入

最終評価	C 左のA～Eを記入	A:十分達成できた　B:ほぼ達成できた　C:課題も残ったが概ね達成できた　D:あまり達成できなかった　E:ほとんど達成できなかった
最終評価の理由を記入してください	弊団体、茅ヶ崎市双方からノウハウ、情報、マンパワーを持ち寄り、目標を達した出場者チーム数、両者単独では為しえないコンテスト運営、出場者から有意義な提案を受けることができた。ただし、想定よりも市内からの出場者が少なかった点は改善の余地がある。また、決勝の観覧者数が多かったとは言えず、不特定多数の市民、特に若い世代に対してまちづくりへの参画促進につながらなかった点も改善すべき点であった。	

市民提案型　３　ハマミーナ魅力ＵＰ大作戦

（特定非営利活動法人まちづくりスポット茅ヶ崎・文化生涯学習課・福祉政策課）

協働推進事業実績報告書

平成３０年５月２日

（あて先）茅ヶ崎市長

所在地
提出者　名称　　特定非営利活動法人
まちづくりスポット茅ヶ崎
代表者氏名　益永律子、内野俊樹　　印

平成２９年度（行政提案型・(市民提案型)）協働推進事業の実績について、次のとおり報告します。

事業の名称	**ハマミーナ魅力ＵＰ大作戦**
担当課名	文化生涯学習課、福祉政策課
事業の内容等	【目的】 ハマミーナに関する情報発信と利用者同士の交流の場づくりを通じて 市民自らが施設の魅力を発見するとともに、市民と行政が連携し、 より使いやすく愛される環境を整える。 【参考】 ハマミーナとは、平成２７年（２０１５年）４月、茅ヶ崎市浜見平にオープンした「茅ヶ崎市南西部複合施設」です。民間が所有するＢＲＡＮＣＨ茅ヶ崎内にあり「様々な世代の住民が暮らし、交流し、支え合いの中で生き生きとしたコミュニティを育む生活拠点」の公共施設です。主に６課（市民課、保育課、文化生涯学習課、福祉政策課、高齢福祉介護課、図書館）により運営されています。 １階　茅ヶ崎市役所ハマミーナ出張所、ボランティアセンター湘南「ハート&ハート」、 情報展示室、湘南地区地域包括支援センターすみれ、福祉相談室すみれ、 茅ヶ崎市立浜見平保育園、総合案内、管理室 ２階　ハマミーナまなびプラザ（受付・会議室・調理室・音楽室・フリースペース）、 ハマミーナ図書室、茅ヶ崎市立浜見平保育園地域育児センター ３階　ハマミーナまなびプラザ（体育室） ほか、別紙「協働推進事業実施結果」のとおり

協働推進事業実施結果

事業の実施内容	**作戦１．「ハマミーナ総合案内」業務の実施（２４５日/年）** 来館者からの各フロアや地域情報に関する問合せ＆相談対応。 内容：受付業務（問合せおよび相談対応、対応記録集計・ニーズ分析他） 情報提供（ハマミーナまなびプラザ開催イベントや地域情報を記載したカレンダー形式のイベントボードを毎月作成・掲示他） 期間：平成２９年４月１日（土）～平成３０年３月３１日（土） ９：００～１７：００（平日５日/週×８時間/日） 場所：ハマミーナ総合案内（１階） **作戦２．「ハマミーナ探検隊」の実施（１回/年）** 施設利用のコツ、各フロアの役割と空間を見る・歩く・知る見学イベント。 ■第１回 日時：２０１７年１１月２日（木）１３：００～１５：００ 場所：ハマミーナまなびプラザ会議室（２階） 備考：事前申込制、当日参加ＯＫ **作戦３．「ハマミーナ交流会」の実施（２回/年）** 新しい仲間づくりや施設をより良くするアイデア交換の場。 ■第１回 名称：ハマミーナ交流会vol．１～私の好きなこと発見＆マッチング～ 内容：ワールドカフェ形式による情報交換。 日時：２０１７年１０月２８日（土）１０：００～１２：００ 場所：ハマミーナまなびプラザ体育室（３階） 協力：まなびの市民講師３名、マム０４、文教大学健康栄養学部研究会 備考：事前申込制、当日参加ＯＫ ■第２回 名称：ハマミーナ交流会vol．２～ハマミーナをもっと楽しみたい人集まれ～ 内容：マッピングワークショップ、仲間づくりコーナー、ハマミーナプチ見学ツアー、ハマミーナまなびプラザ調理室・体育室の無料開放 日時：２０１８年3月１７日（土）１０：００～１２：００ 場所：ハマミーナまなびプラザ会議室（２階） 備考：事前申込不要、当日参加ＯＫ、入退場自由

事業の参加者等	**作戦１．「ハマミーナ総合案内」業務の実施** 総合案内受付業務日数 ２４５日/年 総合案内における市民（来館者）への情報提供件数 ３，４９０件/年 来館者からの各フロア等に関する問合せ＆相談対応 （内訳） ・茅ヶ崎市役所ハマミーナ出張所 １，３１２件 ・ボランティアセンター湘南「ハート＆ハート」 ６８件 ・湘南地区地域包括支援センターすみれ＆福祉相談室すみれ ９１件 ・ハマミーナ図書室 １６０件 ・茅ヶ崎市立浜見平保育園＆地域育児センター １１０件 ・ハマミーナまなびプラザ ７２６件 ・ＢＲＡＮＣＨ茅ヶ崎全般 ７４８件 ・市南西部地域 １２４件 ・その他 １５１件 （来館者の声の一例） 「周辺の道路工事に伴い、歩道の安全確保について提案したい」 「誰でも参加できる麻雀教室を探しているのだけど…」 「赤ちゃんも気軽に遊べる場所を探しています」 「このあたりで待合せにちょうど良い場所はありますか？」 「○○クリニックの場所はどこですか？」 「最近引っ越してきた。このあたりの桜の名所を教えてほしい」 「高齢の親が転入する予定。福祉の相談ができる場所はありますか？」 「転入してきたがゴミの捨て方、捨てる場所がわからない」 「福祉のボランティア活動がしたい」 「宅急便の不在連絡に電話したいのだけど公衆電話の使い方がわからない」 （参考） 来館者アンケート 回　答：計７５名 「総合案内が利用しやすくなった」　８０％（６０名） 「ハマミーナを利用する頻度が増えた」　７１％（５３名） 期　間：２０１８年4月１３日（金）～２７日（金）

	作戦２．「ハマミーナ探検隊」の実施（１回/年） 第１回 参加者：６名　＊満足度４．７（５段階平均） 世　代：２０代～７０代（20代1名、40代1名、60代1名、70代以上3名） 住まい：浜見平、南湖、中島、東海岸北 ～感想～ ・参加できてとても参考になりました。（60代女性・東海岸北） ・個人ではみれない隅々まで案内いただき満足でした（70代女性・南湖） ・保育室はとてもすばらしく出来ています。（70代女性・浜見平） ・見学出来ない所を見せていただいたり、説明していただいたりしてとても良かった。（70代女性・中島） ・普段は入れないところに行けて良かった。（40代女性・浜見平） ・普段は入れない場所への案内があり、皆様の反応も良かったと思います。（20代女性・浜見平） ～ハマミーナに期待すること～ ・防災拠点としての役割はないのでしょうか…？あるならそれも知りたい。屋上見たかった。（40代女性・浜見平） ・まなびプラザは利用者登録しないといけないのがハードル高い。結局図書室しか使えない。図書カードで使えたら良いのにな。（40代女性・浜見平） ・施設はとても素晴らしいと思いましたが、駐車場の混み具合や料金について（東海岸北60代女性）

	作戦３．「ハマミーナ交流会」の実施（２回/年） 第１回 参加者：６名　＊満足度４．３　（５段階平均） 世　代：３０代～７０代（30代1名、40代1名、60代2名、70代以上2名） 住まい：浜見平、中島、柳島、西久保 ～感想～ ・楽しかった！！今後も参加したい。ご近所の方と知り合えた。 （60代女性・柳島） ・施設の使用方法等分り良（70代女性・中島） ・地域のつながりが出きました。（40代女性・柳島） ・大変良かったです。知り合いになれました。（70代男性・浜見平） ・様々な情報を得ることができた。（30代男性・浜見平） ・色々な方が参加されてお話が聞けて良かった。（60代女性・西久保） ～ハマミーナに期待すること～ ・もう少し使いやすくなると良い（使用料など）。（60代女性・柳島） ・どんな活動をしているサークル、団体があるか 簡単に知ることができるとよいな～と。（40代女性・柳島） ・駐車場待ちの車が道路に並んでいて危険。（70代男性・浜見平） ・体育館で実施しているスポーツに参加したい（30代男性・浜見平） ・ハマミーナをもっともっと多くの方が利用され、茅ヶ崎市の 町づくりにつながって行けたらと思います。（60代女性・西久保）

	第２回 参加者：３９名　＊満足度４．３（５段階平均） 世　代：２０代～８０代 住まい：浜見平、南湖、松尾、中島、柳島、赤羽根、下町屋、矢畑、今宿、堤、東海岸北、十間坂 ～感想～ ・ハマミーナの全体像を知るよい機会でした。(70代女性・不明) ・はじめての方と楽しく、知り合いになれた。おしゃべりができた。案内が親切でした。独居老人や転居者ははやくこの行事を知りたかった。総合案内で声をかけて誘って頂いて新しい世界が展開です。(80代女性・柳島) ・参加者と知り合いになり連絡先を交換しました。(60代女性・不明) ・とても良い企画で、自分がやりたいことやつながりたい方のご紹介もいただき、すぐ動きたい気持ちになりました。是非続けてほしいのと、ＯＢ会を企画してほしいです。(50代女性・東海岸北) ・施設利用者にも施設で参加したい方にも、興味深い交流会でした。こんなことしたい、やってみたいが一緒に実現できるきっかけになったと思います。またぜひやってほしいと思います。(40代女性・南湖) ・まちスポの方、参加者の方と交流できてよかった（20代男性・赤羽根） ・引き続き実施して頂きたいイベントです（30代女性・その他） ・とってもステキな企画ですね。今回も新しい出会いがありました。本当にありがとうございました。(60代女性・中島) ・プチ見学ツアーでのご説明が判り易く参加して嬉しい気分になりました。(70代男性・松尾) ～ハマミーナに期待すること～ ・周辺に学校が多いので子ども向けのイベント等がもっとあるとより幅広い年代の人にハマミーナを利用してもらえると思う（20代男性・赤羽根） ・体育館市民開放デーの開催（30代女性・その他） ・近隣開放デー等をしたらどうですか（40代男性・不明） ・情報展示室は個人ではなく活動紹介をしてほしい。(50代女性・東海岸北) ・授乳室がよくわからない（見つからない）との声があったので、入口などにシールなどで明示した方がいいのでは？（50代女性・東海岸北） ・図書ルームの21:00利用可が便利です。(70代男性・不明) ・ＢＲＡＮＣＨ茅ヶ崎の将来像について少し明らかになり、まだまだ長生きしたいと思いました。(70代男性&女性・南湖) ・まだまだいろいろと周知が不足しているのかなと思いますが、これからですかね。地域の方と交流を深めて、もっともっと発展していって欲しいです。(40代女性・矢畑)

実施日程等	**作戦１．「ハマミーナ総合案内」業務の実施** 平成２９年４月～平成３０年３月　受付業務 **作戦２．「ハマミーナ探検隊」の実施** 平成２９年 ４月～　企画打合せ、各テナント所管課調整、資料・チラシ作成 ９月～　広報 １１月　　実施 １２月～　ふりかえり **作戦３．「ハマミーナ交流会」の実施** 平成２９年 ４月～　企画打合せ、各テナント所管課調整、資料・チラシ作成 ９月～　広報 １０月　　第１回実施＆ふりかえり １１月　　第２回開催延期（事前申込で最少催行人数に達しなかったため） １２月～　企画打合せ、各テナント所管課調整、資料・チラシ作成 平成３０年 ３月　　第２回実施＆ふりかえり **定期打合せ** 平成２９年４月～平成３０年３月　合計１４回実施

収 支 決 算 書

協働推進事業費

（総事業費）　2,750,000 円

（収　入）　（円単位）

区　分	当初予算額	決算額	内訳（内容、数量、単価など）
A　委託料または負担金の額	2,750,000	2,750,000	市の支出金
B　収入合計額 (A)	2,750,000	2,750,000	

※収入欄には、市の支出金のほか、参加費、寄附金等の収入を記入して下さい。

（支　出）　（円単位）

区　分	当初予算額	決算額	内訳（内容、数量、単価など）
C　人件費	2,440,000	2,450,930	2,066,660 円（ハマミーナ総合案内） 950 円×8h×96.5 日×1 名（4 月～9 月） 960 円×8h×97.25 日×1 名（10 月～3 月） 1,250 円×8h×21.5 日×1 名 1,550 円×8h×14.25 日×1 名 1,570 円×8h×15.5 日×1 名 109,130 円（ハマミーナ探検隊） 960 円×4h×1 名、1,250 円×19h×1 名 1,550 円×5h×1 名、1,570 円×47h×1 名 165,600 円（ハマミーナ交流会） 960 円×10h×1 名、1,250 円×32h×1 名 1,550 円×9h×1 名、1,570 円×65h×1 名 49,540 円（定期打合せ・情報共有） 1,250 円×12h×1 名、1,570 円×22h×1 名 50,000 円（組織内の進捗共有） 1,250 円×40h×1 名 5,000 円（中間報告） 1,250 円×4h×1 名 5,000 円（ふりかえり） 1,250 円×4h×1 名
D　旅費交通費	9,000	6,650	175 円×2 回×1 名×14 回（市との定期打合せ） 175 円×2 回×1 名×5 回（市との定期打合せ） ※いずれも団地中央⇔茅ヶ崎四つ角
E　通信運搬費	5,000	1,148	82 円×14 通（ハマミーナ交流会）

F　印刷製本費	25,000	21,540	6,420 円　＊A4 フルカラー両面チラシ 1,400 部 （10/28 ハマミーナ交流会・11/2 ハマミーナ探検隊） 8,090 円　＊A4 フルカラー両面チラシ 800 部 （11/18 ハマミーナ交流会） 4,830 円　＊A4 フルカラー両面チラシ 500 部 （3/17 ハマミーナ交流会） 200 円　＊A5 モノクロ両面チラシ 1,000 部 （3/17 ハマミーナ交流会） 2,000 円　＊A4 モノクロ両面 100 部 （3/17 ハマミーナ交流会資料等）
G　物品費	15,000	19,732	2,487 円　＊イベントボード用ブラックボード 3,430 円　＊イベントボード用ペン一式 5,926 円　＊情報提供資料保管用デスクワゴン 1,990 円　＊情報提供資料整理用ブックスタンド 924 円　＊情報提供チラシ等保管用ファイル 1,371 円　＊問合せ・相談情報記録用 USB 3,388 円　＊救急セット等一式 ※上記いずれもハマミーナ総合案内にて使用 216 円　＊ペーパー皿（10/28 ハマミーナ交流会）
H　一般管理費	250,000	250,000	230,150 円 （人件費：定期打合せ・情報共有等） 19,850 円 （物品費：資料印刷用インク等）
I　支出合計額 （C から H まで）	2,750,000	2,750,000	

協働事業評価書

事業名	ハマミーナ魅力UP大作戦
団体名	特定非営利活動法人まちづくりスポット茅ヶ崎
担当課名	文化生涯学習課・福祉政策課

目標の設定

事業実施前に、事業の実施により達成する目標や、受益者評価の目標を設定してください

成果目標

各項目については、実施団体と担当課が協議の上で決定してください。

目標とする成果（何がどう変化することを目指すのかを記入してください。）			
市民と行政が連携し、より使いやすく愛される施設に！ 6課（市民課、保育課、文化生涯学習課、福祉政策課、高齢福祉介護課、図書館）にまたがる複合施設への 市民（＝来館者）からの声・問合せ・提案内容を6課と共有し実現することにより、施設の利便性を高める。			
活動指標（サービスやイベントなどの実施内容）	対象者等	目標値	結果
ハマミーナ総合案内（平日9:00～17:00） ハマミーナ探検隊 ハマミーナ交流会	市民	246日 1回 2回	245日 1回 2回

受益者評価の目標値

評価手法	対象者等	目標値
ハマミーナ総合案内における情報提供件数	市民（来館者）	3，600件/年
日々の利用者アンケート	市民（来館者）	「総合案内が利用しやすくなった」人の割合が80%以上。 「ハマミーナを利用する頻度が増えた」人の割合が70%以上。

受益者評価ができない場合、その理由を記入してください。

中間評価

中間評価

各項目の評価

下記の評価項目について、1点から5点の評価または、設問に沿ったコメントを記入してください。

評価得点の目安

高
低

5点・・事業実施前の想定をはるかに良い方向に上回った
4点・・事業実施前の想定をやや良い方向に上回った
3点・・事業実施前に想定した範囲の評価であった
2点・・事業実施前の想定より評価がやや低いと感じられた
1点・・事業実施前の想定より評価がはるかに低いと感じられた

協働プロセス

相乗効果	評価点数・団体	評価点数・行政
1. それぞれが単独で行うよりも大きな効果を得ることができていますか	3	3
	↑ 1点から5点を記入	↑ 1点から5点を記入

事業内容の評価

事業の進捗状況	評価点数・団体	評価点数・行政
1. 事業は計画通りに進捗しているか	3	3
	↑ 1点から5点を記入	↑ 1点から5点を記入
1点及び2点と評価した場合、理由を記入してください→		
	↑コメントを記入してください	↑コメントを記入してください

事業手法の妥当性	評価点数・団体	評価点数・行政
3. この事業を協働という事業手法で行うことが最善であると感じましたか	4	3
	↑ 1点から5点を記入	↑ 1点から5点を記入
そのように感じる理由を記入してください→	周辺地域とのネットワークや最新情報を持つNPOの強みと、施設運営の窓口として6つの課をつなぐ行政の強みを互いに活かし発揮できているため。	日頃より地域住民、団体・サークル等と活動している事業団体であることから、地域の情報収集力、情報発信力がたけており、利用者へ効果的な情報発信ができているため。
	↑コメントを記入してください	↑コメントを記入してください

事業手法の妥当性	評価点数・団体	評価点数・行政
4. 事業を実施する事により市民の満足度は高めることができそうであると感じますか	4	4
	↑ 1点から5点を記入	↑ 1点から5点を記入
そのように感じる理由を記入してください→	市民（来館者）が求める幅広い情報（施設利用、市政、商業、自治会、学校、近隣道路・住宅の開発状況等）を、的確に提供できているため。	①総合案内に寄せられる利用者からの質問等の記録・関係各課への結果共有、②ハマミーナや周辺施設等のイベントカレンダーの作成、③ハマミーナ交流会・探検隊の実施などから、利用者のハマミーナ利用者満足度が向上することが期待できるため。
	↑コメントを記入してください	↑コメントを記入してください

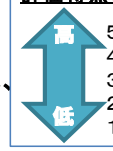
期末評価

期末評価について

各項目の評価

下記の評価項目について、1点から5点の評価または、設問に沿ったコメントを記入してください。

評価得点の目安



5点・・事業実施前の想定をはるかに良い方向に上回った
4点・・事業実施前の想定をやや良い方向に上回った
3点・・事業実施前に想定した範囲の評価であった
2点・・事業実施前の想定より評価がやや低いと感じられた
1点・・事業実施前の想定より評価がはるかに低いと感じられた

協働プロセス

目的共有	評価点数・団体	評価点数・行政
1. 事業内容は共有できましたか	3 ↑ 1点から5点を記入	3 ↑ 1点から5点を記入

役割分担	評価点数・団体	評価点数・行政
2. 協定書で定めた役割分担は適正でしたか	3 ↑ 1点から5点を記入	3 ↑ 1点から5点を記入

対等性と相互理解	評価点数・団体	評価点数・行政
3. 対等な関係で意見交換や事業を推進することができましたか	3 ↑ 1点から5点を記入	3 ↑ 1点から5点を記入

自主性と自立性	評価点数・団体	評価点数・行政
4. 互いの立場、役割を理解して事業を進めることができましたか	3 ↑ 1点から5点を記入	3 ↑ 1点から5点を記入

透明性と公開性	評価点数・団体	評価点数・行政
5. 事業に関する情報を広く公開し、事業の状況を周知することができましたか	3 ↑ 1点から5点を記入	3 ↑ 1点から5点を記入

相乗効果	評価点数・団体	評価点数・行政
6. それぞれが単独で行うよりも大きな効果を得ることができましたか	3 ↑ 1点から5点を記入	4 ↑ 1点から5点を記入

協働プロセスの総合評価	評価点数・団体	評価点数・行政
7. 1～6の視点で、協働プロセスを総合的に評価してください	3 ↑ 1点から5点を記入	3 ↑ 1点から5点を記入

最終評価	B 左のA～Eを記入
最終評価の理由や根拠などを記入してください	毎月1回程度の定期的な打合せ、日々の電話やメールでの情報共有などにより、スムーズに進めることができた。特に「ハマミーナ総合案内」でのイベントボード設置による来館者への情報提供は、来館者の声や対応方法から見えるニーズを互いに共有し、市民満足度向上や課題解決へと向ける方向性を共有できていたことにより生まれた取り組みで評価できる。また「ハマミーナ交流会」は市民にとってより良い企画となるよう双方で納得いくまでアイデアや意見を出し合い実行できた。協働推進事業のお手本となるような関係性を築きながら事業展開できたと考えているため。

A:十分達成できた　B:ほぼ達成できた　C:課題も残ったが概ね達成できた　D:あまり達成できなかった　E:ほとんど達成できなかった

事業内容の評価

事業目的目標達成度	評価点数・団体	評価点数・行政
1. 事業計画に記載した事業目的は達成できましたか	3	3
	↑ 1点から5点を記入	↑ 1点から5点を記入
2. 評価書で設定した成果目標は達成できましたか	3	3
	↑ 1点から5点を記入	↑ 1点から5点を記入

事業スケジュール	評価点数・団体	評価点数・行政
3. 事業計画書のスケジュールどおりに実施できましたか	4	4
	↑ 1点から5点を記入	↑ 1点から5点を記入

事業手法の妥当性	評価点数・団体	評価点数・行政
4. この事業を協働という事業手法で行うことが最善であると感じましたか	4	4
	↑ 1点から5点を記入	↑ 1点から5点を記入
そのように感じる理由を記入してください→	周辺地域とのネットワークや最新情報を持つNPOの強みと、施設運営の窓口として6つの課をつなぐ行政の強みを互いに活かし発揮できているため。	日頃より地域住民、団体・サークル等と活動している事業団体であることから、地域の情報収集力、情報発信力がたけており、利用者へ効果的な情報発信ができているため。
	↑コメントを記入してください	↑コメントを記入してください

市民（受益者）満足度	評価点数・団体	評価点数・行政
5. サービスの受け手となる市民のニーズや意見、その他情報収集に努めましたか	4	4
	↑ 1点から5点を記入	↑ 1点から5点を記入
6. 事業を実施した事により市民満足度は高まったと感じますか	4	4
	↑ 1点から5点を記入	↑ 1点から5点を記入
そのように感じる理由を記入してください→	市民（来館者）が求める幅広い情報（施設利用、市政、商業、自治会、学校、近隣道路・住宅の開発状況等）を、的確に提供できているため。	利用者からの意見等の関係各課への共有、ハマミーナや周辺施設等のイベントカレンダー、ハマミーナ交流会・探検隊の実施などから、利用者のハマミーナ利用者満足度が向上していることがアンケート結果から評価できる。
	↑コメントを記入してください	↑コメントを記入してください

事業内容の総合評価	評価点数・団体	評価点数・行政
7. 1～6の視点で、事業内容を総合的に評価してください	4	4
	↑ 1点から5点を記入	↑ 1点から5点を記入

予算の妥当性	評価点数・団体	評価点数・行政
8. 事業を進める上、当初設定した予算は、想定よりも有効に活用されたと感じますか	3	3
	↑ 1点から5点を記入	↑ 1点から5点を記入

最終評価	A 左のA～Eを記入	A:十分達成できた　B:ほぼ達成できた　C:課題も残ったが概ね達成できた　D:あまり達成できなかった　E:ほとんど達成できなかった
最終評価の理由を記入してください	利用者からの意見等の関係各課への共有、ハマミーナや周辺施設等のイベントカレンダー、ハマミーナ交流会・探検隊の実施などから、利用者のハマミーナ利用者満足度が向上していることがアンケート結果から評価できる。特にハマミーナ交流会・探検隊では、参加者からハマミーナ施設等への意見を多く頂くことができた。今後ハマミーナがより使いやすく愛される施設になるために頂いた意見を活用し改善していくことで、市民満足度を向上していくことができると高く評価できるため。	

市民提案型　４　防災への動画活用

（特定非営利活動法人湘南ふじさわシニアネット・防災対策課）

協働推進事業実績報告書

平成30年3月31日

（あて先）茅ヶ崎市長

所在地
提出者　特定非営利活動法人湘南ふじさわシニアネット
代表者　代表理事　小林　信武　　印

平成29年度市民提案型協働推進事業の実績について、次のとおり報告します。

事業の名称	防災への動画活用
担当課名	市民安全部 防災対策課
事業の内容等	別紙「協働推進事業実施結果」のとおり

※この実績報告書には、収支決算書及び最終評価（当事者評価後の協議を含む）終了後の協働事業評価書を添付してください。

※実績報告書の内容については、協働事業評価書の内容とともに、事業実施の翌年度５月から６月に開催する協働推進事業報告会で発表していただくことになります。

協働推進事業実施結果

事業の実施内容 ※できるだけ具体的に記入してください。	本事業は、行政及び市民の最重要課題である防災について、協働で事業を実施することにより、動画を活用して市民に防災資機材の使用方法を確実に習得いただく、また動画を活用し災害発生時に市民が適切に行動できるよう啓発するという目的で実施した。 (1) 防災資機材の取扱いに関する動画の作成 「防災資機材編」として、 以下の8本の動画を、企画・シナリオ作成・撮影・音声録音・編集し、関係者の意見も反映して最終的に仕上げた。 ① 防災倉庫 ② ろ水機 ③ 給水タンク ④ 平釜 ⑤ 救助救出用具 ⑥ 仮設組立トイレ ⑦ インバーター発電機 ⑧ バルーン投光器 (2) 作成した動画の活用、周知啓発 1. ちらし作成 15,000部 自治会回覧、公共機関など配布 2. ポスター作成 100部 公共機関に掲示 3. DVD作成 200枚 自主防災組織に配布、市民への貸出等 4. 茅ヶ崎市ホームページでの告知､Youtube専門チャンネルの作成とリンク 5. 広報ちがさき 3月15日号で広報 (3) その他上記業務に関連、付随する業務 ● 防災リーダー養成研修会への参加 ● 防災動画の活用についてのアンケート調査 ● プロジェクト管理
事業の参加者等	茅ヶ崎市市民安全部防災対策課 杉本裕哉、陣内瑞生、窪田圭佑 特定非営利活動法人湘南ふじさわシニアネット 小林信武、市川幸利、伊藤外美子、湊元力、板津守昭

実施日程等	平成29年4月　防災対策課ご担当交代に伴い、 これまでの経緯／協定書等説明 平成29年4月～6月　防災対策課の企画案「防災への動画活用」等により、 作成する動画の企画検討 平成29年7月　防災リーダー養成研修会出席 平成29年8月　「インバーター発電機」、「バルーン投光器」を、 サンプルとして第1回撮影・編集 平成29年9月　全体スケジュールとサンプル動画をベースにしての 今後の方針検討 平成29年10月　中間評価と平成30年度協働推進事業の計画作成 「インバーター発電機」、「バルーン投光器」の再撮影・編集 「仮設組立トイレ」の撮影・編集 平成29年11月　「防災倉庫」、「ろ水機」、「給水タンク」、 「平釜」、「救助救出」の撮影・編集 平成29年12月　平成30年度実施協働推進事業公開プレゼンテーション 「防災倉庫」、「ろ水機」、「給水タンク」、「平釜」、 「救助救出」編集会議 会議の結果を受けて、シナリオ修正、撮影追加、再編集 広報、ちらし、DVD作成スケジュール検討 平成30年1月　各動画の正式名称決定 「救助救出用具」のシナリオ大幅変更、撮影・編集 各動画の詳細検討 ちらし原案作成 DVD盤面レーベル及びジャケット案作成 平成30年2月　防災リーダー養成研修会への参加 防災リーダー養成研修会でのアンケート実施 動画最終版の確認 ちらし最終版の確認 DVD盤面レーベル及びジャケットの確認 茅ヶ崎市ホームページの変更とYoutube専門チャンネル検討 ちらし、DVD発注 平成30年3月　ちらし自治会回覧へ ポスター配布 DVD自主防災組織へ送付 茅ヶ崎市ホームページ変更、Youtube専門チャンネル立上げ 防災動画に関する市民アンケート実施 平成30年度協働推進事業協定書／評価書の作成 平成29年度協働推進事業報告書／評価書の作成

収 支 決 算 書

協働推進事業費

（総事業費）　　1,310,000 円

（収　入）　　（円単位）

区　分	当初予算額	決算額	内訳（内容、数量、単価など）
A　委託料または負担金の額	1,310,000	1,310,000	市の支出金
E　収入合計額	1,310,000	1,310,000	

※収入欄には、市の支出金のほか、参加費、寄附金等の収入を記入して下さい。

（支　出）　　（円単位）

区　分	当初予算額	決算額	内訳（内容、数量、単価など）
F　人件費	1,036,000	1,119,420	プロジェクト管理　78 工数×1,620 円＝126,360 円 動画打合せ・撮影・編集・アップロード　530 工数×1,620 円＝858,600 円 DVD 原版制作　20 工数×1,620 円＝32,400 円 Youtube チャンネル構築・運用　20 工数×1,620 円＝32,400 円 ポスター／チラシ企画・デザイン　25 工数×1,620 円＝40,500 円 アンケート作成・分析　18 工数×1,620 円＝29,160 円
G　謝金			
H　旅費交通費	45,000	57,422	プロジェクト会議等　24 人回　16,614 円 動画打合せ・撮影　　58 人回　40,808 円
I　通信運搬費	17,000	0	（庁内配布便利用のため）
J　印刷製本費	115,000	62,340	ちらし印刷　9,000 部　両面カラー　14,100 円 ちらし印刷　6,000 部　両面カラー　10,350 円 ポスター印刷　100 部　A3 カラー　2,490 円 DVD 複製　200 部（ジャケット、箱含む）　35,400 円
K　消耗品費	12,000	16,121	プリンターインク代　1,425 ＋4,732+5,108+3,150=14,415 円 DVD=R　メディア　1,706 円
L　賃借料			
M　一般管理費	85,000	54,697	上記合計の 4.3%
N　支出合計額（F から M まで）	1,310,000	1,310,000	

協働事業評価書

事業名	防災への動画活用
団体名	特定非営利活動法人湘南ふじさわシニアネット
担当課名	市民安全部防災対策課

目標の設定

事業実施前に、事業の実施により達成する目標や、受益者評価の目標を設定してください

成果目標

各項目については、実施団体と担当課が協議の上で決定してください。

目標とする成果（何がどう変化することを目指すのかを記入してください。）
防災資機材の使用方法を動画で作成し、自主防災組織、防災リーダー、自治会などを通じて、市民に啓発する。 これにより、市民の「自助」の防災意識を一層高める

活動指標（サービスやイベントなどの実施内容）	対象者等	目標値	結果
防災資機材の動画作成 インターネットでの広報 DVD作成	市民	8本 構築 150枚	8本作成　達成 達成 200枚　達成

受益者評価の目標値

評価手法	対象者等	目標値
アンケート調査	防災リーダー	動画活用した　70%以上 （防災リーダー養成研修会のアンケートで、81%の方が動画を活用したいと回答）
		（市民アンケートの回答者の97%が、防災動画は災害時の知識として役立てられそうだと感じると回答）

受益者評価ができない場合、その理由を記入してください。

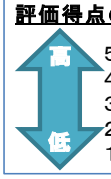
中間評価

中間評価

各項目の評価

下記の評価項目について、1点から5点の評価または、設問に沿ったコメントを記入してください。

評価得点の目安



5点・・事業実施前の想定をはるかに良い方向に上回った
4点・・事業実施前の想定をやや良い方向に上回った
3点・・事業実施前に想定した範囲の評価であった
2点・・事業実施前の想定より評価がやや低いと感じられた
1点・・事業実施前の想定より評価がはるかに低いと感じられた

協働プロセス

相乗効果	評価点数・団体	評価点数・行政
1. それぞれが単独で行うよりも大きな効果を得ることができていますか	3	3
	↑　1点から5点を記入	↑　1点から5点を記入

事業内容の評価

事業の進捗状況	評価点数・団体	評価点数・行政
2. 事業は計画通りに進捗しているか	2	2
	↑　1点から5点を記入	↑　1点から5点を記入
1点及び2点と評価した場合、理由を記入してください→	調整に手間取り、 予定スケジュールから遅れている	事業の企画や調整に時間を要し、 当初予定していたスケジュール通りに 進行できていないため。
	↑コメントを記入してください	↑コメントを記入してください

事業手法の妥当性	評価点数・団体	評価点数・行政
3. この事業を協働という事業手法で行うことが最善であると感じましたか	5	3
	↑　1点から5点を記入	↑　1点から5点を記入
そのように感じる理由を記入してください→	実際手掛けてみて、 この種の事業は、 市単独でも市民団体単独でも、 実施が困難であると感じた	それぞれの知見、技術や経験を活かした事業であり、当初の想定範囲の評価であった。
	↑コメントを記入してください	↑コメントを記入してください

事業手法の妥当性	評価点数・団体	評価点数・行政
4. 事業を実施する事により市民の満足度は高めることができそうであると感じますか	3	3
	↑　1点から5点を記入	↑　1点から5点を記入
そのように感じる理由を記入してください→	まだ市民に公開する段階まで 進んでいないので、 評価できない	動画の作成により、資機材の取り扱いをいつでも確認できることを可能とし、市民にとって継続的な技術の習得には効果的と考える。
	↑コメントを記入してください	↑コメントを記入してください

期末評価

期末評価について

各項目の評価

下記の評価項目について、1点から5点の評価または、設問に沿ったコメントを記入してください。

評価得点の目安

高
低

5点・・事業実施前の想定をはるかに良い方向に上回った
4点・・事業実施前の想定をやや良い方向に上回った
3点・・事業実施前に想定した範囲の評価であった
2点・・事業実施前の想定より評価がやや低いと感じられた
1点・・事業実施前の想定より評価がはるかに低いと感じられた

協働プロセス

目的共有	評価点数・団体	評価点数・行政
1. 事業内容は共有できましたか	5	5
	↑ 1点から5点を記入	↑ 1点から5点を記入

役割分担	評価点数・団体	評価点数・行政
2. 協定書で定めた役割分担は適正でしたか	4	3
	↑ 1点から5点を記入	↑ 1点から5点を記入

対等性と相互理解	評価点数・団体	評価点数・行政
3. 対等な関係で意見交換や事業を推進することができましたか	5	3
	↑ 1点から5点を記入	↑ 1点から5点を記入

自主性と自立性	評価点数・団体	評価点数・行政
4. 互いの立場、役割を理解して事業を進めることができましたか	5	3
	↑ 1点から5点を記入	↑ 1点から5点を記入

透明性と公開性	評価点数・団体	評価点数・行政
5. 事業に関する情報を広く公開し、事業の状況を周知することができましたか	3	3
	↑ 1点から5点を記入	↑ 1点から5点を記入

相乗効果	評価点数・団体	評価点数・行政
6. それぞれが単独で行うよりも大きな効果を得ることができましたか	5	3
	↑ 1点から5点を記入	↑ 1点から5点を記入

協働プロセスの総合評価	評価点数・団体	評価点数・行政
7. 1～6の視点で、協働プロセスを総合的に評価してください	5	3
	↑ 1点から5点を記入	↑ 1点から5点を記入

最終評価	B
	左のA～Eを記入

A:十分達成できた　B:ほぼ達成できた　C:課題も残ったが概ね達成できた　D:あまり達成できなかった　E:ほとんど達成できなかった

最終評価の理由や根拠などを記入してください	事業の実施にあたっては、事業の進め方や動画の内容などの検討に期間を要したため、スケジュールに遅れが生じたが、双方の役割や進め方を都度協議し、その後の事業実施にあたったことで市民にとって有用な動画を作成することができた。しかし、広報などの役割分担について、協働という手法をさらに活かすことができるよう検討していきたい。

事業内容の評価

事業目的目標達成度	評価点数・団体	評価点数・行政
1. 事業計画に記載した事業目的は達成できましたか	5 ↑　1点から5点を記入	3 ↑　1点から5点を記入
2. 評価書で設定した成果目標は達成できましたか	4 ↑　1点から5点を記入	3 ↑　1点から5点を記入

事業スケジュール	評価点数・団体	評価点数・行政
3. 事業計画書のスケジュールどおりに実施できましたか	2 ↑　1点から5点を記入	2 ↑　1点から5点を記入

事業手法の妥当性	評価点数・団体	評価点数・行政
4. この事業を協働という事業手法で行うことが最善であると感じましたか	5 ↑　1点から5点を記入	3 ↑　1点から5点を記入
そのように感じる理由を記入してください→	市単独でも、市民団体単独でもこのような動画を作成することは出来ないと感じた。 ↑コメントを記入してください	市民のやる気と防災意識の普及啓発において効果的な手法であると考えられるが、動画制作に加え、事業の広報においてもこの手法を活かしていきたいと考えている。 ↑コメントを記入してください

市民（受益者）満足度	評価点数・団体	評価点数・行政
5. サービスの受け手となる市民のニーズや意見、その他情報収集に努めましたか	3 ↑　1点から5点を記入	4 ↑　1点から5点を記入
6. 事業を実施した事により市民満足度は高まったと感じますか	5 ↑　1点から5点を記入	4 ↑　1点から5点を記入
そのように感じる理由を記入してください→	市民へのアンケート結果から ↑コメントを記入してください	市民及び防災リーダーへのアンケート調査において活用できるとの回答を多くいただいている。 ↑コメントを記入してください

事業内容の総合評価	評価点数・団体	評価点数・行政
7. 1～6の視点で、事業内容を総合的に評価してください	5 ↑　1点から5点を記入	4 ↑　1点から5点を記入

予算の妥当性	評価点数・団体	評価点数・行政
8. 事業を進める上、当初設定した予算は、想定よりも有効に活用されたと感じますか	4 ↑　1点から5点を記入	3 ↑　1点から5点を記入

最終評価	B 左のA～Eを記入
最終評価の理由を記入してください	市単独では多くの方々に資機材の取り扱い方法をお伝えする機会が十分でない状況であったが、本事業の実施によりいつでも資機材の取り扱い方法を確認できる環境を整備することができた。また、スケジュールの遅れに伴い、広報にかかる期間が短くなってしまったものの、当初予定していた広報手段をすべて実施しており、動画へのアクセスも順調に増加していることから、事業としてはほぼ達成できたと考える。

A:十分達成できた　B:ほぼ達成できた　C:課題も残ったが概ね達成できた　D:あまり達成できなかった　E:ほとんど達成できなかった

市民提案型

５　中学生への学習支援事業―わかる喜びを、生きる力に―

（特定非営利活動法人こども応援丸・学校教育指導課）

協働推進事業実績報告書

３０年3月 ３０日

(あて先)茅ヶ崎市長

所在地

提出者　名称　　特定非営利活動法人こども応援丸
代表者氏名　津田　眞利

平成 29 年度(行政提案型・市民提案型)協働推進事業の実績について、次のとおり報告します。

事業の名称	中学生への学習支援事業―わかる喜びを、生きる力に―
担当課名	学校教育指導課
事業の内容等	別紙「協働推進事業実施結果」のとおり

※この実績報告書には、収支決算書及び最終評価(当事者評価後の協議を含む)終了後の協働事業評価書を添付してください。

※実績報告書の内容については、協働事業評価書の内容とともに、事業実施の翌年度 5 月から 6 月に開催する協働推進事業報告会で発表していただくことになります。

協働推進事業実施結果

事業の実施内容 ※できるだけ具体的に記入してください。	西浜中学校及び南郷公民館での学習支援事業 4 月～10 月まで定例学習会を月 2 回実施。 各定期テスト前には、直前の土日に 2 回実施。 夏休み前半に 3 回、後半に 2 回実施 11 月より、定例学習会を毎週火曜日に実施 中島中学校での学習支援事業 夏休みから開始 科目ごと、学年ごとに実施することとなったため 16 回に分けて学習ボランティアを派遣 11 月より、3 年生を対象とした学習会を実施科目ごとに週 2～3 回実施 ボランティア養成講座 5 月と 6 月に第 1 回学習ボランティア養成講座を開催、計 10 名が参加。①こども応援丸の目的②学習支援が必要とされる社会的背景③茅ヶ崎市教育委員会からの期待、などについて講義。その後はまとまった人数で実施する事が困難となり個別に実施。
事業の参加者等	西浜中学校生徒、中島中学校生徒、学習ボランティア
実施日程等	西浜中学習会 4/11, 13, 20, 27　5/15, 18, 23　6/5, 15, 17, 18, 27 7/3, 11, 13　8/1, 3, 4, 22, 24　9/2, 3, 21, 26 10/19, 24　11/7, 14, 21, 28　12/2, 3, 5, 12, 19, 26 1/10, 15, 16, 23, 30　2/5, 6, 10, 11, 20, 27　3/5, 6, 13, 20, 27 中島中学習会 7/24, 25, 26, 27, 28, 31　8/2, 3, 8 11/14, 15, 21, 24, 28, 29　12/5, 6, 8, 12, 13, 19, 20 1/10, 12, 17, 19, 26, 31　2/2, 7, 9 学習ボランティア養成講座 5/15, 6/5, 12/12, 12/19, 1/30, 2/20, 2/24, 3/11

収支決算書

協働推進事業費

（総事業費）　1,096,000 円

（収入）　（円単位）

区分	当初予算額	決算額	内訳(内容、数量、単価など)
A 委託料または負担金の額	1,096,000 円	1,096,000 円	市の支出金
B			
C			
D			
E 収入合計額 (A＋B＋C＋D)	1,096,000 円	1,096,000 円	返納金あり

※収入欄には、市の支出金のほか、参加費、寄附金等の収入を記入して下さい。

（支出）　（円単位）

区分	当初予算額	決算額	内訳(内容、数量、単価など)
F 人件費	586,000 円	485,000 円	単価 1,000 円／時間 学習会運営、学習ボランティア養成講座準備および運営、事業運営会議、会計事務、データ管理、担当課・各学校等との打ち合わせ
G 謝金			
H 旅費交通費	198,000 円	123,337 円	学習ボランティアへの交通費 公共交通機関実費、車・バイク 1 回 500 円
I 通信運搬費	7,000 円	0 円	
J 印刷製本費	5,000 円	5,230 円	学習ボランティア募集チラシ印刷 2,500 枚
K 消耗品費	186,000 円	100,095 円	プリンター、トナーカートリッジ、コピー用紙、学習用教材、文房具など

L 保険料	15,000 円	17,056 円	NPO 活動保険
M 一般管理費	99,000 円	73,071 円	Ｆ～Ｌの合計 730,718 円の 10%以内
O　返納金		292,211 円	1,096,000 円－803,789 円
N 支出合計額 （F から O まで）	1,096,000 円	1,096,000 円	

協働事業評価書

事業名	市民提案型協働推進事業（中学生への学習支援）
団体名	特定非営利活動法人こども応援丸
担当課名	学校教育指導課

目標の設定

事業実施前に、事業の実施により達成する目標や、受益者評価の目標を設定してください。

成果目標

各項目については、実施団体と担当課が協議の上で決定してください。

目標とする成果（何がどう変化することを目指すのかを記入してください。）
・現行対象中学校ともう1校の計2校で、各学校が支援を必要としていると判断された生徒を対象に学習支援を実施する。 ・支援対象生徒の学習会参加人数の半数以上の学習ボランティアを毎回確保する。 ・学習支援ボランティアの方たちに当事業への理解を深めてもらうとともに、学習支援に対する姿勢、考え方を共有するため、学習支援ボランティア養成講座を実施する。

活動指標（サービスやイベントなどの実施内容）	対象者等	目標値	結果
・学習会	市内2校の中学生	毎月2回以上実施（新規実施校は夏休み以降）年4回実施	・学習会は、概ね週に1回（月に4回）実施することができた。また、学習支援ボランティア養成講座は8回実施することができた。
・学習支援ボランティア養成講座	学習支援ボランティア		

受益者評価の目標値

評価手法	対象者等	目標値
受益者アンケートの実施（学習会ごと）	学習支援を受けた中学生	学習会に参加した生徒の6割以上が肯定的に捉えている。

受益者評価ができない場合、その理由を記入してください。

中間評価

中間評価

各項目の評価

下記の評価項目について、1点から5点の評価または、設問に沿ったコメントを記入してください。

評価得点の目安

5点・・事業実施前の想定をはるかに良い方向に上回った
4点・・事業実施前の想定をやや良い方向に上回った
3点・・事業実施前に想定した範囲の評価であった
2点・・事業実施前の想定より評価がやや低いと感じられた
1点・・事業実施前の想定より評価がはるかに低いと感じられた

協働プロセス

相乗効果	評価点数・団体	評価点数・行政
1. それぞれが単独で行うよりも大きな効果を得ることができていますか	5	4
	↑　1点から5点を記入	↑　1点から5点を記入

事業内容の評価

事業の進捗状況	評価点数・団体	評価点数・行政
2. 事業は計画通りに進捗していますか	3	3
	↑　1点から5点を記入	↑　1点から5点を記入
1点及び2点と評価した場合、理由を記入してください→		
	↑コメントを記入してください	↑コメントを記入してください

事業手法の妥当性	評価点数・団体	評価点数・行政
3. この事業を協働という事業手法で行うことが最善であると感じましたか	5	5
	↑　1点から5点を記入	↑　1点から5点を記入
そのように感じる理由を記入してください→	新たな学校で学習支援事業がスタートできたのは、学校教育指導課の力に依るところが大きく、単独では学校の協力は得られなかっただろうと思われるため。	子どもたち一人一人のニーズに応じた学習支援を行うことができた。また、自校の教職員以外の大人との関わりは、子どもの社会性を育む上でも大変有意義なものであると感じられた。
	↑コメントを記入してください	↑コメントを記入してください

事業手法の妥当性	評価点数・団体	評価点数・行政
4. 事業を実施する事により市民の満足度を高めることができそうであると感じますか	5	5
	↑　1点から5点を記入	↑　1点から5点を記入
そのように感じる理由を記入してください→	学習支援に参加している子どもたちへのアンケート結果から高い満足度を得られており、また学校からも、授業中顔が上がっていなかった生徒の顔が上がってきたとの報告を受けているため。	参加した子どもたちのアンケートから、概ね満足度は高かったと判断することができた。また、参加したことにより、学校の授業での学習意欲の向上につながったと思われる生徒が見られたことは、高い評価に値する。
	↑コメントを記入してください	↑コメントを記入してください

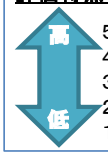
期末評価

期末評価について

各項目の評価

下記の評価項目について、1点から5点の評価または、設問に沿ったコメントを記入してください。

評価得点の目安



5点・・事業実施前の想定をはるかに良い方向に上回った
4点・・事業実施前の想定をやや良い方向に上回った
3点・・事業実施前に想定した範囲の評価であった
2点・・事業実施前の想定より評価がやや低いと感じられた
1点・・事業実施前の想定より評価がはるかに低いと感じられた

協働プロセス

目的共有	評価点数・団体	評価点数・行政
1. 事業内容は共有できましたか	4	4
	↑ 1点から5点を記入	↑ 1点から5点を記入

役割分担	評価点数・団体	評価点数・行政
2. 協定書で定めた役割分担は適正でしたか	5	5
	↑ 1点から5点を記入	↑ 1点から5点を記入

対等性と相互理解	評価点数・団体	評価点数・行政
3. 対等な関係で意見交換や事業を推進することができましたか	5	5
	↑ 1点から5点を記入	↑ 1点から5点を記入

自主性と自立性	評価点数・団体	評価点数・行政
4. 互いの立場、役割を理解して事業を進めることができましたか	5	5
	↑ 1点から5点を記入	↑ 1点から5点を記入

透明性と公開性	評価点数・団体	評価点数・行政
5. 事業に関する情報を広く公開し、事業の状況を周知することができましたか	5	5
	↑ 1点から5点を記入	↑ 1点から5点を記入

相乗効果	評価点数・団体	評価点数・行政
6. それぞれが単独で行うよりも大きな効果を得ることができましたか	5	5
	↑ 1点から5点を記入	↑ 1点から5点を記入

協働プロセスの総合評価	評価点数・団体	評価点数・行政
7. 1～6の視点で、協働プロセスを総合的に評価してください	5	5
	↑ 1点から5点を記入	↑ 1点から5点を記入

最終評価	A 左のA～Eを記入
最終評価の理由や根拠などを記入してください	学校教育指導課をはじめ、当該学校との協力の下、新たな学校で、学校支援活動を広げることができました。また、支援活動では、生徒一人一人のニーズに応じた学習支援を行うことができました。取組を通して、生徒たちに変化が見られただけでなく、「学習に苦戦していた生徒が前向きに取り組むようになった。」、「仲間づくり等にも大きな影響をもたらした。」など、学習以外の面でも良い影響を与えた様子が、当該学校の管理職や担当教諭から確認することができました。

A:十分達成できた　B:ほぼ達成できた　C:課題も残ったが概ね達成できた　D:あまり達成できなかった　E:ほとんど達成できなかった

事業内容の評価

事業目的目標達成度	評価点数・団体	評価点数・行政
1. 事業計画に記載した事業目的は達成できましたか	4	4
	↑　1点から5点を記入	↑　1点から5点を記入
2. 評価書で設定した成果目標は達成できましたか	4	4
	↑　1点から5点を記入	↑　1点から5点を記入

事業スケジュール	評価点数・団体	評価点数・行政
3. 事業計画書のスケジュールどおりに実施できましたか	3	3
	↑　1点から5点を記入	↑　1点から5点を記入

事業手法の妥当性	評価点数・団体	評価点数・行政
4. この事業を協働という事業手法で行うことが最善であると感じましたか	5	5
	↑　1点から5点を記入	↑　1点から5点を記入
そのように感じる理由を記入してください→	対象となる生徒に対してのニーズ等、学校と情報を共有することで、より効果が得られると考えているため。	「社会に開かれた教育課程」の理念のもと、家庭や地域の方々とともに子どもをそだてていくという視点に立ち、地域学校協働活動を推進しているため。
		↑コメントを記入してください

市民（受益者）満足度	評価点数・団体	評価点数・行政
5. サービスの受け手となる市民のニーズや意見、その他情報収集に努めましたか	4	4
	↑　1点から5点を記入	↑　1点から5点を記入
6. 事業を実施した事により市民満足度は高まったと感じますか	5	5
	↑　1点から5点を記入	↑　1点から5点を記入
そのように感じる理由を記入してください→	対象となる生徒の感想等からそのように感じている。	学校で行ったアンケート結果から高い満足度があったことが確認できたため。
	↑コメントを記入してください	↑コメントを記入してください

事業内容の総合評価	評価点数・団体	評価点数・行政
7. 1～6の視点で、事業内容を総合的に評価してください	4	4
	↑　1点から5点を記入	↑　1点から5点を記入

予算の妥当性	評価点数・団体	評価点数・行政
8. 事業を進める上、当初設定した予算は、想定よりも有効に活用されたと感じますか	5	5
	↑　1点から5点を記入	↑　1点から5点を記入

最終評価	A 左のA～Eを記入
最終評価の理由を記入してください	それぞれの経済的状況に関わらず、全ての子どものニーズに応じた学習機会を整えていくことは、大変重要な視点です。新しい教育課程が目指す理念を学校や教育関係者のみならず、保護者や地域の方々と共有し、社会全体で協働的に子どもの成長に関わっていく必要があります。昨年度、参加した生徒たちのアンケートからも、高い満足度を示す内容が多く報告されました。また、この取組に参加した生徒の学校での授業に対する学習意欲の向上にもつながったと思われることから、十分達成できたと判断することができます。

A:十分達成できた　B:ほぼ達成できた　C:課題も残ったが概ね達成できた　D:あまり達成できなかった　E:ほとんど達成できなかった

６　海岸利用におけるマナー啓発事業

行政提案型

（サーフ９０茅ヶ崎ライフセービングクラブ・環境保全課・農業水産課・公園緑地課）

協働推進事業実績報告書

平成３０年　４月　１６日

（あて先）茅ヶ崎市長

所在地

提出者　名称　サーフ９０茅ヶ崎
ライフセービングクラブ
代表者氏名　小川　惠一郎　印

平成２９年度（行政提案型・市民提案型）協働推進事業の実績について、次のとおり報告します。

事業の名称	海岸利用におけるマナー啓発事業
担当課名	環境部環境保全課、経済部農業水産課、建設部公園緑地課
事業の内容等	別紙「協働推進事業実施結果」のとおり

※この実績報告書には、収支決算書及び最終評価（当事者評価後の協議を含む）終了後の協働事業評価書を添付してください。

※実績報告書の内容については、協働事業評価書の内容とともに、事業実施の翌年度５月から６月に開催する協働推進事業報告会で発表していただくことになります。

協働推進事業実施結果

事業の実施内容 ※できるだけ具体的に記入してください。	１、海岸利用におけるマナー啓発活動 海岸利用者に対して、バーベキューで発生するごみの持ち帰り等の海岸のマナーを周知するために、チラシの配布や呼びかけ等を休日の午前に１回、午後に１回行った。また、バーベキューが多く行われるイベントデッキ付近では、のぼり旗を設置し周知を図った。 その他にも市が主導している海岸パトロール等の事業にも協力し、マナー啓発活動を行った。 ２、海岸のパトロール及びごみ投棄状況のパトロール 海岸でバーベキュー等に伴うごみが投棄されていないか、パトロールを実施し、必要に応じ投棄されたごみを収集した。悪質なごみの投棄については海岸を所管している神奈川県や警察、茅ヶ崎市に相談し、対応したケースもあった。 また、イベントデッキ上でバーベキュー等の火を扱う行為や使用した炭を砂に埋める行為等が行われていないかパトロールを実施し、必要に応じ注意喚起を行った。
事業の参加者等	公益財団法人かながわ海岸美化財団
実施日程等	マナー啓発活動は、平成29年4月から10月までの祝日を含まない休日に実施した。ただし海岸利用者が増える5月の祝日（5/3、5/4、5/5）はマナー啓発活動を追加で行い、計65日実施した。 海岸パトロールは、平成29年4月から平成30年3月までの祝日を含まない休日に実施した。

収 支 決 算 書

協働推進事業費
（総事業費）　427,000 円

（収　入）　（円単位）

区　分	当初予算額	決算額	内訳（内容、数量、単価など）
A　委託料または負担金の額	427,000 円	427,000 円	市の支出金
B			
C			
D			
E　収入合計額（A＋B＋C＋D）	427,000 円	427,000 円	

※収入欄には、市の支出金のほか、参加費、寄附金等の収入を記入して下さい。

（支　出）　（円単位）

区　分	当初予算額	決算額	内訳（内容、数量、単価など）
F　人件費	184,000 円	183,300 円	940 円×0.5h×1 回×65 日×2 人=　61,100 円 940 円×1.0h×1 回×65 日×2 人＝122,200 円
G　謝金			
H　旅費交通費			
I　通信運搬費			
J　印刷製本費	27,000 円	58,000 円	ポスター印刷　50 円×400 枚=　20,000 円 写真印刷　50 円×360 枚=　18,000 円 提案書印刷　100 円×200 枚＝　20,000 円
K　消耗品費	178,000 円	129,527 円	リヤカー　62,214 円 一輪車　11,272 円 清掃道具　42,831 円 電子メガホン　7,532 円 燃料　4,836 円 報告写真用 USB　842 円
L　保険料	0 円	18,500 円	ボランティア保険代　18,500 円
M　一般管理費	38,000 円	37,673 円	直接事業費の 10%以内
N　支出合計額（F から M まで）	427,000 円	427,000 円	

協働事業評価書

事業名	海岸利用におけるマナー啓発事業
団体名	サーフ90茅ヶ崎ライフセービングクラブ
担当課名	環境保全課・農業水産課・公園緑地課

目標の設定

事業実施前に、事業の実施により達成する目標や、受益者評価の目標を設定してください

成果目標

各項目については、実施団体と担当課が協議の上で決定してください。

目標とする成果（何がどう変化することを目指すのかを記入してください。）			
海岸利用者に対し、チラシ配布や呼びかけ等による周知啓発を行い、 海岸利用マナーの向上並びに海岸美化の推進を目指す。			
活動指標（サービスやイベントなどの実施内容）	**対象者等**	**目標値**	**結果**
海岸パトロール及びごみ投棄状況 モニタリングの実施日数	海岸利用者	65日	65日

受益者評価の目標値

評価手法	対象者等	目標値

受益者評価ができない場合、その理由を記入してください。
マナーの向上に関して数値化することが困難であり、苦情の件数が減ることが改善と一概に言えないため。 数値として評価することが困難なため、アンケートを実施し、受益者の認識は探ろうと考えている。

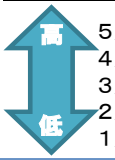
中間評価

中間評価

各項目の評価

下記の評価項目について、1点から5点の評価または、設問に沿ったコメントを記入してください。

評価得点の目安



5点・・事業実施前の想定をはるかに良い方向に上回った
4点・・事業実施前の想定をやや良い方向に上回った
3点・・事業実施前に想定した範囲の評価であった
2点・・事業実施前の想定より評価がやや低いと感じられた
1点・・事業実施前の想定より評価がはるかに低いと感じられた

協働プロセス

相乗効果	評価点数・団体	評価点数・行政
1. それぞれが単独で行うよりも大きな効果を得ることができていますか	5	5
	↑ 1点から5点を記入	↑ 1点から5点を記入

事業内容の評価

事業の進捗状況	評価点数・団体	評価点数・行政
1. 事業は計画通りに進捗しているか	5	5
	↑ 1点から5点を記入	↑ 1点から5点を記入
1点及び2点と評価した場合、理由を記入してください→		
	↑コメントを記入してください	↑コメントを記入してください

事業手法の妥当性	評価点数・団体	評価点数・行政
3. この事業を協働という事業手法で行うことが最善であると感じましたか	5	4
	↑ 1点から5点を記入	↑ 1点から5点を記入
そのように感じる理由を記入してください→	行政各課、民間団体が連携等をしっかりしていること。	各自の役割で事業実施できており、最善な手法と感じているが、連絡体制等が整備されていないため、改善の余地がある。
	↑コメントを記入してください	↑コメントを記入してください

事業手法の妥当性	評価点数・団体	評価点数・行政
4. 事業を実施する事により市民の満足度は高めることができそうであると感じますか	4	4
	↑ 1点から5点を記入	↑ 1点から5点を記入
そのように感じる理由を記入してください→	市民から直接満足度を伺う機会は少ないが、我々が依頼している事項をしっかりと履行してくれるため。	バーベキューごみ関連の苦情が少なく、ごみが放置されていたとしても、連携して迅速に対応できているため、満足度は高まると感じている。
	↑コメントを記入してください	↑コメントを記入してください

期末評価

期末評価について

各項目の評価

下記の評価項目について、1点から5点の評価または、設問に沿ったコメントを記入してください。

評価得点の目安

高
低

5点・・事業実施前の想定をはるかに良い方向に上回った
4点・・事業実施前の想定をやや良い方向に上回った
3点・・事業実施前に想定した範囲の評価であった
2点・・事業実施前の想定より評価がやや低いと感じられた
1点・・事業実施前の想定より評価がはるかに低いと感じられた

協働プロセス

目的共有	評価点数・団体	評価点数・行政
1. 事業内容は共有できましたか	5	4
	↑ 1点から5点を記入	↑ 1点から5点を記入

役割分担	評価点数・団体	評価点数・行政
2. 協定書で定めた役割分担は適正でしたか	5	4
	↑ 1点から5点を記入	↑ 1点から5点を記入

対等性と相互理解	評価点数・団体	評価点数・行政
3. 対等な関係で意見交換や事業を推進することができましたか	5	4
	↑ 1点から5点を記入	↑ 1点から5点を記入

自主性と自立性	評価点数・団体	評価点数・行政
4. 互いの立場、役割を理解して事業を進めることができましたか	4	4
	↑ 1点から5点を記入	↑ 1点から5点を記入

透明性と公開性	評価点数・団体	評価点数・行政
5. 事業に関する情報を広く公開し、事業の状況を周知することができましたか	4	4
	↑ 1点から5点を記入	↑ 1点から5点を記入

相乗効果	評価点数・団体	評価点数・行政
6. それぞれが単独で行うよりも大きな効果を得ることができましたか	5	5
	↑ 1点から5点を記入	↑ 1点から5点を記入

協働プロセスの総合評価	評価点数・団体	評価点数・行政
7. 1～6の視点で、協働プロセスを総合的に評価してください	5	4
	↑ 1点から5点を記入	↑ 1点から5点を記入

最終評価	B 左のA～Eを記入
最終評価の理由や根拠などを記入してください	全ての項目で協働事業の手法を達成できたと評価できる。協定団体であるサーフ90からきめ細かに海岸の情報をいただき、逆に行政で把握している情報を伝え、支障となっている事案の解決等に役立てた。 サーフ90と行政で点数に差異があるのは、行政からの積極的な協力が不足していた部分があり、市のホームページを通じて、もっと広く当該活動を広報し、市民の理解を深めるべきだったと思われるため、評価点は協定団体よりも低くしている。

A:十分達成できた　B:ほぼ達成できた　C:課題も残ったが概ね達成できた　D:あまり達成できなかった　E:ほとんど達成できなかった

事業内容の評価

事業目的目標達成度	評価点数・団体	評価点数・行政
1. 事業計画に記載した事業目的は達成できましたか	4	4
	↑ 1点から5点を記入	↑ 1点から5点を記入
2. 評価書で設定した成果目標は達成できましたか	5	4
	↑ 1点から5点を記入	↑ 1点から5点を記入

事業スケジュール	評価点数・団体	評価点数・行政
3. 事業計画書のスケジュールどおりに実施できましたか	4	4
	↑ 1点から5点を記入	↑ 1点から5点を記入

事業手法の妥当性	評価点数・団体	評価点数・行政
4. この事業を協働という事業手法で行うことが最善であると感じましたか	5	5
	↑ 1点から5点を記入	↑ 1点から5点を記入
そのように感じる理由を記入してください→	協働という手法を用いることで、関係団体との連携が取りやすく、根拠を持ちながら啓発活動を実施することができた。	現場に常駐している民間団体と協働事業を実施することで、現場に即した施策を実行することができたため。
	↑コメントを記入してください	↑コメントを記入してください

市民（受益者）満足度	評価点数・団体	評価点数・行政
5. サービスの受け手となる市民のニーズや意見、その他情報収集に努めましたか	4	4
	↑ 1点から5点を記入	↑ 1点から5点を記入
6. 事業を実施した事により市民満足度は高まったと感じますか	5	4
	↑ 1点から5点を記入	↑ 1点から5点を記入
そのように感じる理由を記入してください→	マナーが自然と浸透し始め、バーベキューごみが散乱する事象が減ったため。	ニーズを把握するためにアンケートを実施したが、回答者数が少なかったため、正確に把握することができなかったため。
	↑コメントを記入してください	↑コメントを記入してください

事業内容の総合評価	評価点数・団体	評価点数・行政
7. 1～6の視点で、事業内容を総合的に評価してください	4	4
	↑ 1点から5点を記入	↑ 1点から5点を記入

予算の妥当性	評価点数・団体	評価点数・行政
8. 事業を進める上、当初設定した予算は、想定よりも有効に活用されたと感じますか	4	4
	↑ 1点から5点を記入	↑ 1点から5点を記入

最終評価	B 左のA～Eを記入

A:十分達成できた　B:ほぼ達成できた　C:課題も残ったが概ね達成できた　D:あまり達成できなかった　E:ほとんど達成できなかった

最終評価の理由を記入してください	バーベキューごみの散乱が減り、マナーが浸透し始めたことが伺えるため、目標を達成していたと評価できる。しかし、依然としてマナーを理解せずにごみを捨てていってしまう方や、新たな問題として炭を砂の中に埋めて捨てていってしまう方もおり、解決すべき課題が残ることからBという評価をした。また、活動記録をホームページ上に載せるなど、体外的な広報をし、さらに啓発を推進していきたいということ、海岸利用者のニーズをさらに理解する手法の検討などを進めていきたいと考えている。

行政提案型

７　柳島キャンプ場協働運営事業

（ＮＰＯ法人茅ヶ崎つなぐ海と森・公園緑地課）

協働推進事業実績報告書

平成30年4月23日

（あて先）茅ヶ崎市長

所在地
提出者　NPO法人茅ヶ崎つなぐ海と森
代表者氏名　大芝　秀樹

平成29年度（行政提案型）協働推進事業の実績について、次のとおり報告します。

事業の名称	柳島キャンプ場協働運営事業
担当課名	公園緑地課
事業の内容等	別紙「協働推進事業実施結果」のとおり

※この実績報告書には、収支決算書及び最終評価（当事者評価後の協議を含む）終了後の協働事業評価書を添付してください。

※実績報告書の内容については、協働事業評価書の内容とともに、事業実施の翌年度５月から６月に開催する協働推進事業報告会で発表していただくことになります。

協働推進事業実施結果

■施設利用状況（目標値　▷平日・冬期 稼働率H27年度比 10%アップ）

利用状況		全体			平日		
		施稼働率	利用者数	利用組数	施稼働率	利用者数	利用組数
協働２年目	H29年度	63.4%	26,142	3,441	41.4%	11,311	1,426
協働１年目	H28年度	51.9%	21,626	3,315	33.6%	8,682	1,363
協働前	H27年度	46.6%	20,322	2,936	31.3%	8,444	1,214
増減	対H27年度比	+16.8%	+5,820	+505	+10.1%	+2,867	+212
	対H28年度比	+11.5%	+4,516	+126	+7.8%	+2,629	+63
冬期利用状況（12-2月）		全体			平日		
協働２年目	H29年度	34.7%	3,427	449	17.2%	810	109
協働１年目	H28年度	25.1%	2,574	420	15.8%	846	122
協働前	H27年度	13.1%	1,491	205	7.0%	403	50
増減	対H27年度比	+21.6%	+1,936	+244	+10.2%	+407	+869
	対H28年度比	+9.6%	+853	+29	+1.4%	-36	-13

利用料収入	H29年度	23,283,300円
	H28年度	19,058,000円
	H27年度	18,474,350円
増減 対H28年度比		+4,225,300円
増減 対H27年度比		+4,808,950円

■イベント実施状況

（目標値▷ 4-6、9-11月＝平日イベント4回/月、12-3月＝平日イベント8回、冬期イベント8回）

月別イベント実施回数（内平日実施回数）											
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
9 (7)	11 (9)	10 (9)	9 (7)	12 (9)	10 (8)	16 (10)	12 (9)	13 (7)	16 (9)	9 (5)	8 (6)

	29年度	28年度
年間実施回数	135回	93回
総参加者数	2,260人	1,139人

イベント内容の詳細は次ページ「月次報告書」参照

■その他の取組み

目標値	希少・危険動植物の知識の啓発	イベントや掲示を通じて実施
	自然活動を通じた環境保護・健康増進	こども対象イベントや食育イベントを実施
	子育てと両立した雇用創出	スタッフの親子出勤を実施（91 日）
その他	新パンフレット作成、入口・正門前新規看板設置、柳島キャンプ場 LINE@開始、スタッフの野外救急法国際資格取得、撮影取材（育児情報誌ワイヤーママ、日本テレビ「ZIP!」）、FM 横浜「湘南 BY THE SEA」、雑誌「ビーパル」、WEB マガジン「パドラー」、タウンニュース他キャンプ場ステッカー・軍手他グッズ販売、新たに冬用マット等レンタル品の充実、管理棟 2 階自然環境展示室でのワークショップ「やなぎしまの森」実施、他団体との協働（WAWA シネマ、まちづくりスポット茅ヶ崎、Chigasaki kodomo cinema 他）アウトドア体験、周辺マップ配布、次期指定管理者への引継ぎ等	

■協力団体・企業等について

昨年度同様、多くの団体様等にご協力いただきイベントの成功や稼働率向上につなげることができました。メディア企業様においては、多くの記事等を掲載いただき来場者の間口を広げていただきました。また個人のボランティアのお力で多くのイベントを開催することができました。

協力団体等一覧（一部抜粋・敬称略）

団　体	マム 04、Yogi in Chigasaki、海藻おしば協会、青空空間、精進料理教室 iori、まちづくりスポット茅ヶ崎、茅ヶ崎市環境事業センター、WAWA EVENTS、かながわ美化財団、茅ヶ崎市産業振興課、Chigasaki kodomo cinema その他
企　業	モンベル、キャプテンスタッグ、スノーピーク、JAF、タウンニュース、Bumting's ENGLISH SCHOOL、フジマニ、Chiers、その他
店　舗	3rd place café、あぶさんファーム、turban-shell、コトトキ農園、マテバシイプロジェクト、La nature、Cornish Pixie Pottery、Kumbura、cozy cozy、café slow、シオサン食堂、その他
個　人	管理栄養士、チャネリング、フードアーティスト、文筆家、西浜高校図書館司書、ビブリオバトル普及員、ミュージシャン、写真家、ボランティア、その他

■Ｈ29年度まとめ

スタッフのがんばりとご協力いただいた個人や企業・団体のみなさまのおかげで、今年度全ての目標値を達成することができました。また指定管理者制度導入の土台となる運営の基準を示すことができ、効果的な指定管理者制度の実施に貢献できたと考えています。

より魅力的なキャンプ場にするという事業目的に向け２年間走りきることができました。協働事業に関係いただいた皆様に心より感謝申し上げます。柳島キャンプ場が将来に向け、より一層魅力的なキャンプ場になることを願っております。貴重な２年間をありがとうございました。

事業の参加者等	市内外の柳島キャンプ場利用者、市民団体、アウトドアメーカー、メディア企業、個人事業主、民間企業、地域で活躍されている方々、茅ヶ崎市担当他課等
実施日程等	平成29年4月1日から平成30年3月31日

収 支 決 算 書

協働推進事業費

（総事業費）　15,325,000 円

（収　入）　（円単位）

区　分	当初予算額	決算額	内訳（内容、数量、単価など）
A　委託料または負担金の額	15,325,000	15,325,000	市の支出金
B			
C			
D			
E　収入合計額（A＋B＋C＋D）	15,325,000	15,325,000	

※収入欄には、市の支出金のほか、参加費、寄附金等の収入を記入して下さい。

（支　出）　（円単位）

区　分	当初予算額	決算額	内訳（内容、数量、単価など）
F　人件費	12,204,000	12,391,195	職員給与（基本給 258,900 円×1 人、252,100 円×1 人） アルバイト給与（時給 970～1,000 円） ※詳細は給与明細参照
G　旅費交通費	173,000	172,900	職員通勤費（6,500 円/月×1 人、2,500 円/月×1 人） アルバイト通勤費 （上限 1 回 500 円、車 10km 以上 1 回 300 円） ※詳細は給与明細参照
H　法定福利費	1,002,000	1,083,138	社保法人負担分　（982,417 円） 雇用保険法人負担分（100,721 円）
I　福利厚生費	26,000	23,760	職員健康診断費（11,880 円×２人）
J　租税公課	683,000	71,000	法人住民税（70,000 円） 収入印紙　（ 1,000 円）

K　印刷製本費	96,000	61,830	近隣マップ、イベント用チラシ等（51,210 円） 入口看板作成（10,620 円）
L　物品費	548,000	188,267	事務用品、工具部材、清掃衛生用品他
M　手数料	39,000	60,432	給与伝送手数料（@3,240 円）、その他振込手数料等
N　保険料	158,000	136,269	施設賠償保険 1 年分
O　通信運搬費	57,000	94,112	インターネット回線使用料（@7,225）、郵送費等
P　報償費	0	12,000	ボランティア費用弁償（@1,000 円×12 人）
Q　修繕費	0	736,408	トイレ排水修理（212,760）、宿泊棟網戸（21,600）、 空調（206,048）、外壁・デッキ塗装他（296,000）
R　業務委託費	0	54,900	写真撮影、データ作成委託等
S　一般管理費	339,000	238,789	直接事業費 10%以内
T　支出合計額 （F から S まで）	15,325,000	15,325,000	

協働事業評価書

事業名	柳島キャンプ場協働運営事業
団体名	NPO法人 茅ヶ崎つなぐ海と森
担当課名	公園緑地課

目標の設定

事業実施前に、事業の実施により達成する目標や、受益者評価の目標を設定してください。

成果目標

各項目については、実施団体と担当課が協議の上で決定してください。

目標とする成果（何がどう変化することを目指すのかを記入してください。）
○キャンプ場利用率の下がる平日・冬期の稼働率向上 ○柳島キャンプ場の魅力を最大限に引出す運営に向けた環境整備

活動指標（サービスやイベントなどの実施内容）	対象者等	目標値	結果
○キャンプノウハウや希少動植物、危険動植物の啓発 ○環境保護や健康増進をアピール ○女性や子どもを対象としたキャンプ体験の拡大 ○子育てと両立した雇用の創出 ○その他利用者サービスの実施	柳島キャンプ場利用者の茅ヶ崎市民の方を主な対象とし、市外の方にも対象を広げます。	平日・冬期の稼働率前々年度比10%アップ	平日　10.2% 冬期　16.8%

受益者評価の目標値

評価手法	対象者等	目標値
協働事業前後の平日・冬期の稼働率を比較	キャンプ場利用者	平日・冬期の稼働率 前々年度比10%アップ

受益者評価ができない場合、その理由を記入してください。

中間評価

中間評価

各項目の評価

下記の評価項目について、1点から5点の評価または、設問に沿ったコメントを記入してください。

評価得点の目安

5点・・事業実施前の想定をはるかに良い方向に上回った
4点・・事業実施前の想定をやや良い方向に上回った
3点・・事業実施前に想定した範囲の評価であった
2点・・事業実施前の想定より評価がやや低いと感じられた
1点・・事業実施前の想定より評価がはるかに低いと感じられた

協働プロセス

相乗効果	評価点数・団体	評価点数・行政
1. それぞれが単独で行うよりも大きな効果を得ることができていますか	4	4
	↑ 1点から5点を記入	↑ 1点から5点を記入

事業内容の評価

事業の進捗状況	評価点数・団体	評価点数・行政
2. 事業は計画通りに進捗していますか	4	4
	↑ 1点から5点を記入	↑ 1点から5点を記入
1点及び2点と評価した場合、理由を記入してください→		
	↑コメントを記入してください	↑コメントを記入してください

事業手法の妥当性	評価点数・団体	評価点数・行政
3. この事業を協働という事業手法で行うことが最善であると感じましたか	4	4
	↑ 1点から5点を記入	↑ 1点から5点を記入
そのように感じる理由を記入してください→	効果的な指定管理者制度導入を目的に、イベント実施や他団体事業者との連携など、多様なキャンプ場の可能性を試すとともに行政業務の視点も必要であるため。	指定管理者制度を導入し、手ぶらでBBQ等、民間の発想を取り入れ、より利用者ニーズに沿ったサービスの提供をすべきと考えたため。
	↑コメントを記入してください	↑コメントを記入してください

事業手法の妥当性	評価点数・団体	評価点数・行政
4. 事業を実施する事により市民の満足度を高めることができそうであると感じますか	4	4
	↑ 1点から5点を記入	↑ 1点から5点を記入
そのように感じる理由を記入してください→	利用者のニーズをベースに柳島キャンプ場の魅力を最大限に引出す運営を目標としているため。	使用者数及び組数が毎年増え続けているため、市民の満足度は高いと考えたため。
	↑コメントを記入してください	↑コメントを記入してください

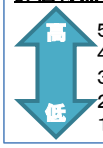
期末評価

期末評価について

各項目の評価

下記の評価項目について、1点から5点の評価または、設問に沿ったコメントを記入してください。

評価得点の目安



5点・・事業実施前の想定をはるかに良い方向に上回った
4点・・事業実施前の想定をやや良い方向に上回った
3点・・事業実施前に想定した範囲の評価であった
2点・・事業実施前の想定より評価がやや低いと感じられた
1点・・事業実施前の想定より評価がはるかに低いと感じられた

協働プロセス

目的共有	評価点数・団体	評価点数・行政
1. 事業内容は共有できましたか	4 ↑ 1点から5点を記入	4 ↑ 1点から5点を記入

役割分担	評価点数・団体	評価点数・行政
2. 協定書で定めた役割分担は適正でしたか	3 ↑ 1点から5点を記入	3 ↑ 1点から5点を記入

対等性と相互理解	評価点数・団体	評価点数・行政
3. 対等な関係で意見交換や事業を推進することができましたか	3 ↑ 1点から5点を記入	3 ↑ 1点から5点を記入

自主性と自立性	評価点数・団体	評価点数・行政
4. 互いの立場、役割を理解して事業を進めることができましたか	4 ↑ 1点から5点を記入	4 ↑ 1点から5点を記入

透明性と公開性	評価点数・団体	評価点数・行政
5. 事業に関する情報を広く公開し、事業の状況を周知することができましたか	4 ↑ 1点から5点を記入	3 ↑ 1点から5点を記入

相乗効果	評価点数・団体	評価点数・行政
6. それぞれが単独で行うよりも大きな効果を得ることができましたか	5 ↑ 1点から5点を記入	4 ↑ 1点から5点を記入

協働プロセスの総合評価	評価点数・団体	評価点数・行政
7. 1～6の視点で、協働プロセスを総合的に評価してください	4 ↑ 1点から5点を記入	4 ↑ 1点から5点を記入

最終評価	A 左のA～Eを記入
最終評価の理由や根拠などを記入してください	協働という手法により、指定管理者制度導入に向けた基準を示すことができたことから目標を十分達成できたと考えます。

A:十分達成できた　B:ほぼ達成できた　C:課題も残ったが概ね達成できた　D:あまり達成できなかった　E:ほとんど達成できなかった

事業内容の評価

事業目的目標達成度	評価点数・団体	評価点数・行政
1. 事業計画に記載した事業目的は達成できましたか	5	4
	↑ 1点から5点を記入	↑ 1点から5点を記入
2. 評価書で設定した成果目標は達成できましたか	4	4
	↑ 1点から5点を記入	↑ 1点から5点を記入

事業スケジュール	評価点数・団体	評価点数・行政
3. 事業計画書のスケジュールどおりに実施できましたか	4	4
	↑ 1点から5点を記入	↑ 1点から5点を記入

事業手法の妥当性	評価点数・団体	評価点数・行政
4. この事業を協働という事業手法で行うことが最善であると感じましたか	3	4
	↑ 1点から5点を記入	↑ 1点から5点を記入
そのように感じる理由を記入してください→	平成30年4月から指定管理制度へ移行するため。	使用者数及び使用料が想定より多いことから、提供しているサービスが市民ニーズに沿っていたと判断できるため。
	↑コメントを記入してください	↑コメントを記入してください

市民（受益者）満足度	評価点数・団体	評価点数・行政
5. サービスの受け手となる市民のニーズや意見、その他情報収集に努めましたか	4	3
	↑ 1点から5点を記入	↑ 1点から5点を記入
6. 事業を実施した事により市民満足度は高まったと感じますか	5	5
	↑ 1点から5点を記入	↑ 1点から5点を記入
そのように感じる理由を記入してください→	年間稼働率アップや収入額の増加からもキャンプ場利用者の満足度が高まったと考えます。	積極的な日々のメンテナンスや修繕を行ったことで、使用者が気持ちよく施設使用することができた。また、多くの方から協働推進事業が終わることが残念であるとの声があったため、市民満足度は高いと判断する。
	↑コメントを記入してください	↑コメントを記入してください

事業内容の総合評価	評価点数・団体	評価点数・行政
7. 1～6の視点で、事業内容を総合的に評価してください	5	5
	↑ 1点から5点を記入	↑ 1点から5点を記入

予算の妥当性	評価点数・団体	評価点数・行政
8. 事業を進める上、当初設定した予算は、想定よりも有効に活用されたと感じますか	5	5
	↑ 1点から5点を記入	↑ 1点から5点を記入

最終評価	A	A:十分達成できた　B:ほぼ達成できた　C:課題も残ったが概ね達成できた　D:あまり達成できなかった　E:ほとんど達成できなかった
	左のA～Eを記入	
最終評価の理由を記入してください	目標値としていた「平日・冬期の稼働率前々年度比10%アップ」を達成するとともに、収入額も増加できたことから、キャンプ場利用者の満足度が高めることができたと考えています。また指定管理者制度導入に向けた基準を示すこともでき、協働事業の目標を十分達成できたと考えます。	

茅ヶ崎市長

平成29年4月30日
ＮＰＯ法人 茅ヶ崎つなぐ海と森

柳島キャンプ場 協働事業 月次報告書 ｜平成29年度 4月

	年　度	全体			平日		
		施設稼働率	利用者数	利用組数	施設稼働率	利用者数	利用組数
利用状況	29年度	60.1%	1,697	238	25.9%	334	48
	28年度	36.7%	1,281	187	11.6%	223	42
	27年度	39.2%	1,477	193	18.7%	513	66

※利用者サービス向上を目的としたサイト数増による実質稼働率　全体23.2%　平日10.0%
※H27年度は平日数が1日多い

	実施回数 （内平日実施）	総参加者数	
	9回（7回）	69人	
イベント実施	実施内容等 （参加者数） 収支	1	「缶バッチを作ろう！」（8人） キャンプ場来場記念のオリジナル缶バッジの作成 実施日 4/7（金）、4/14（金）、4/21（金）、4/28（金） 参加費無料（収支なし）
		2	「ママキッズクラブ」（34人） 親子を対象とした、自然の中で遊びながらリラックスできる場の提供 実施日　4/10（月）、4/17（月）、4/27（木） 参加費収入4,500/食材費等支出2,446
		3	「やなぎしまNature Club」（17人） 小学生ファミリーを対象とした自然環境に興味をもってもらうためのワークショップ 実施日　4/22（日） 参加費収入11,900/ワークショップ費支出11,900
		4	「Glamorous Girl's CAMP」（10人） 女性のためのキャンプイベント。ワークショップ等を実施 実施日　4/23（日）～4/24（月）1泊 参加費収入77,000/食材費等支出89,224

	親子勤務日数	11日
その他 取組内容	その他	新配置図作成、椅子塗装、柳島キャンプ場LINE@スタート、自然環境保全エリア整備、 協力団体打合せ、新規看板設置（禁煙、トイレ、BBQ、リヤカー）、流しそうめん台準備、 キャンプ場新パンフレット作成、入口・正門前WELCOME看板設置、 アクティビティヨガ開催
	連絡調整会議	4月24日9：00～ キャンプ場で実施

予算 執行状況	年間予算額			15,325,000
	４月執行額			6,052
	内　　訳	物品費	6,052	事務消耗品、ウィルスソフト
	４月分人件費			918,883

目標値	稼働率アップ	平日・冬期　前々年度比10%アップ
	イベント実施	4-6月、9-11月 平日イベント5回以上/月実施、 12-3月平日イベント10回以上実施、冬期イベント10回以上/年
	そ の 他	希少動植物・危険動植物の知識の啓発、 自然活動をつうじた環境保護や健康増進のアピール、 子育てと両立した雇用創出

茅ヶ崎市長

平成29年5月30日
ＮＰＯ法人 茅ヶ崎つなぐ海と森

柳島キャンプ場 協働事業 月次報告書 ｜平成29年度 5月

	年　度	全体			平日		
		施設稼働率	利用者数	利用組数	施設稼働率	利用者数	利用組数
利用状況	29年度	84.6%	2,610	356	26.9%	662	97
	28年度	72.0%	2,486	367	33.1%	612	95
	27年度	70.4%	2,622	354	26.3%	654	81

※利用者サービス向上を目的としたサイト数増による実質稼働率　全体32.7%　平日10.4%

	実施回数 （内平日実施）	総参加者数	
イベント実施	11回（9回）	119人	
	実施内容等 （参加者数） 収支	1	「缶バッチを作ろう！」（44人） キャンプ場来場記念のオリジナル缶バッジの作成 実施日 5/5（金）、5/12（金）、5/19（金）、5/26（金） 参加費無料（収支なし）
		2	「ママキッズClub」（32人） 親子を対象とした、自然の中で遊びながらリラックスできる場の提供 実施日　5/10（水）、5/22（月）、5/31（木） 参加費収入5,600/食材費等支出5,447
		3	「やなぎしまキッチン～精進の一日～」（15人） 自然の中での料理をつうじて、旬な食材や食事の大切さを感じてもらうワークショップ 実施日　5/11（木）～5/12（金）1泊 参加費収入92,500/ワークショップ費支出92,500
		4	「やなぎしまキッチン～和食を愉しむ～」（6人） 自然の中での料理をつうじて、旬な食材や食事の大切さを感じてもらうワークショップ 実施日　5/31（水） 参加費収入12,000/ワークショップ費支出11,952
		5	「母の日イベント 間伐材でしおりを作ろう！」（12人） 来場者を対象とした母の日に合わせた間伐材を使ったワークショップ 実施日　5/14（日） 参加費収入0/ワークショップ費支出11,940
		6	「Glamorous CAMP」（10人） ファミリーを主な対象としたディナー付のグラキャンイベント 実施日　5/14（日）～5/15（月）1泊 参加費収入69,000/食材費等支出69,000
		7	「NEXCO中日本㈱協働事業　柳島グランピング企画」 クラウドファンディングを利用したNEXCO中に本㈱との協働事業 詳細は別紙参照

その他 取組内容	親子勤務日数	6日
	その他	場内草刈り、チャッカマン追加発注、育児情報誌ワイヤーママ撮影、軍手販売スタート、 自然環境保全エリアの外来植物除去、テントサイトナンバー作成、 野外救急法国際資格取得（スタッフ１名）
	連絡調整会議	5月12日10：00～ キャンプ場で実施

予算 執行状況	年間予算額			15,325,000
	4 -5月執行額			1,157,293
	5月執行額			1,151,241
	内　　訳	人件費	918,883	4月給与分
		物品費	7,752	事務用品、工具資材他
		法定福利	80,002	社保4月法人負担分
		通信運搬	7,225	インターネット接続料
		手数料	3,240	給与振込手数料
		保険料	134,139	施設賠償保険
	5月分人件費			1,017,059

目標値	稼働率アップ	平日・冬期　前々年度比10%アップ
	イベント実施	4-6月、9-11月 平日イベント5回以上/月実施、 12-3月平日イベント10回以上実施、冬期イベント10回以上/年
	そ の 他	希少動植物・危険動植物の知識の啓発、 自然活動をつうじた環境保護や健康増進のアピール、 子育てと両立した雇用創出

茅ヶ崎市長

平成29年6月30日
ＮＰＯ法人 茅ヶ崎つなぐ海と森

柳島キャンプ場 協働事業 月次報告書 ｜平成29年度 6月

	年　度	全体			平日		
		施設稼働率	利用者数	利用組数	施設稼働率	利用者数	利用組数
利用状況	29年度	52.8%	1,845	228	38.9%	829	106
	28年度	51.1%	1,698	270	27.8%	636	107
	27年度	46.9%	1,474	252	25.7%	519	99

※利用者サービス向上を目的としたサイト数増による実質稼働率　全体20.4%　平日15.0%

	実施回数 （内平日実施）	総参加者数	
	10回（9回）	86人	
イベント実施	実施内容等 （参加者数） 収支	1	「缶バッチを作ろう！」（25人） キャンプ場来場記念のオリジナル缶バッジの作成 実施日 6/2（金）、6/9（金）、6/16（金）、6/23（金）、6/30（金） 参加費無料（収支なし）
		2	「ママキッズClub」（15人） 親子を対象とした、自然の中で遊びながらリラックスできる場の提供 実施日　6/14（水）、6/26（月） 参加費収入1,800/材料費等支出412
		3	「アーユルヴェーダヨガとタイプ別の食事」（13人） 自然と共存するライフスタイルの提案と生涯学習の場を提供 実施日　6/2（金） 参加費収入39,000/ワークショップ費支出39,000
		4	「やなぎしまキッチン～夏のパーティメニュー～」（8人） 自然の中での料理をつうじて、旬な食材や食事の大切さを感じてもらうワークショップ 実施日　6/19（月） 参加費収入24,000/ワークショップ費支出24,000
		5	「やなぎしまNature Club」（25人） 自然環境を学び親しむことを目的としたワークショップ 実施日　6/18（日） 参加費収入3,000/材料費支出2,700

その他 取組内容	親子勤務日数	6日
	その他	追加案内板作成・取付、グラキャンサイト撤収、自然環境保全エリアの外来植物除去、 Sundaymarket出店者をフェイスブックで募集、場内マップ案内板作成、 業務内容確認ロールプレイング実施
	連絡調整会議	6月16日16：00～ キャンプ場で実施

予算 執行状況	年間予算額			15,325,000
	4-6月執行額			2,318,138
	6月執行額			1,160,845
	内　　訳	人件費	1,017,059	5月給与分
		物品費	52,519	事務用品、工具資材他
		法定福利	80,002	社保5月法人負担分
		通信運搬	7,225	インターネット接続料
		手数料	3,840	給与振込手数料他
		租税公課	200	収入印紙代
	6月分人件費			953,657

目標値	稼働率アップ	平日・冬期　前々年度比10%アップ
	イベント実施	4-6月、9-11月 平日イベント5回以上/月実施、 12-3月平日イベント10回以上実施、冬期イベント10回以上/年
	そ の 他	希少動植物・危険動植物の知識の啓発、 自然活動をつうじた環境保護や健康増進のアピール、 子育てと両立した雇用創出

茅ヶ崎市長

平成29年7月31日
ＮＰＯ法人 茅ヶ崎つなぐ海と森

柳島キャンプ場 協働事業 月次報告書 ｜平成29年度 7月

	年　度	全体			平日		
		施設稼働率	利用者数	利用組数	施設稼働率	利用者数	利用組数
利用状況	29年度	104.7%	3,984	512	86.6%	2,127	260
	28年度	73.0%	2,921	434	57.3%	1,510	239
	27年度	68.5%	2,883	406	55.6%	1,620	242

※利用者サービス向上を目的としたサイト数増による実質稼働率　全体40.4%　平日33.4%

	実施回数 （内平日実施）	総参加者数	
	9回（7回）	103人	
イベント実施	実施内容等 （参加者数） 収支	1	「缶バッチを作ろう！」（48人） キャンプ場来場記念のオリジナル缶バッジの作成 実施日 7/7（金）、7/14（金）、7/21（金）、7/28（金） 参加費無料（収支なし）
		2	「ママキッズClub」（8人） 親子を対象とした、自然の中で遊びながらリラックスできる場の提供 実施日　7/12（水） 参加費収入1,200/材料費等支出217
		3	「やなぎしまの森ワークショップ」（27人） 自然のものを使ったものづくり体験ワークショップ（事前予約制） 実施日　7/22（土）、7/26（水）、7/30（日） 参加費収入1,300/ワークショップ費支出3,232
		4	「こんにちは！パッカー君」（20人） 環境事業センターのパッカー車に乗ったり写真撮影を行う事業をキャンプ場で実施 実施日　7/26（水） 参加費無料（収支なし）

その他 取組内容	親子勤務日数	6日
	その他	Sundaymarket YANAGISHIMA開催、Chigasaki kodomo cinemaキャンプ場動画撮影、 レンタル品補充、場内整備（除草、駐車場陥没補修）、夏季アルバイト6名雇用、 場内マップ周辺マップ配布、場内案内板作成、自然環境保全エリアの外来植物除去
	連絡調整会議	7月10日9：00～ キャンプ場で実施

予算 執行状況	年間予算額			15,325,000
	4-7月執行額			3,479,478
	7月執行額			1,161,340
	内　　訳	人件費	953,657	6月給与分
		物品費	16,213	事務用品、工具資材他
		法定福利	180,723	社保6月法人負担分、労働保険
		通信運搬	7,307	インターネット接続料他
		手数料	3,240	給与振込手数料
		租税公課	200	収入印紙代
	7月分人件費			1,271,351

目標値	稼働率アップ	平日・冬期　前々年度比10%アップ
	イベント実施	4-6月、9-11月 平日イベント5回以上/月実施、 12-3月平日イベント10回以上実施、冬期イベント10回以上/年
	そ の 他	希少動植物・危険動植物の知識の啓発、 自然活動をつうじた環境保護や健康増進のアピール、 子育てと両立した雇用創出

茅ヶ崎市長

平成29年8月31日
ＮＰＯ法人 茅ヶ崎つなぐ海と森

柳島キャンプ場 協働事業 月次報告書 ｜平成29年度 8月

	年　度	全体			平日		
		施設稼働率	利用者数	利用組数	施設稼働率	利用者数	利用組数
利用状況	29年度	126.4%	4,809	645	118.6%	3,264	424
	28年度	91.1%	3,365	478	86.9%	1,979	303
	27年度	96.1%	3,885	597	83.2%	1,813	290

※利用者サービス向上を目的としたサイト数増による実質稼働率　全体48.8%　平日45.8%

	実施回数（内平日実施）	総参加者数	
イベント実施	12回（9回）	84人	
	実施内容等（参加者数）収支	1	「缶バッチを作ろう！」（28人） キャンプ場来場記念のオリジナル缶バッジの作成 実施日 8/4（金）、8/11（金）、8/18（金）、8/25（金） 参加費無料（収支なし）
		2	「やなぎしまの森ワークショップ」（33人） 自然のものを使ったものづくり体験ワークショップ（事前予約制） 実施日　8/10（木）、8/11（金祝）、8/19（土）、8/22（火）、8/23（水） 8/24（木）、8/26（土） 参加費収入3,050/ワークショップ費支出3,348
		3	「こんにちは！パッカー君」（23人） 環境事業センターのパッカー車に乗ったり写真撮影を行う事業をキャンプ場で実施 実施日　8/9（水） 参加費無料（収支なし）

その他取組内容	親子勤務日数	20日
	その他	Sundaymarket YANAGISHIMA開催、探検隊ゲーム開始、9月,10月キャンプデビュー応援パッケージプラン申込開始、とことこ湘南さん団扇寄付、撮影対応（とことこ湘南、日本テレビ「ZIP！」、テレビ朝日他）、場内マップ案内板取付
	連絡調整会議	繁忙期のため実施せず
	自然環境保全	エリア①チガヤ保全、エリア②外来植物他除草、エリア③外来植物除草、コボタンヅルエリア 外来植物除草

予算執行状況	年間予算額			15,325,000
	4-8月執行額			4,854,055
	8月執行額			1,374,577
	内　訳	人件費	1,271,351	7月給与分
		物品費	1,869	事務用品、工具資材他
		法定福利	80,002	社保7月法人負担分
		通信運搬	7,225	インターネット接続料
		手数料	3,510	給与振込手数料他
		印刷製本費	10,620	入口看板作製
	8月分人件費			1,412,664

目標値	稼働率アップ	平日・冬期　前々年度比10%アップ
	イベント実施	4-6月、9-11月 平日イベント5回以上/月実施、 12-3月平日イベント10回以上実施、冬期イベント10回以上/年
	そ の 他	希少動植物・危険動植物の知識の啓発、 自然活動をつうじた環境保護や健康増進のアピール、 子育てと両立した雇用創出

茅ヶ崎市長

平成29年9月30日
ＮＰＯ法人 茅ヶ崎つなぐ海と森

柳島キャンプ場 協働事業 月次報告書 ｜平成29年度 9月

	年　度	全体			平日		
		施設稼働率	利用者数	利用組数	施設稼働率	利用者数	利用組数
利用状況	29年度	74.6%	2,486	319	50.0%	1,009	109
	28年度	57.5%	1,934	353	43.5%	859	173
	27年度	57.1%	1,839	293	38.0%	718	115

※利用者サービス向上を目的としたサイト数増による実質稼働率　全体28.8%　平日19.3%

	実施回数 （内平日実施）	総参加者数	
	10回（8回）	97人	
イベント実施	実施内容等 （参加者数） 収支	1	「缶バッチを作ろう！」（35人） キャンプ場来場記念のオリジナル缶バッジの作成 実施日 9/1（金）、9/8（金）、9/15（金）、9/22（金）、9/29（金） 参加費無料（収支なし）
		2	「やなぎしまの森ワークショップ」（6人） 自然のものを使ったものづくり体験ワークショップ（事前予約制） 実施日　9/3（日）、9/9（土） 参加費収入500/ワークショップ費支出0
		3	「ママキッズClub」（48人） 親子を対象とした、自然の中で遊びながらリラックスできる場の提供 実施日 9/11（月）、9/27（水） 参加費収入6,300/材料費等支出4,428
		4	「柳島女子キャンプミーティング」（8人） 女性のためのキャンプイベント。ワークショップ等を実施 実施日 9/20（水）～9/21（木）１泊 参加費収入16,500/ワークショップ費等支出16,767

その他 取組内容	親子勤務日数	10日
	その他	キャンプデビュー応援パッケージプラン実施、市広報掲載（キャンプデビュー応援パッケージプラン、ママキッズキャンプ、キャンプ場周辺マップ）、ＦＴサイト整備、やなぎしまの森（管理棟２階ワークショップルーム）図書コーナー設置、周辺マップ配布、各種イベント打合せ実施
	連絡調整会議	9月15日9：00～ キャンプ場で実施
	自然環境保全	エリア②を重点的に作業実施。外来植物他を根っこから除草、ハマボウフウ新芽個所保全杭打ち、ハマエンドウ新芽個所保全。

予算 執行状況	年間予算額			15,325,000
	4 -9月執行額			6,357,996
	9月執行額			1,503,941
	内　訳	人件費	1,412,664	8月給与分
		物品費	540	清掃用たわし
		法定福利	80,002	社保8月法人負担分
		通信運搬	7,225	インターネット接続料
		手数料	3,510	給与振込手数料他
	9月分人件費			985,664

目標値	稼働率アップ	平日・冬期　前々年度比10%アップ
	イベント実施	4-6月、9-11月 平日イベント5回以上/月実施、 12-3月平日イベント10回以上実施、冬期イベント10回以上/年
	そ の 他	希少動植物・危険動植物の知識の啓発、 自然活動をつうじた環境保護や健康増進のアピール、 子育てと両立した雇用創出

茅ヶ崎市長

平成29年10月31日
ＮＰＯ法人 茅ヶ崎つなぐ海と森

柳島キャンプ場 協働事業 月次報告書 ｜平成29年度 10月

	年　度	全体			平日		
		施設稼働率	利用者数	利用組数	施設稼働率	利用者数	利用組数
利用状況	29年度	44.1%	1,479	209	32.4%	694	91
	28年度	61.9%	1,573	273	33.5%	614	108
	27年度	49.4%	1,524	229	38.9%	771	113

※利用者サービス向上を目的としたサイト数増による実質稼働率　全体17.0%　平日12.5%
※台風・長雨による稼働率低下あり（雨天日14日間）

	実施回数 （内平日実施）	総参加者数	
	16回（10回）	224人	
イベント実施	実施内容等 （参加者数） 収支	1	「缶バッチを作ろう！」（19人） キャンプ場来場記念のオリジナル缶バッジの作成 実施日 10/6（金）、10/13（金）、10/20（金）、10/27（金） 参加費無料（収支なし）
		2	「秋休み企画！キャンプ場のインスタグラムをウーモでいっぱいにしよう！」（40人） キャンプ場キャラクター「ウーモ」のぬり絵をしてインスタグラムに投稿！ステッカープレゼント 実施日 10/7（土）～10/11（水） 参加費無料（収支なし）
		3	「やなぎしまの森ワークショップ」（48人） 自然のものを使ったものづくり体験ワークショップ（事前予約制） 実施日　10/1（日）、10/8（日）、10/29（日） 参加費収入1,800/ワークショップ費支出0
		4	「やなぎしまキッチン～精進の一日～」（10人） 自然の中での料理をつうじて、旬な食材や食事の大切さを感じてもらうワークショップ 実施日　10/4（水）～10/5（木）1泊 参加費収入56,000/ワークショップ費支出56,000
		5	「ママキッズClub」（9人） 親子を対象とした、自然の中で遊びながらリラックスできる場の提供 実施日　10/12（木） 参加費収入1,200/材料費等支出2,330
		6	「アーユルヴェーダヨガと食事～体質にあったヨガと食事～」（5人） 自然と共存するライフスタイルの提案と生涯学習の場を提供 実施日　10/13（金） 参加費収入20,000/ワークショップ費支出20,000
		7	「ママキッズCAMP～Fairy of country～」（36人） 親子を対象とした、自然の中で遊びながらリラックスできる場の提供 実施日　10/19（木） 参加費収入32,500/材料費等支出39,190
		8	「ふれあいアートデイキャンプ」（57人）※協働推進参加団体マム04主催事業 子育て世代と多世代の交流及び他団体との連携による地域活性化の実施 実施日　10/26（木） マム04主催事業のため収支なし

その他 取組内容	親子勤務日数	5日
	その他	新年度以降のご案内開始、FM横浜THE BURN・雑誌ガルヴィ撮影、顔ハメパネル作成中、自販機がたつき補修、キャンプデビュー応援パッケージプラン実施、ＦＴサイト整地、協働推進委員見学対応、台風による閉場対応、ビーチクリーン実施、まちづくりスポット茅ヶ崎さんとイベント打合せ実施
	連絡調整会議	10月30日9：00～ キャンプ場で実施
	自然環境保全	エリア②を重点的に作業実施。外来植物他を根っこから除草。ハマボウフウ、ハマエンドウ新芽観察保全。

予算 執行状況	年間予算額			15,325,000
	4-10月執行額			7,450,294
	10月執行額			1,092,298
	内　　訳	人件費	985,664	9月給与分
		物品費	4,968	工具部材他
		法定福利	83,201	社保9月法人負担分
		報償費	3,000	ボランティア謝金
		業務委託費	5,000	撮影業務委託
		通信運搬	7,225	インターネット接続料
		手数料	3,240	給与振込手数料
	10月分人件費			949,295

目標値	稼働率アップ	平日・冬期　前々年度比10%アップ
	イベント実施	4-6月、9-11月 平日イベント5回以上/月実施、 12-3月平日イベント10回以上実施、冬期イベント10回以上/年
	そ の 他	希少動植物・危険動植物の知識の啓発、 自然活動をつうじた環境保護や健康増進のアピール、 子育てと両立した雇用創出

茅ヶ崎市長

平成29年11月30日
ＮＰＯ法人 茅ヶ崎つなぐ海と森

柳島キャンプ場 協働事業 月次報告書 ｜平成29年度 11月

	年　度	全体			平日		
		施設稼働率	利用者数	利用組数	施設稼働率	利用者数	利用組数
利用状況	29年度	56.8%	1,825	254	21.9%	432	57
	28年度	38.0%	1,577	246	16.4%	352	51
	27年度	34.1%	1,242	192	15.8%	353	58

※利用者サービス向上を目的としたサイト数増による実質稼働率　全体21.9%　平日8.4%

	実施回数 （内平日実施）	総参加者数	
	12回（9回）	159人	
イベント実施	実施内容等 （参加者数） 収支	1	「缶バッチを作ろう！」（13人） キャンプ場来場記念のオリジナル缶バッジの作成 実施日 11/3（金）、11/10（金）、11/17（金）、11/24（金） 参加費無料（収支なし）
		2	「やなぎしまの森ワークショップ」（7人） 自然のものを使ったものづくり体験ワークショップ（事前予約制） 実施日　11/3（金祝）、11/5（日） 参加費収入200/ワークショップ費支出0
		3	「BOOK&CAMP」（83人） 本を通して自然に親しむことをテーマとしたキャンプイベント。ワークショップやライブも実施 実施日 11/12（日） 参加費収入0/ワークショップ費等支出6,253
		4	「ママキッズClub」（35人） 親子を対象とした、自然の中で遊びながらリラックスできる場の提供 実施日 11/9（木）、11/15（水）、11/27（月） 参加費収入4,600/材料費等支出4,272
		5	「やなぎしまキッチン～スリランカごはん～」（10人） 自然の中での料理をつうじて、旬な食材や食事の大切さを感じてもらうワークショップ 実施日 11/9（木） 参加費収入30,000/ワークショップ費支出30,000
		6	「柳島女子キャンプミーティング」（11人） 女性のためのキャンプイベント。ワークショップ等を実施 実施日 11/29（水）～11/30（木）1泊 参加費収入87,336/ワークショップ費等支出87,130
		その他	「1stDAY OF THE CAMP LIFE@YANAGISHIMA～キャンプデビュー応援パッケージプラン～」実施報告 キャンプ初心者の方などを対象にキャンプ道具一式をパックプランとして、気軽にキャンプをしていただけることを目的に実施 実施期間（利用組数）　9月1日～10月31日（18組）天候によるキャンセル7件

その他 取組内容	親子勤務日数	4日
	その他	イベント打合せ実施（まちづくりスポット茅ヶ崎、ＷＡＷＡシネマ）、ビーチクリーン実施、FTサイト・グラキャン申込開始、チャッカマン発注、テントサイトナンバープレート補修、顔ハメパネル設置、イベントNUKUNUKUテントサイト宿泊受付、リヤカー補修、Webマガジン「パドラー」取材撮影、FM横浜SHONAN by the seaラジオ出演、大掃除開始
	連絡調整会議	11月20日9：00～ キャンプ場で実施
	自然環境保全	エリア②③の作業実施。除草、ハマボウフウ、ハマエンドウ保全。エリア③については、日当たり・風通しを確保

予算 執行状況	年間予算額			15,325,000
	4-11月執行額			8,534,421
	11月執行額			1,084,127
	内　訳	人件費	949,295	10月給与分
		物品費	7,766	工具部材他
		法定福利	83,201	社保10月法人負担分
		報償費	1,000	ボランティア謝金
		業務委託費	32,400	勤怠ソフトサポート
		通信運搬	7,225	インターネット接続料
		手数料	3,240	給与振込手数料
	11月分人件費			1,011,527

目標値	稼働率アップ	平日・冬期　前々年度比10%アップ
	イベント実施	4-6月、9-11月 平日イベント5回以上/月実施、 12-3月平日イベント10回以上実施、冬期イベント10回以上/年
	そ の 他	希少動植物・危険動植物の知識の啓発、 自然活動をつうじた環境保護や健康増進のアピール、 子育てと両立した雇用創出

茅ヶ崎市長

平成29年12月31日
ＮＰＯ法人 茅ヶ崎つなぐ海と森

柳島キャンプ場 協働事業 月次報告書 ｜平成29年度 12月

	年　度	全体			平日		
		施設稼働率	利用者数	利用組数	施設稼働率	利用者数	利用組数
利用状況	29年度	42.6%	1,231	157	19.3%	147	19
	28年度	24.4%	876	149	18.2%	197	27
	27年度	15.3%	647	101	11.6%	146	23

※利用者サービス向上を目的としたサイト数増による実質稼働率　全体16.4%　平日7.5%

	実施回数 （内平日実施）	総参加者数	
	13回（7回）	536人	
イベント実施	実施内容等 （参加者数） 収支	1	「缶バッチを作ろう！」（6人） キャンプ場来場記念のオリジナル缶バッジの作成 実施日 12/1（金）、12/8（金）、12/15（金）、12/29（金） 参加費無料（収支なし）
		2	「やなぎしまの森ワークショップ」（13人） 自然のものを使ったものづくり体験ワークショップ（事前予約制） 実施日　12/16（土）、12/17（日） 参加費収入750/支出0
		3	「ギフトキャンプ」（110人） お金ではない豊かさを体験できるキャンプイベント。映画上映、ワークショップなどを実施 実施日 12/2（土） 参加費収入0/物品費等支出4,329
		4	「ママキッズClub」（28人） 親子を対象とした、自然の中で遊びながらリラックスできる場の提供 実施日 12/7（木）、12/13（水）、12/18（月） 参加費収入3,600/材料費等支出1,484
		5	「海の森のお話と海藻おしばを作ろう！」（19人） JAF・茅ヶ崎市との協働イベント。紙芝居などでの講話やワークショップを実施 実施日 12/10（日） ※参加費経費はJAF管理のため収支0
		6	「TAKIBIFESTIVAL NUKU NUKU2」（328人） 冬キャンプの魅力を発信するイベント。映画上映・ライブ・ワークショップ等を実施 実施日 12/23（土）～12/24（日）１泊 参加費収入291,000/ワークショップ費等支出281,000
		7	「年越しそばを作ろう！」（32人） リクエストにより実施。大晦日に来場のお客様にそば打ちをして年越しそば食べる！ 実施日 12/31（日） 参加費収入11,000/材料費等支出10,501

その他 取組内容	親子勤務日数	5日
	その他	Eサイト解体、FTサイト・グラキャン再開、BBQテーブル下整地、ログキャビンへの厚手銀マット設置（冬キャンプ対策）、次期指定管理業者との打合せ実施
	連絡調整会議	12月15日14:30～ 市庁舎で実施
	自然環境保全	エリア①③の作業及び④の柵補修を実施。エリア②除草（チガヤ15cm残す）及びハマエンドウ保全。エリア③除草及び松葉除去

予算 執行状況	年間予算額			15,325,000
	4-12月執行額			9,877,067
	12月執行額			1,342,646
	内訳	人件費	1,011,527	11月給与分
		物品費	47,236	工具部材他
		法定福利	83,201	社保11月法人負担分
		報償費	4,000	ボランティア謝金
		業務委託費	12,500	データ作成業務他
		通信運搬	8,340	インターネット接続料他
		印刷製本費	51,210	チラシ作成他
		修繕費	109,080	トイレ排水修理
		福利厚生費	11,880	職員健診費
		手数料	3,672	給与振込手数料他
	12月分人件費			1,039,373

目標値	稼働率アップ	平日・冬期　前々年度比10%アップ
	イベント実施	4-6月、9-11月 平日イベント5回以上/月実施、 12-3月平日イベント10回以上実施、冬期イベント10回以上/年
	そ の 他	希少動植物・危険動植物の知識の啓発、 自然活動をつうじた環境保護や健康増進のアピール、 子育てと両立した雇用創出

茅ヶ崎市長

平成30年1月31日
ＮＰＯ法人 茅ヶ崎つなぐ海と森

柳島キャンプ場 協働事業 月次報告書 ｜平成29年度 1月

	年　度	全体			平日		
		施設稼働率	利用者数	利用組数	施設稼働率	利用者数	利用組数
利用状況	29年度	25.1%	838	113	14.5%	179	27
	28年度	18.2%	543	106	8.2%	121	23
	27年度	12.0%	425	51	3.6%	69	9

※利用者サービス向上を目的としたサイト数増による実質稼働率　全体9.7%　平日5.6%

	実施回数 （内平日実施）	総参加者数	
イベント実施	16回（9回）	230人	
	実施内容等 （参加者数） 収支	1	「缶バッチを作ろう！」（12人） キャンプ場来場記念のオリジナル缶バッジの作成 実施日 1/5（金）、1/12（金）、1/19（金）、1/26（金） 参加費無料（収支なし）
		2	「やなぎしまの森ワークショップ」（11人） 自然のものを使ったものづくり体験ワークショップ（事前予約制） 実施日　1/2（火）、1/7（日）、1/13（土） 参加費収入650/支出0
		3	「お正月イベント お汁粉のふるまい」（90人） お客様に自然の中でお汁粉を味わってもらうサービスを実施 実施日 1/1（月） 参加費収入0/物品費等支出2,682
		4	「お正月イベント 書初め」（30人） お客様に自然の中で書初めをしてもらうサービスを実施 実施日 1/1（月）～1/3（水） 参加費収入0/物品費等支出324
		5	「お正月イベント SNSで投稿でステッカープレゼント！」（2人） 柳島海岸の初日の出写真をSNSに投稿していただいたお客様にステッカーをプレゼント 実施日 1/1（月） 参加費無料（収支なし）
		6	「ママキッズClub」（41人） 親子を対象とした、自然の中で遊びながらリラックスできる場の提供 実施日 1/11（木）、1/17（水） 参加費収入8,200/材料費等支出7,832
		7	「火ってなぁんだ？みんなでご飯を炊いてみよう！」（32人） 子ども対象。火でご飯を炊くことをつうじて、生きる力などを培うイベント 実施日 1/27（土） 参加費収入0/食材費等支出2,724
		8	「TAKIBICATION & Cinema」（12人） 焚火を囲みながら、映画上映、けんちん汁、焼き芋を実施し参加者と感想を共有する 実施日 1/28（日） 参加費収入7,200/食材費等支出7,918

その他 取組内容	親子勤務日数	5日
	その他	施設修繕（ログキャビン扉、デッキ部分、宿泊棟網戸、管理棟ベランダ）、 キャンプ場手ぬぐい製作、トイレ高圧洗浄処理、グラキャン部材補修再開
	連絡調整会議	1月15日9:00～ キャンプ場で実施
	自然環境保全	エリア③④の除草及び松葉除去作業を実施。エリア①②の説明書きを新しいものに更新

予算 執行状況	年間予算額			15,325,000
	4-1月執行額			11,030,732
	1月執行額			1,153,665
	内　訳	人件費	1,039,373	12月給与分
		物品費	19,966	工具部材他
		法定福利	83,201	社保12月法人負担分
		通信運搬	7,885	インターネット接続料他
		手数料	3,240	給与振込手数料
	1月分人件費			946,767

目標値	稼働率アップ	平日・冬期　前々年度比10%アップ
	イベント実施	4-6月、9-11月 平日イベント5回以上/月実施、 12-3月平日イベント10回以上実施、冬期イベント10回以上/年
	そ の 他	希少動植物・危険動植物の知識の啓発、 自然活動をつうじた環境保護や健康増進のアピール、 子育てと両立した雇用創出

茅ヶ崎市長

平成30年2月28日
ＮＰＯ法人 茅ヶ崎つなぐ海と森

柳島キャンプ場 協働事業 月次報告書 ｜平成29年度 2月

	年　度	全体			平日		
		施設稼働率	利用者数	利用組数	施設稼働率	利用者数	利用組数
利用状況	29年度	36.4%	1,360	179	17.7%	484	63
	28年度	32.6%	1,153	165	21.0%	528	72
	27年度	12.0%	419	53	5.7%	188	18

※利用者サービス向上を目的としたサイト数増による実質稼働率　全体14.0%　平日6.8%

	実施回数 （内平日実施）	総参加者数	
イベント実施	9回（5回）	364人	
	実施内容等 （参加者数） 収支	1	「缶バッチを作ろう！」（8人） キャンプ場来場記念のオリジナル缶バッジの作成 実施日 2/16（金）、2/23（金） 参加費無料（収支なし）
		2	「やなぎしまキッチン～あったかビストロメニューを作ろう～」（15人） 自然の中での料理をつうじて、旬な食材や食事の大切さを感じてもらうワークショップ 実施日　2/11（日） 参加費収入42,000/ワークショップ費等支出42,000
		3	「やなぎしまキッチン 精進の一日～冬の手仕事味噌作り～」（15人） 自然の中での料理をつうじて、旬な食材や食事の大切さを感じてもらうワークショップ 実施日　2/18（日）～2/19（月）1泊 参加費収入106,000/ワークショップ費支出106,000
		4	「パンケーキＤＡＹ！」（230人） キャンプ場無料オープンデイとし、パンケーキレースや ワークショップ他を開催（26団体が出店協力） 実施日　2/25（日） 参加費収入5,000/ワークショップ費等支出17,248
		5	「ママキッズClub」（78人） 親子を対象とした、自然の中で遊びながらリラックスできる場の提供 実施日　2/7（水）、2/15（木）、2/26（月） 参加費収入10,200/材料費等支出5,260
		6	「柳島女子キャンプミーティング」（18人） 女性のためのキャンプイベント。ワークショップ等を実施 実施日　2/25（日）～2/26（月）１泊 参加費収入38,000/ワークショップ費等支出43,605

その他 取組内容	親子勤務日数	5日
	その他	施設修繕（釜戸、シャワー室横屋根）、キャンプ場手ぬぐい販売開始、アウトドア雑誌「ビーパル」撮影対応、タウンニュース掲載、FM横浜「湘南バイザシー」でイベント紹介、神奈川新聞でイベント掲載、次期指定管理者引継ぎ実施
	連絡調整会議	2月26日9:00～ キャンプ場で実施
	自然環境保全	エリア③④の除草及び松葉除去作業を実施。

予算 執行状況	年間予算額			15,325,000
	4-2月執行額			12,222,539
	2月執行額			1,191,807
	内　　訳	人件費	946,767	1月給与分
		物品費	10,274	工具部材他
		法定福利	83,201	社保1月法人負担分
		通信運搬	7,225	インターネット接続料他
		報償費	3,000	ボランティア費用弁償
		福利厚生費	11,880	職員健診費
		租税公課	400	収入印紙
		修繕費	125,280	宿泊棟網戸修理他
		手数料	3,780	給与振込手数料
	2月分人件費			971,234

目標値	稼働率アップ	平日・冬期　前々年度比10%アップ
	イベント実施	4-6月、9-11月 平日イベント5回以上/月実施、 12-3月平日イベント10回以上実施、冬期イベント10回以上/年
	そ の 他	希少動植物・危険動植物の知識の啓発、 自然活動をつうじた環境保護や健康増進のアピール、 子育てと両立した雇用創出

茅ヶ崎市長

平成30年3月31日

ＮＰＯ法人 茅ヶ崎つなぐ海と森

柳島キャンプ場 協働事業 月次報告書 ｜平成29年度 3月

	年　度	全体			平日		
		施設稼働率	利用者数	利用組数	施設稼働率	利用者数	利用組数
利用状況	29年度	52.1%	1,978	231	44.4%	1,150	125
	28年度	49.5%	2,219	294	33.1%	1,051	131
	27年度	48.3%	1,885	276	41.2%	1,080	154

※利用者サービス向上を目的としたサイト数増による実質稼働率　全体20.1%　平日17.2%

	実施回数 （内平日実施）	総参加者数	
イベント実施	8回（6回）	189人（+77組）	
	実施内容等 （参加者数） 収支	1	「缶バッチを作ろう！」（39人） キャンプ場来場記念のオリジナル缶バッジの作成 実施日 3/9（金）、3/23（金） 参加費無料（収支なし）
		2	「やなぎしまの森ワークショップ」（3人） 自然のものを使ったものづくり体験ワークショップ（事前予約制） 実施日　3/25（日） 参加費収入300/支出0
		3	「ママキッズClub」（30人） 親子を対象とした、自然の中で遊びながらリラックスできる場の提供 実施日　3/5（月）、3/14（水） 参加費収入4,800/材料費等支出5,600
		4	「ママキッズClub+GO CAMPING！」（52人） 親子でのキャンプデビューへのお手伝いやコミュニケーションの場の提供 実施日　3/22（木）～3/23（金）１泊 参加費収入16,200/材料費等支出24,012
		5	「こんにちは！パッカー君」（40人） 環境事業センターのパッカー車に乗ったり写真撮影を行う事業をキャンプ場で実施 実施日　3/30（金） 参加費無料（収支なし）
		6	「避難訓練」（25人） 津波想定で流域下水場屋上まで避難（お客様も任意で参加） 実施日　3/25（日） 参加費無料（収支なし）
		特別企画	「グラキャン」（32組） 昨年度クラウドファンディングで実現したグラキャンを再度開催 実施日　12/1（金）～3/18（日） 参加費収入32,000/リネン等支出32,832
		特別企画	「FTサイト」（45組） テントの側で焚火をできるサイトを設置し冬キャンプにしたしんでもらう 実施日　12/1（金）～3/18（日） 通常テントサイト利用料以外の収支なし

その他 取組内容	親子勤務日数	8日
	その他	焚火台レンタルで蒔プレゼントキャンペーン、撮影対応（やえず出版・山と渓谷社）、施設備品修繕（管理棟２階電気シェード取替、釜戸、エアコンクリーニング、宿泊棟２階仕切り扉・トイレペーパーホルダー補修、ＢＢＱコンロ補修、自転車置場再構築、宿泊棟・管理棟壁・デッキ部分塗装、テントサイトへの通路補修、管理棟前・炊事場後ろ土留補修、シャワー室扉補修）、近隣マップ配布期間延長連絡、薪小屋・グラキャン撤去、アウトドア雑誌「ビーパル」掲載、次期指定管理者引継ぎ実施
	連絡調整会議	3月29日9:00～ キャンプ場で実施
	自然環境保全	スケジュール上実施なし

予算 執行状況	年間予算額			15,325,000
	4-3月執行額			15,325,000
	3月執行額			3,102,461
	内　　訳	人件費	2,057,855	2月給与分+3月分給与分（未払金）
		物品費	13,112	工具部材他
		法定福利	166,402	社保2月法人負担分+社保3月法人負担分（未払金）
		通信運搬	20,005	回線接続料1月分7,225、2,3月分12,722 （未払金）郵送費58
		報償費	1,000	ボランティア費用弁償
		業務委託費	5,000	イベント写真撮影委託
		租税公課	70,200	法人地方税（未払金）、収入印紙
		修繕費	502,048	宿泊棟空調修理他
		手数料	25,920	給与他振込手数料、光回線解約手数料他（３月分未払金）
		保険料	2,130	施設賠償保険精算金（未払金）
		一般管理費	238,789	協働事業直接事業費10%以内

目標値	稼働率アップ	平日・冬期　前々年度比10%アップ
	イベント実施	4-6月、9-11月 平日イベント5回以上/月実施、 12-3月平日イベント10回以上実施、冬期イベント10回以上/年
	そ の 他	希少動植物・危険動植物の知識の啓発、 自然活動をつうじた環境保護や健康増進のアピール、 子育てと両立した雇用創出

行政提案型

８　ちがさき丸ごとふるさと発見博物館講座の動画配信及び事業ＰＲ
（ＮＰＯ法人湘南スタイル・社会教育課）

協働推進事業実績報告書

３０年 ３月３１日

（あて先）茅ヶ崎市長

所在地

提出者　名称 NPO法人湘南スタイル
代表者氏名　藁品孝久　　印

平成２９年度行政提案型協働推進事業の実績について、次のとおり報告します。

事業の名称	ちがさき丸ごとふるさと発見博物館講座の動画配信及び事業PR
担当課名	茅ヶ崎市教育委員会教育推進部社会教育課
事業の内容等	別紙「協働推進事業実施結果」のとおり

※この実績報告書には、収支決算書及び最終評価（当事者評価後の協議を含む）終了後の協働事業評価書を添付してください。

※実績報告書の内容については、協働事業評価書の内容とともに、事業実施の翌年度５月から６月に開催する協働推進事業報告会で発表していただくことになります。

協働推進事業実施結果

事業の実施内容 ※できるだけ具体的に記入してください。	**【1】 ちがさき丸ごとふるさと発見博物館講座の動画配信** **（1） 講座のテーマ、講師の選定** 平成28年度に撮影した、年2期開講される「ちがさき丸ごとふるさと発見博物館講座（基礎編）」のバージョンアップシリーズとして、茅ヶ崎の様々な分野の魅力を伝える特別講座を企画。数多くの選択肢がある中、過去に実施した講座の中で特に好評だった講座を選定。オリエンテーションを含め、10名の講師に講座を依頼しました。講師と講座のテーマや方向性を相談し、素材収集、資料作成などの準備を進めました。 講師は、市民や茅ヶ崎市職員で、特定の分野に関する高い知識や活動のバックグラウンドをお持ちの以下の方たちにご依頼しました。 丸博アクションプロジェクト調査研究部会部会長　原俊一氏 自然保護グループ三翠会代表　鈴木國臣氏 茅ヶ崎館五代目当主　森浩章氏 茅ヶ崎郷土会会長　平野文明氏 城山三郎氏次女　井上紀子氏 茅ヶ崎市文化財保護審議会委員　岡崎孝夫氏 茅ヶ崎市教育委員会教育推進部社会教育課　川口徳治朗氏 茅ヶ崎市教育委員会教育推進部社会教育課　大村浩司氏 茅ヶ崎市教育委員会教育推進部社会教育課　髙橋知氏 それぞれの日程調整や資料準備等に思いの外時間がかかりましたが、皆さんの特性を活かした講座を撮影することができました。 **（2）ちがさき丸ごとふるさと発見博物館講座（特別講座）の動画撮影** （1）で決定したテーマ、講師による講座10本を撮影しました。 ◆茅ヶ崎と自転車 ◆茅ヶ崎の田んぼと環境について（前編） ◆茅ヶ崎の田んぼと環境について（後編） ◆茅ヶ崎の映画史 ◆茅ヶ崎の社殿彫刻 ◆茅ヶ崎と城山三郎 ◆茅ヶ崎と浜降祭 ◆茅ヶ崎と堤貝塚 ◆茅ヶ崎の下寺尾官衙遺跡群 ◆Maruhaku TVオリエンテーション

▼講座撮影の様子

▼ウェブサイトにおける各動画タイトル

（2）動画編集

・撮影した動画の文字起こし

動画を視聴する際、耳の不自由な方や音が出せない環境にいる方も受講できるよう動画にキャプションをつけました。文字起こしを行い、講師に確認し修正を行いました。

▼キャプション（サンプル）

・映像の編集

講師が作成したスライド（パワーポイントデータ）を受講者にわかりやすい形態に編集を行いました。スライド・映像・キャプションを合わせて、視聴者の目線で魅了的な内容となるよう編集を行いました。

▼スライド・映像・キャプション（サンプル）

【２】動画配信及び事業PRのためのプラットフォーム（ウェブサイト・YouTubeチャンネル）の運営

（１）ウェブサイト「Maruhaku TV」を運営

https://www.maruhaku.tv/

PC・タブレット・スマホ対応のウェブサイトを昨年度、平成28年9月1日に公開し、引き続き運用しました。動画は、講座受講時と同じ内容で楽しめるフルバージョンと、セクションごとに区切ったショートバージョンを作成し、視聴のタイミングや環境に合わせて受講できるようにしています。
「MaruhakuTVについて」、「講師紹介」、「初めての方へ」など、「丸ごと博物館事業」について知らなかった人にも理解を深められるコンテンツを用意しています。また、講座動画のDVDを制作し、貸出用に準備を整えました。

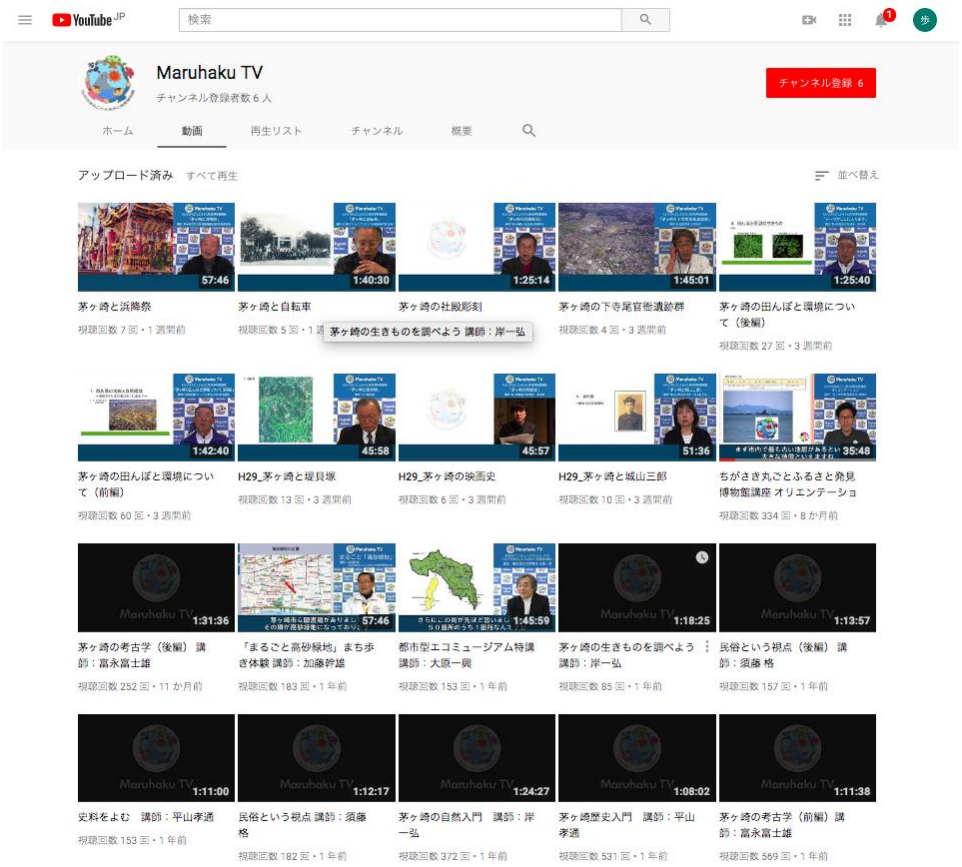
▼トップページ

▼テーマ別動画一覧ページ

（３）youtubeチャンネル開設

昨年度開設したyoutubeチャンネル「Maruhaku TVチャンネル」を引き続き公開、youtubeを通じて撮影・編集した映像を公開しています。

▼youtube「Maruhaku TVチャンネル」



【３】ウェブサイトおよびFacebookページの運用

（１）ウェブサイトの運用

「丸ごと博物館」事業や動画に興味を持ってもらえるよう、「丸博コラム」を継続的に配信しました。コラムのテーマは、講座からさまざまな内容を抜粋し、動画を視聴する契機になるよう心掛けました。

▼コラムサンプル

また、「丸博ブログ」においては「丸ごと博物館事業」関連のイベント情報などをセレクトして掲載しています。

▼ブログサンプル

Maruhaku TV presents【第二回 茅ヶ崎を知るランチ会】2月10日（土）開催！：1月15日（月）申込受付中

いいね！ 10 シェア ツイート LINEで送る G+

投稿日：2018年1月9日（火） | カテゴリ：丸博ブログ | タグ: イベント

24万人が暮らす茅ヶ崎、神奈川県内33市町村のうちの一つです。
海、里山など自然も多く、季節ごとのイベントにも事欠きません。
暮らしながら遊べるまち、茅ヶ崎。茅ヶ崎は本当に楽しいコンテンツ満載なのです。
それを知る窓口の一つが「**Maruhaku TV**」でもあります。

茅ヶ崎に越してきたばかりの方、
茅ヶ崎で子育て中の方、
茅ヶ崎で暮らしてはいるものの、実はあまり茅ヶ崎について知らない方、
茅ヶ崎の楽しい情報をどうやって知ればよいのかわからない方、
会社を卒業して茅ヶ崎市内にいることが増えた方、

「知れば知るほど」楽しい茅ヶ崎、もっと「あなたの知らない茅ヶ崎」を発見してみませんか？
また、「あなたの知っている茅ヶ崎」を、それを知らない人にシェアしてみませんか？
そして、おいしいものを食べながら、たくさんの友達を作りませんか？

ますます茅ヶ崎での暮らしが楽しくなる「きっかけ」となるような
Maruhaku TV presents「茅ヶ崎を知るランチ会」を開催します！

当日は、「Maruhaku TV」に出演している、
"まちの記憶を伝えるキュレーター"こと、須藤格さんがゲストスピーカーとして参加し、
茅ヶ崎の内と外をつなげるハブとなりつつある、
コワーキングスペースチガラボにて開催します。
また、茅ヶ崎、そして相模湾で獲れたおいしいものをご用意する予定です！
茅ヶ崎が好き、もっと茅ヶ崎を楽しみたい！という方、ぜひご参加ください！

第一回の様子：講師の須藤氏　第一回の様子：講師の平山氏　第一回の様子：ちがさき丸ごとピンゴ　第一回の様子：ちがさき丸ごとピンゴ

▼内容
1. オープニング
2. ゲストの活動紹介＆トークセッション
3. 会場とのQ&A
4. 茅ヶ崎・相模湾産の食材を使った新鮮なランチ
5. 交流会
6. 茅ヶ崎にまつわるゲームなど

※内容は変更になる場合があります。

▼日時
2月10日（土）10:00～14:00

▼会費
2,000円

▼場所
コワーキングスペース チガラボ
〒253-0044 茅ヶ崎市新栄町13 新栄町13-48 ワラシナビル5F
※お子さん連れも大歓迎です。

▼お問い合わせ
NPO法人湘南スタイル
Maruhaku TV担当　市川歩
info@maruhaku.tv

▼お申込み
以下、コワーキングスペースチガラボウェブサイトにてお申し込み受けております。
https://chiga-lab.com/event/20180210/

（２）Facebookページの運用

既に市民ボランティアが運用している『都市型エコミュージアム「ちがさき丸ごとふるさと発見博物館」応援ページ』のFacebookページに投稿し、新規動画の公開情報、イベント情報、丸博コラムへの誘導を行いました。

▼Facebookページ

【４】事業（主にウェブサイト）周知のための紙媒体PRツールの作成・配布

（１）ウェブサイトPR用チラシ

B5サイズ両面のチラシを作成、基礎講座、特別講座等で配布しています。

（２）広報ちがさき平成30年1月15日号掲載

▼広報ちがさき（1月15日号：1面）

ちがさきまるごとふるさと発見博物館企画展「松林丸ごとふるさと発見博物館」開催の際、広報ちがさきでの掲載枠（1面）にて、Maruhaku TV交流会の告知兼サイトのPRを行いました。

【５】交流会の開催

オンラインユーザー・講師・講座受講者・ボランティアメンバー等、多様な主体による、「茅ヶ崎を知る」というテーマ性を持った交流会である「茅ヶ崎を知るランチ会」を昨年に引き続き実施しました。気軽な「オフ会」のイ

メージで、講座では築けなかった繋がりを創造することでオフラインでのネットワークも構築し、ちがさき丸ごとふるさと発見博物館のさらなる事業PRとウェブサイト活用促進を行いました。

▼開催日

平成30年2月10日（土）

▼開催場所

コワーキングスペース チガラボ

チガラボは、人との関わりの中で学びや気づきを得る、日常では出会えない人や地域や情報に刺激を受ける、お互いの新たなチャレンジや実験を応援しあう、そんなコミュニティを目指している「場」です。まさに今回の交流の場としてふさわしく、交流会の告知も積極的に行っていただき、今まで「ちがさき丸ごとふるさと発見博物館」と接点のなかった方とも出会うきっかけとなりました。

▼参加者

大人27名、小中学生3名、小学生未満1名

▼内容

交流会内では参加者同士の交流を促進する他、ゲストスピーカーとして茅ヶ崎市社会教育課の髙橋知氏による「都市型ミュージアム・ちがさき丸ごとふるさと発見博物館ってなに？」のプレゼンテーションがありました。

また、茅ヶ崎市文化資料館の須藤格氏とチガラボ代表清水謙氏、参加者によるトークセッション「新博物館から紐解く地域の歴史」も行われ、積極的な会場との意見交換が行われました。

また上記のほか、「ちがさき丸ごとビンゴ」も行いました。このビンゴは、茅ヶ崎の町名全59町名を網羅したビンゴで、自分の住まう場所以外の茅ヶ崎への興味の入り口となり、とても好評でした。

	  ゲームの景品には茅ヶ崎にまつわるプレゼントを用意し、楽しみながら茅ヶ崎を知る良いきっかけとなりました。
事業の参加者等	▼ 統括責任者 NPO法人湘南スタイル　理事長 ▼ 実施メンバー NPO法人湘南スタイル法人会員および個人会員 ▼ コンテンツ提供 ちがさき丸ごとふるさと発見博物館ボランティア
実施日程等	「事業の実施内容」のとおり

収 支 決 算 書

協働推進事業費

（総事業費）　　３,３００,４０６　　円

（収　入）　　（円単位）

区　分	当初予算額	決算額	内訳（内容、数量、単価など）
A　委託料または負担金の額	3,300,000	3,300,000	市の支出金
B 団体負担額	44,000	406	NPO 法人湘南スタイル負担額
E　収入合計額（A＋B＋C＋D）	3,344,000	3,300,406	

※収入欄には、市の支出金のほか、参加費、寄附金等の収入を記入して下さい。

（支　出）　　（円単位）

区　分	当初予算額	決算額	内訳（内容、数量、単価など）
F　人件費	2,616,000	2,590,000	**◆動画企画・撮影等人件費**：440,000 円 ・2,000 円×86H=172,000 円 ・2,000 円×104H＝208,000 円 ・2,000 円×24H=48,000 円 ・2,000 円×6H=12,000 円 **◆動画編集等人件費**：980,000 円 ・2,000 円×196H=392,000 円 ・2,000 円×245H=490,000 円 ・2,000 円×49H=98,000 円 **◆文字起こし人件費** ・1,000 円×54H=54,000 円 **◆ウェブ制作人件費**：480,000 ・2,000 円×190H=380,000 円 ・2,000 円×50H=100,000 円 **◆総責任者人件費**：180,000 円 2,500 円×6H×12 ヶ月 **◆プロジェクト責任者人件費**：360,000 円 2,000 円×15H×12 ヶ月 **◆事務局人件費：**96,000 円 1,000 円×8H×12 ヶ月
I　通信運搬費	24,000	22,689	◆ドメイン取得　3,240 円 ◆SSL　19,449 円
J　印刷製本費	77,000	65,000	チラシ印刷代　65,000 円
K　広告費	300,000	300,000	インターネット広告費：2017.8.1～2018.3.31
L　賃借料	24,000	22,680	レンタルサーバー代　22,680
M　一般管理費	303,000	300,037	直接事業費 10%以内
N　支出合計額（F から M まで）	3,344,000	3,300,406	

協働事業評価書

事業名	ちがさき丸ごとふるさと発見博物館講座の動画配信及び事業PR
団体名	NPO法人湘南スタイル
担当課名	社会教育課

目標の設定

事業実施前に、事業の実施により達成する目標や、受益者評価の目標を設定してください。

成果目標

各項目については、実施団体と担当課が協議の上で決定してください。

目標とする成果（何がどう変化することを目指すのかを記入してください。）
市民生活において、「住まう茅ヶ崎を知ること」を求心力とした、 テーマコミュニティを確立する。

活動指標（サービスやイベントなどの実施内容）	対象者等	目標値	結果
市民等が講師となって茅ヶ崎を各論的に知ることができる動画（10本）の公開やコラム等ウェブサイトの充実、講座受講生による交流会の実施等を通して事業PRを行う。	市民	公開動画1本あたりの平均再生回数：600回	1. オリエンテーション **340回**（2017/7/26公開） 2. 茅ヶ崎と堤貝塚 **70回**（2018/3/10公開） 3. 茅ヶ崎の下寺尾官衙遺跡群 **62回**（2018/3/25公開） 4. 茅ヶ崎の田んぼと環境について（前編） **70回**（2018/3/25公開） 5. 茅ヶ崎の田んぼと環境について（後編） **69回**（2018/3/26公開） 6. 茅ヶ崎の映画史 **50回**（2018/3/27公開） 7. 茅ヶ崎と城山三郎 **41回**（2018/3/28公開） 8. 茅ヶ崎の社殿彫刻 **34回**（2018/3/28公開） 9. 茅ヶ崎と自転車 **32回**（2018/3/29公開） 10. 茅ヶ崎と浜降祭 **42回**（2018/3/29公開） ※修正があったため、再生回数は最新バージョンとそれ以前のバージョンの合算となります。また、ブラウザ上での閲覧もあるため、各ページの閲覧数も合算しています。

受益者評価の目標値

評価手法	対象者等	目標値
ウェブサイト通算訪問回数（セッション数）の計測	ウェブサイト利用者	10,000回

受益者評価ができない場合、その理由を記入してください。

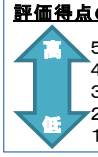
中間評価

中間評価

各項目の評価

下記の評価項目について、1点から5点の評価または、設問に沿ったコメントを記入してください。

評価得点の目安



5点・・事業実施前の想定をはるかに良い方向に上回った
4点・・事業実施前の想定をやや良い方向に上回った
3点・・事業実施前に想定した範囲の評価であった
2点・・事業実施前の想定より評価がやや低いと感じられた
1点・・事業実施前の想定より評価がはるかに低いと感じられた

協働プロセス

相乗効果	評価点数・団体	評価点数・行政
1. それぞれが単独で行うよりも大きな効果を得ることができていますか	5 ↑ 1点から5点を記入	5 ↑ 1点から5点を記入

事業内容の評価

事業の進捗状況	評価点数・団体	評価点数・行政
2. 事業は計画通りに進捗していますか	3 ↑ 1点から5点を記入	2 ↑ 1点から5点を記入
1点及び2点と評価した場合、理由を記入してください→	↑コメントを記入してください	市民を講師として撮影する際、動画撮影等のプロセスに慣れていないため、想定より時間がかかっているため。 ↑コメントを記入してください

事業手法の妥当性	評価点数・団体	評価点数・行政
3. この事業を協働という事業手法で行うことが最善であると感じましたか	5 ↑ 1点から5点を記入	5 ↑ 1点から5点を記入
そのように感じる理由を記入してください→	担当課の保有する優れたコンテンツを、団体が得意とする手法で提供することができるのは、協働事業ならではだと思います。また、実践したいという想いや意欲もお互いに同じように持っており、目的もしっかりと共有できています。 ↑コメントを記入してください	昨年度同様、本事業において協働という事業手法が最善であることを実感しています。市民団体・行政とも、それぞれが持っている強みや活用できるコンテンツを活かし、お互いを補完し合って事業に取り組んでいるからです。 ↑コメントを記入してください

事業手法の妥当性	評価点数・団体	評価点数・行政
4. 事業を実施する事により市民の満足度を高めることができそうであると感じますか	5 ↑ 1点から5点を記入	5 ↑ 1点から5点を記入
そのように感じる理由を記入してください→	これまで無かったものを作り出したという意味で、これまで行き届かなかった市民へ情報を届けることができるため、満足度は高まると考えます。また、すでに情報が届いていた市民にとっても、違う手法で届けることができるため、選択肢が広がり、満足度は更に高まると考えています。 ↑コメントを記入してください	時間的・物理的事情等により住んでいるまちを知ることが叶わない方だけでなく漠然と学びたいという潜在的ニーズにも応えることができるサービスだと考えます。「住まうまちについて知る機会が、もっとも開かれているまち・茅ヶ崎」を体現するものとして、経常的に取り組むことで市民の満足度を高めていくことができると感じています。 ↑コメントを記入してください

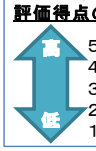
期末評価

期末評価について

各項目の評価

下記の評価項目について、1点から5点の評価または、設問に沿ったコメントを記入してください。

評価得点の目安



5点・・事業実施前の想定をはるかに良い方向に上回った
4点・・事業実施前の想定をやや良い方向に上回った
3点・・事業実施前に想定した範囲の評価であった
2点・・事業実施前の想定より評価がやや低いと感じられた
1点・・事業実施前の想定より評価がはるかに低いと感じられた

協働プロセス

目的共有	評価点数・団体	評価点数・行政
1. 事業内容は共有できましたか	5 ↑ 1点から5点を記入	5 ↑ 1点から5点を記入

役割分担	評価点数・団体	評価点数・行政
2. 協定書で定めた役割分担は適正でしたか	5 ↑ 1点から5点を記入	5 ↑ 1点から5点を記入

対等性と相互理解	評価点数・団体	評価点数・行政
3. 対等な関係で意見交換や事業を推進することができましたか	5 ↑ 1点から5点を記入	5 ↑ 1点から5点を記入

自主性と自立性	評価点数・団体	評価点数・行政
4. 互いの立場、役割を理解して事業を進めることができましたか	5 ↑ 1点から5点を記入	5 ↑ 1点から5点を記入

透明性と公開性	評価点数・団体	評価点数・行政
5. 事業に関する情報を広く公開し、事業の状況を周知することができましたか	4 ↑ 1点から5点を記入	4 ↑ 1点から5点を記入

相乗効果	評価点数・団体	評価点数・行政
6. それぞれが単独で行うよりも大きな効果を得ることができましたか	5 ↑ 1点から5点を記入	5 ↑ 1点から5点を記入

協働プロセスの総合評価	評価点数・団体	評価点数・行政
7. 1～6の視点で、協働プロセスを総合的に評価してください	5 ↑ 1点から5点を記入	5 ↑ 1点から5点を記入

最終評価	A 左のA～Eを記入
最終評価の理由や根拠などを記入してください	「協働の原則」のもと事業の成果をあげることができたと評価できます。それは、事業の目的や役割をお互い共有したうえで、お互いの特性を生かした役割分担ができ、行政が担うことができる領域を超えたサービスの提供を実現することができているからです。

A:十分達成できた　B:ほぼ達成できた　C:課題も残ったが概ね達成できた　D:あまり達成できなかった　E:ほとんど達成できなかった

事業内容の評価

事業目的目標達成度	評価点数・団体	評価点数・行政
1．事業計画に記載した事業目的は達成できましたか	4 ↑ 1点から5点を記入	4 ↑ 1点から5点を記入
2．評価書で設定した成果目標は達成できましたか	3 ↑ 1点から5点を記入	3 ↑ 1点から5点を記入

事業スケジュール	評価点数・団体	評価点数・行政
3．事業計画書のスケジュールどおりに実施できましたか	2 ↑ 1点から5点を記入	2 ↑ 1点から5点を記入

事業手法の妥当性	評価点数・団体	評価点数・行政
4．この事業を協働という事業手法で行うことが最善であると感じましたか	5 ↑ 1点から5点を記入	5 ↑ 1点から5点を記入
そのように感じる理由を記入してください→	市民にとってメリットのあるサービスを協働で行うことで、市民目線でサービスの向上に向けた具体的な施策を実施でき、かつ、行政のもつコンテンツを最大限に活かすことができたと感じているためです。 ↑コメントを記入してください	団体のもつノウハウと行政のもつコンテンツが合わさることで、「住まうまちのことを知りたい」という市民ニーズに広く応えるサービスを提供することができていると感じるからです。 ↑コメントを記入してください

市民（受益者）満足度	評価点数・団体	評価点数・行政
5．サービスの受け手となる市民のニーズや意見、その他情報収集に努めましたか	3 ↑ 1点から5点を記入	3 ↑ 1点から5点を記入
6．事業を実施した事により市民満足度は高まったと感じますか	4 ↑ 1点から5点を記入	4 ↑ 1点から5点を記入
そのように感じる理由を記入してください→	実際に見た方からの声（耳の不自由な方など）があり、非常に役にたっていることを実感しました。また、スケジュール的に基礎講座に参加できない方がMaruhaku TVを閲覧し、その旨のご連絡を頂いたことも具体的な手応えとなりました。 ↑コメントを記入してください	様々な理由で講座に参加できない方からの問い合わせや、耳の不自由な方へ講座を実施した経験から、本事業がより広く市民のニーズに応える事業であると感じたからです。 ↑コメントを記入してください

事業内容の総合評価	評価点数・団体	評価点数・行政
7．1～6の視点で、事業内容を総合的に評価してください	4 ↑ 1点から5点を記入	4 ↑ 1点から5点を記入

予算の妥当性	評価点数・団体	評価点数・行政
8．事業を進める上、当初設定した予算は、想定よりも有効に活用されたと感じますか	4 ↑ 1点から5点を記入	4 ↑ 1点から5点を記入

最終評価	B 左のA～Eを記入	A：十分達成できた　B:ほぼ達成できた　C:課題も残ったが概ね達成できた　D:あまり達成できなかった　E:ほとんど達成できなかった
最終評価の理由を記入してください	本事業への評価は、将来にわたって市民に利用されることでより高くなる性質ものです。2年間の協働事業で得た成果が一過性のものとならないよう、可能な限り提供し続けていきたいです。30年度は委託事業として事業継続となっています。	

行政提案型　９　落書き防止、抑制のためのペイント事業
（ＮＰＯ法人湘南スタイル・広域事業政策課）

協働推進事業実績報告書

2018年4月23日

（あて先）茅ヶ崎市長

所在地
提出者　名称　特定非営利活動法人　湘南スタイル
代表者氏名　理事長　藁品孝久　印

平成29年度（行政提案型・市民提案型）協働推進事業の実績について、次のとおり報告します。

事業の名称	落書き防止、抑制のためのペイント事業
担当課名	茅ヶ崎市企画部広域事業政策課
事業の内容等	別紙「協働推進事業実施結果」のとおり

※この実績報告書には、収支決算書及び最終評価（当事者評価後の協議を含む）終了後の協働事業評価書を添付してください。

※実績報告書の内容については、協働事業評価書の内容とともに、事業実施の翌年度５月から６月に開催する協働推進事業報告会で発表していただくことになります。

協働推進事業実施結果

事業の実施内容 ※できるだけ具体的に記入してください。	事業実施に当たっては、茅ヶ崎市とNPO法人湘南スタイル、そして地域コミュニティコーディネーターとアーティストコーディネーターで月1の定例打合せと、必要があれば臨時に打ち合わせを行うことで情報共有を図りながら進めてきた。 **1期目：茅ヶ崎中央インター交差点西側地下道のアートペイント**

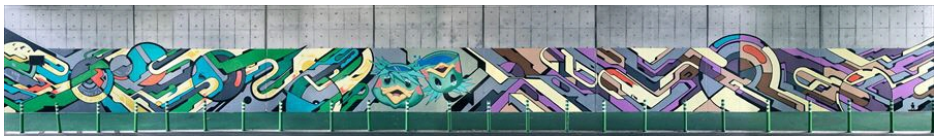
2017年2月からのペイント作業を継続して進めた。

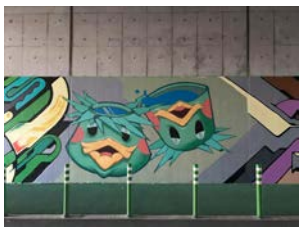
監修：加藤翔麗　　背景：森今日子　　キャラ:佐々木貴行

5月21日には、地元を中心に親子連れ20名程度による全面二度塗り作業を行い、浜之郷小児童だけでなく、地元の方々により関わっていただく形でのアートペイントになるように努めた。

6月初頭に完成し、6月24日に、西久保自治会、（仮称）河童徳利ひろば準備委員会、西久保小学校5年生（2017年4月で進級）を招いて完成披露式典を開催した。その式典には、地元の方や西久保小学校5年生と担任教員と保護者70名程度の参加の下、茅ヶ崎市議会議長、浜之郷小学校校長、西久保自治会副会長、（仮称）河童徳利ひろば準備委員会委員長に来賓あいさつをいただいたのち、完成したアートペイントを見学した。

2期目：小出川西久保橋東側地下道のアートペイント





※ペイント案と実施時期の変更について

当初は、9月～11月で完成をさせる予定であったが、8月下旬に担当アーティストが急遽どうしてもできない事情が発生してしまい、アーティストの変更を行った。

これにともないペイント案も変更することとなり、まずは、アーティストとNPO法人湘南スタイルで案の検討を行い、その後、広域事業政策課と話し合を経て、その案について広域事業政策課を通して、西久保自治会そして浜之郷小5年生にも了解を得て、アート案を決定した。

このアーティスト変更とペイント案変更からその確定を9月下旬から10月いっぱいかけて行った。

2期目のアート篇と作業を12月中旬から開始した。場所が車の通行量もあり、大型も通行することや、人がどうにか通ることのできる路側帯しかないことから安全を考えて、1期目のように浜之郷小の児童や地域の方にも参加していただいてアートペイントを行う形はせず、アーティストだけで行う形で進行し、雪が降るという悪条件もある中、2月頭に完成し、完成したことをNPO法人湘南スタイルHPや、FBページ、そして広域事業政策課を通して地元西久保の皆様に伝えた。

完成後について

1期、2期とも完成後にそれぞれに銘板を設置するとともに、落書き防止や抑制の効果があるかということを確認するため、現場に赴き、落書きがないことを確認した。

	広報・発信活動について 日常的には、『「民話河童徳利伝説」を題材にした壁アート』と題したFBページでペイント作業模様や式典などの進捗報告を行った。 1期目と2期目の完成報告をNPO法人湘南スタイルHPにて行った。 つるみね地区＋茅ヶ崎西地区のフリーペーパー「T－STYLE」において平成30年3月号まで毎月進捗コラムを掲載 しんぶん「赤旗」に、アーティスト特集で担当アーティストが掲載。 YOKOHAMA WALKER　2017年7月号の「神奈川新『聖地』」で、神奈川の民話の新聖地のひとつとして掲載。 6月24日の完成披露式典が、タウンニュース茅ヶ崎版に掲載され、JCOM湘南でその模様が放映された。 8月19日　茅ヶ崎市内の早稲田大学OB会の茅ヶ崎稲門会の方をご案内し、その模様が、茅ヶ崎稲門会の会報に掲載された。 小学校向けの図画工作の教科書会社より、この取り組みを掲載したいとの話を受け、仲介・調整対応を広域事業政策課と共に行った。 ※2020年4月以降の図画工作の教科書にこのアートペイントが掲載される方向で話が進んでいる状況（ただし、文部科学省の検定中のため未確定）。
事業の参加者等	NPO法人湘南スタイル NPO法人アーバンデザインセンター・茅ヶ崎：地域コミュニティコーディネーター NPO法人3F Communication Service：アーティストコーディネーター アーティスト（加藤翔麗・森今日子・佐々木貴行く・佐川友星） 西久保自治会 （仮称）河童徳利ひろば準備委員会 浜之郷小学校　5年生全3クラス 三堀園（駐車場・ペンキなどの器材置き場提供） T-STYLE（アートペイント進捗のコラム掲載）

実施日程等	茅ヶ崎市・NPO法人湘南スタイル・地域コミュニティコーディネーター・アーティストコーディネーター・アーティスト合同会議：全11回 （4月25日、5月18日、6月12日、7月3日、8月24日、9月28日、10月6日、12月13日、1月23日、2月15日、3月19日） 1期目（茅ヶ崎中央インター交差点西側地下道のアートペイント） 工期：2017年2月6日～2017年6月4日 親子二度塗り作業：5月21日 しんぶん「赤旗」取材対応：5月21日 1期目お披露目式典：6月24日 YOKOHAMAWALKER 取材対応：6月1日 図工教科書会社対応：7月14日、10月11日、3月23日 茅ヶ崎稲門会案内対応：8月19日 2期目（小出川西久保橋東側地下道） アーティスト変更対応：8月22日、8月28日 ペイント案変更対応：9月下旬から10月末 工期：12月20日～2月8日 事業報告書作成　1月～2月末日 1期・2期地下道完成銘板設置対応：3月18日

収 支 決 算 書

協働推進事業費
（総事業費）　1,821,000　円

（収　入）　（円単位）

区　分	当初予算額	決算額	内訳（内容、数量、単価など）
A　委託料または負担金の額	1,821,000	1,821,000	市の支出金
B NPO 法人湘南ｽﾀｲﾙ負担金	11,000	0	
C			
D			
E　収入合計額（A＋B＋C＋D）	1,832,000	1,821,000	

※収入欄には、市の支出金のほか、参加費、寄附金等の収入を記入して下さい。

（支　出）　（円単位）

区　分	当初予算額	決算額	内訳（内容、数量、単価など）
F　人件費	652,000	699,500	事業総責任者賃金2,500円/ｈ×55ｈ＝137,500円 PJ責任者賃金2,000円/h×147＝294,000円 Web制作・フェイスブック掲載：2,000円/ｈ×10ｈ/月×8ヶ月＝160,000円、 作業写真撮影・清掃：1,200円/ｈ×3ｈ/日×10日＝36,000円 事務局賃金：1,000円/ｈ×72ｈ＝72,000円
G　謝金	600,000	587,500	地域コミュニティコーディネート：地域調整 1,500円/ｈ×25ｈ＝37,500円 アーチストコーディネート：打合せ・調整 10,000円/日×5日＝50,000円 アートペイント実施アーチスト謝金： 10,000円/日×50人日＝500,000円
H　旅費交通費	14,000	12,000	PJリーダー1,000円/月×12ヶ月＝12,000円
I　通信運搬費	6,000	6,530	500 円/月×12 か月 横浜ウォーカー：アート記事取材雑誌購入 530 円
J　印刷製本費	40,000	80,000	報告書作成印刷製本費：A4カラー20頁・2部
K　物品費	360,000	264,704	下地調整剤2液型シーラ＝12,960円 描画用屋外水性塗料　調色各色@11,340円×10＝113,400円 養生材（マスカー・テープ・シート等）一式

			＝15,120円 描画用資材（サゲツ・バケット・カートリッジ等）一式＝12,960円 描画用筆、ハケ、ローラ―等一式：37,800円 アルミ伸縮足場板21,600円 資材購入振込料432円 説明看板2か所：50,432円
L　賃借料		23,760	会議費チガラボ
M　一般管理費	160,000	147,006	直接事業費×10%、(レーザー墨だし器等購入費)
N　支出合計額 (FからMまで)	1,832,000	1,821,000	

協働事業評価書

事業名	落書き防止、抑制のためのペイント事業
団体名	NPO法人湘南スタイル
担当課名	企画部広域事業政策課

目標の設定

事業実施前に、事業の実施により達成する目標や、受益者評価の目標を設定してください。

成果目標

各項目については、実施団体と担当課が協議の上で決定してください。

目標とする成果（何がどう変化することを目指すのかを記入してください。）
激しく落書が施されている西久保地下道において、アートペイントを施すことによって、落書き防止・抑制の効果を出すことと、2か所の地下道近くに、将来、（仮称）河童徳利ひろばを整備する計画があることに合わせて、地元の民話「河童徳利」を広く浸透させ、地域の魅力アップ、地域活性化に寄与すること。

活動指標（サービスやイベントなどの実施内容）	対象者等	目標値	結果
ペイントの実施	地下道 （2か所）	H30.3	地下道に目標どおり ペイントを実施した

受益者評価の目標値

評価手法	対象者等	目標値

受益者評価ができない場合、その理由を記入してください。
落書きの防止・抑制の直接的な受益者は道路管理者であり、道路管理者にとって当該事業が効果があったか、すなわち、落書きをされる回数が減ったか、落書きをされる面積が減ったかといった当該事業の目的達成の評価は事業実施後となるため。また、地域の魅力アップ、地域活性化への寄与についても当該事業単独ではなく、今後予定されている他の事業と一体的に発揮されるため。

中間評価

中間評価

各項目の評価

下記の評価項目について、1点から5点の評価または、設問に沿ったコメントを記入してください。

評価得点の目安

5点・・事業実施前の想定をはるかに良い方向に上回った
4点・・事業実施前の想定をやや良い方向に上回った
3点・・事業実施前に想定した範囲の評価であった
2点・・事業実施前の想定より評価がやや低いと感じられた
1点・・事業実施前の想定より評価がはるかに低いと感じられた

協働プロセス

相乗効果	評価点数・団体	評価点数・行政
1. それぞれが単独で行うよりも大きな効果を得ることができていますか	3	3
	↑　1点から5点を記入	↑　1点から5点を記入

事業内容の評価

事業の進捗状況	評価点数・団体	評価点数・行政
2. 事業は計画通りに進捗していますか	2	2
	↑　1点から5点を記入	↑　1点から5点を記入
1点及び2点と評価した場合、理由を記入してください→	1ヶ所目は予定通り進捗したが、2ヶ所目が担当アーティストを変更せざる得ない事情が発生し、そのため内部調整や地元調整に時間がかかり、開始が遅れることになったため	1ヶ所目は予定通り進捗したが、2ヶ所目が担当アーティストを変更せざる得ない事情が発生し、そのため内部調整や地元調整に時間がかかり、開始が遅れることになったため
	↑コメントを記入してください	↑コメントを記入してください

事業手法の妥当性	評価点数・団体	評価点数・行政
3. この事業を協働という事業手法で行うことが最善であると感じましたか	4	5
	↑　1点から5点を記入	↑　1点から5点を記入
そのように感じる理由を記入してください→	市との協働推進事業であるという信頼感は、地元自治会や小学校、そして警察との調整において大きな力となり、NPOだけではスムーズに運ぶことが困難であると考えられるため	アーティストの特徴などを把握し、選定するなど市でノウハウがない事柄に対し、協働団体が力を発揮しているため。
	↑コメントを記入してください	↑コメントを記入してください

事業手法の妥当性	評価点数・団体	評価点数・行政
4. 事業を実施する事により市民の満足度を高めることができそうであると感じますか	5	4
	↑　1点から5点を記入	↑　1点から5点を記入
そのように感じる理由を記入してください→	第1期目のペイントで地元小学生も作業に関わり、春休みなどでも手伝いに来てくれたことや式典には地元自治会や河童徳利に関わる方々、地元小学生も参加してくれた様子や横浜ウォーカーなどにも掲載された注目度から	地元の協力や広く事業のPRができ、当事業単体では関係者からの満足度も高いと認識している。 施工後の落書き抑制効果の検証と今後、河童徳利関連で予定されている事業が無事完了したとき、更なる満足度を高めることができると考えたため「4」とした。
	↑コメントを記入してください	↑コメントを記入してください

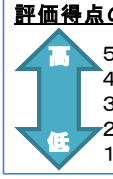
期末評価

期末評価について

各項目の評価

下記の評価項目について、1点から5点の評価または、設問に沿ったコメントを記入してください。

評価得点の目安



5点・・事業実施前の想定をはるかに良い方向に上回った
4点・・事業実施前の想定をやや良い方向に上回った
3点・・事業実施前に想定した範囲の評価であった
2点・・事業実施前の想定より評価がやや低いと感じられた
1点・・事業実施前の想定より評価がはるかに低いと感じられた

協働プロセス

目的共有	評価点数・団体	評価点数・行政
1. 事業内容は共有できましたか	4 ↑ 1点から5点を記入	4 ↑ 1点から5点を記入

役割分担	評価点数・団体	評価点数・行政
2. 協定書で定めた役割分担は適正でしたか	3 ↑ 1点から5点を記入	3 ↑ 1点から5点を記入

対等性と相互理解	評価点数・団体	評価点数・行政
3. 対等な関係で意見交換や事業を推進することができましたか	3 ↑ 1点から5点を記入	3 ↑ 1点から5点を記入

自主性と自立性	評価点数・団体	評価点数・行政
4. 互いの立場、役割を理解して事業を進めることができましたか	3 ↑ 1点から5点を記入	4 ↑ 1点から5点を記入

透明性と公開性	評価点数・団体	評価点数・行政
5. 事業に関する情報を広く公開し、事業の状況を周知することができましたか	4 ↑ 1点から5点を記入	3 ↑ 1点から5点を記入

相乗効果	評価点数・団体	評価点数・行政
6. それぞれが単独で行うよりも大きな効果を得ることができましたか	5 ↑ 1点から5点を記入	5 ↑ 1点から5点を記入

協働プロセスの総合評価	評価点数・団体	評価点数・行政
7. 1～6の視点で、協働プロセスを総合的に評価してください	4 ↑ 1点から5点を記入	4 ↑ 1点から5点を記入

最終評価	B 左のA～Eを記入
最終評価の理由や根拠などを記入してください	市そしてコーディネーターとも毎月打ち合わせを重ねることで情報を共有し、それぞれが果たすべき役割を認識し、それぞれの強みを活かし、弱みを補完し合い、無事に大きな問題もなく行うことができたため

A:十分達成できた　B:ほぼ達成できた　C:課題も残ったが概ね達成できた　D:あまり達成できなかった　E:ほとんど達成できなかった

事業内容の評価

事業目的目標達成度	評価点数・団体	評価点数・行政
1. 事業計画に記載した事業目的は達成できましたか	3 ↑ 1点から5点を記入	3 ↑ 1点から5点を記入
2. 評価書で設定した成果目標は達成できましたか	3 ↑ 1点から5点を記入	3 ↑ 1点から5点を記入

事業スケジュール	評価点数・団体	評価点数・行政
3. 事業計画書のスケジュールどおりに実施できましたか	2 ↑ 1点から5点を記入	3 ↑ 1点から5点を記入

事業手法の妥当性	評価点数・団体	評価点数・行政
4. この事業を協働という事業手法で行うことが最善であると感じましたか	5 ↑ 1点から5点を記入	5 ↑ 1点から5点を記入
そのように感じる理由を記入してください→	協働したからこそ、地元にも入っていくことができ、リスケの際の地元調整、アートペイントのための道路使用の手続きなどがとてもスムーズに進行したため ↑コメントを記入してください	アーティストの選定や調整等協働団体が得意とする分野と、地元調整や各種手続き等行政が得意とする分野について、それぞれお互いの強みを活かして事業を完了することができたから。 ↑コメントを記入してください

市民（受益者）満足度	評価点数・団体	評価点数・行政
5. サービスの受け手となる市民のニーズや意見、その他情報収集に努めましたか	3 ↑ 1点から5点を記入	3 ↑ 1点から5点を記入
6. 事業を実施した事により市民満足度は高まったと感じますか	3 ↑ 1点から5点を記入	4 ↑ 1点から5点を記入
そのように感じる理由を記入してください→	関わってくれた浜之郷小学校の児童たちからもらったアンケートなどから満足度が高まったと思われる。 ↑コメントを記入してください	地元に伝わる民話を題材としたペイント事業を実施したことにより、今後落書き防止・抑制の効果が期待できるし、地域の魅力アップや活性化にも貢献したと考えられるから。 ↑コメントを記入してください

事業内容の総合評価	評価点数・団体	評価点数・行政
7. 1～6の視点で、事業内容を総合的に評価してください	3 ↑ 1点から5点を記入	4 ↑ 1点から5点を記入

予算の妥当性	評価点数・団体	評価点数・行政
8. 事業を進める上、当初設定した予算は、想定よりも有効に活用されたと感じますか	3 ↑ 1点から5点を記入	3 ↑ 1点から5点を記入

最終評価	B 左のA～Eを記入
最終評価の理由を記入してください	ペイント案の決定からペイント作業において地元の浜之郷小4年生に関わってもらうことができ、1期目の完成式典においても5年生に進級しても来てくれたことや、その後も地元の親子連れなどにもペイント作業に参加していただけたことや、地元紙だけでなく、横浜ウォーカーや図工の教科書などにも掲載される方向で、広く発信することができたと考えられることや、現時点では落書きもされていないことから抑制・防止効果もあったと判断できるため

A：十分達成できた　B:ほぼ達成できた　C:課題も残ったが概ね達成できた　D:あまり達成できなかった　E:ほとんど達成できなかった

市民提案型

１０　子育て世代のための生涯学習交流サロンＴｓｕ・ｍｕ・ｇｕちがさき

（マム０４・文化生涯学習課）

協働推進事業実績報告書

３０年５月２日

（あて先）茅ヶ崎市長

所在地
提出者　名称　　マム04
代表者氏名　浜田　美紀

平成29年度（行政提案型・市民提案型）協働推進事業の実績について、次のとおり報告します。

事業の名称	子育て世代のための生涯学習交流サロンTsu・mu・ｇuちがさき
担当課名	文化生涯学習課
事業の内容等	別紙「協働推進事業実施結果」のとおり

※この実績報告書には、収支決算書及び最終評価（当事者評価後の協議を含む）終了後の協働事業評価書を添付してください。

※実績報告書の内容については、協働事業評価書の内容とともに、事業実施の翌年度５月から６月に開催する協働推進事業報告会で発表していただくことになります。

協働推進事業実施結果

<table>
<tr><td>事業の実施内容</td><td>

目的）
子育て世代が悩みや不安を感じながらも孤立してしまう状況を改善し､子育てを楽しみ､更に子育て世代は地域の担い手であり､地域や社会と関わる事が出来るという環境を感じる事のできる機会作り。
また､地域や社会での担い手である事を気付く事の出来る機会作りと､活躍している方々との出逢いの場の提供をする。

手法）
月１回のサロンの開催。
学びの場、仲間作り、情報交換、自己発見の時間を提供。
サロンでは､子育て世代が必要である知識やリラックスした時間の提案ができる生涯学習講座の時間。 参加者と同じ子育て中であるマム04スタッフをファシリテーターとした座談会の時間。の開催。

各月の講座内容と会場）
４月　ママのヨガピラティス　　ハマミーナまなびプラザ　体育館
５月　親子英語リトミック　　いこりあ　大会議室
６月　アロマ虫よけ作り　ハマミーナまなびプラザ　調理室・会議室
７月　運動能力向上プロジェクト　ハマミーナまなびプラザ　体育館
８月　茅ヶ崎再発見講座　　ハマミーナまなびプラザ　体育館
９月　ベビータッチケア　　いこりあ　大会議室
10月　ふれあいアートデイキャンプ　柳島キャンプ場
11月　食育講座　　ハマミーナまなびプラザ　調理室・会議室
12月　キッズアート　　ふらっとパル
１月　ベビーヨガ　　いこりあ　大会議室
２月　療育講演　　高砂コミュニティセンター　ホール
３月　子連れ防災　　いこりあ　大会議室

</td></tr>
<tr><td>事業の参加者等</td><td>

年間参加数　217組親子。　リピート申込数　60組。

	対象者	申込数	参加数
４月	子育て中の母親	11組	8組
５月	0～5才の子と家族	28組	21組
６月	1～5才の子と家族	24組	22組
７月	3～12才の子と家族	84組	35組

</td></tr>
</table>

	８月　**6～12才の子と家族**　10組　9組 ９月　**0～1才の子と家族**　**29**組　19組 10月　子育て中の家族と関心のある方　32組　22組 11月　子育て中の家族と関心のある方　19組　14組 12月　**1～6才の子と家族**　24組　18組 １月　**0～1才の子を持つ家族**　19組　15組 ２月　子育て中の家族と関心のある方　20組　18組 ３月　子育て中の家族と関心のある方　22組　16組
実施日程等	**サロン開催日程と、利用者アンケート・スタッフ当日報告・ミーティング録の抜粋** 【4月24日（月）】 ・仕事復帰前にリラックスができました。広い場所でヨガができて楽しかったです。また参加したいです。（アンケート） ・座談会の充実の為、受付時に移住地区も確認する事とした。 ・会場中央をキッズスペースとした事で子も母も安心できる環境となったと共に、子同士の関わりや自身の子以外の行動が見られるというメリットがあった。 ・同じ母の立場で活躍している講師の姿は、参加者の励みや意欲に繋がっている。 ・座談会中、育休が明ける参加者から、緊張の日々の中リラックスできる時間を過ごす事ができた。という言葉があった。母業の環境の変化、それぞれが抱える不安や悩みは様々であるが、共通する母という立場で励まし合える当事業の役割の重要性を感じられた。（報告） ・スタッフが市内状況の把握が出来ている事が座談会の充実に繋がる。各スタッフの意識と知識を高める。 ・各サロン運営には、スタッフ・担当課・講師・会場の情報共有が必須。各サロンの責任者は、各打合せの充実とサロン前日に講師・会場へのリマインドを行なう。（ミーティング） 【5月18日（木）】 ・同じくらいの子供を持つ方々と出会えて良かった。 ・下の子がもう少し手がかからなくなったら仕事や地域活動にも参加したいです。（アンケート） ・会場が良い広さだった事で、関心が他に向いた子や、疲れてグズる子も居たが、会場の統一感あり、気分が戻る良い状況になった。（報告） ・住まい地域の近い環境グループで分けた座談を行なった。スタッフは、グ

	ループ分けや会場の設営の手間が増えるが、参加者同士の交友等、座談会の充実が見込める事の把握をした。座談会の時間は、子達が疲れ飽きる時間なので玩具等の準備をする。（ミーティング） 【6月20日（火）】 ・先生が出産されてから新たに勉強している事、見習いたいと思いました。 ・託児付きだと落ち着いて勉強できる。（アンケート） ・講師用意の資料に多くの方がメモとりながら参加する姿から、充実した関心高い講座であった事が判った。 ・季節に合った良い講座内容であったと思う。（報告） ・子連れ参加に優しい会場設営は、今後の活動意識を高める事に繋がる。意識と優しさも持った会場設営をする。（ミーティング） 【7月8日（土）】 ・参加人数が多かった。少人数でしっかり教わりたかった。 ・もう少し質問しやすい環境があればと思います。（アンケート） ・関心の高い内容で申込日０時より申込み殺到し９時で満員となった。満員の為に参加を断る際に、講師活動で同様の講座が受講できる事をアナウンスした。 ・年齢枠と参加者が多い講座となったが、参加保護者が学ぶ事で子も技術の習得が出来る事。また、新たな子と保護者を繋ぐツールとしても使って貰える事を伝えた。 （報告） ・返信が届かないという問い合わせがあった、今後の返信には受信確認のメールを依頼する。 ・動画の撮影の希望があった。事前に講師の許可をとり、SNS投稿等への配慮をアナウンスする事とする。 ・質問や意見を出して貰える環境作りの為、今回は省略してしまったグループワークは必須と再確認。（ミーティング） 【8月7日（月）】 ・親子で1つのことに取り組める機会と学びの場を与えていただけたことに感謝します。（アンケート） ・小学生親子を対象とした講座の為、講座内容を深める事を意図とし座談会無し。講座内に自己紹介と意見交換の機会を設けた。（報告） ・当初の予定参加者よりも少ない人数での開催だったが対象年齢を狭めての開催の希望がアンケートにあったが、参加者の兄弟へのフォローができた状況を考えると適正人数だったとも思える。（ミーティング）

	【9月26日（火）】 ・色々な情報交換ができて、実りあるひとときでした。 ・共働きの集まりがあると嬉しいです。（アンケート） ・満員で参加いただけない方へ団体イベントとして同世代に適したイベントを開催し、返信のメールで代替に案内した。 ・初のおでかけとなる参加者が多く、配慮が必要な１歳前の子とその保護者となる事から、講座と座談会を１時間で入れ替え制の10組１グループでの開催は適切であった。（報告） ・リラックスした会場設営は必須である。ベビーマットを増やす事や、受付等の動線に配慮していく事とする。（ミーティング） 【10月26日（木）】 ・コミュニティが大切だと思います。（アンケート） ・多世代交流を目指した活動には、メールのみの受付では、申込困難な方もいるという判断から、担当課にて電話受付を行う。電話申し込み７組。来年度は団体で電話対応できる環境を検討。（報告） ・今後の他世代交流イベントは世代別のチラシ作成をし、関連課に協力を求める事で参加者を増やす。（ミーティング） 【11月21日（火）】 ・親子で調理する時間が楽しかった。 ・出汁の採り方が学べて良かった。今後も続けます。（アンケート） ・後半、飽きた子が走り回る様子があったが、余裕ある会場設定とスタッフを３人に増員していた事で対応できた。 ・調理作業に入れない、また他の人に交代をお願いし辛く抜けられない。等の分担が上手くいっていない状況が見受けられた、今後は更に作業分担しやすい会場や行程の配慮をする。（報告） ・友人同士のグループに1人参加者が入ってしまい居心地が悪そうだったので配慮が必要。 ・参加者にも、事前にサロンの流れが把握できている事が必要。模造紙やホワイトボードを使い、当日の流れを掲示する事とする。（ミーティング） 【12月6日（水）】 ・描く事だけでなく、子供の集団での学びがあった。 ・家でしてあげられない貴重な体験ができた。（アンケート） ・座談会を 10 人程度のグループに分けて行なう事で、月齢年齢も様々だったが、参加者同士で質問に答え合える環境となった。（報告） ・会場の安全性と子供が飽きない環境が、参加者保護者のリラックスした時間に繋がる。事前の準備は入念に行なう。（ミーティング）

【1月29日（月）】
・普段体を動かす事が出来ないので良かった。習ったポーズを家でもやります。他のお母さんと話せた事も気分転換になりました。　（アンケート）
・受付時に、今日の講座へ期待する事や講師への質問を記載してもらった。その事から、講座内容が身近なものとなる効果があった。　（報告）
・更に座談会が充実させたい。スタッフが進行させてきた状況から参加者同士で発言し合え、交流し合える環境作りをする。　（ミーティング）

【2月1日（木）】
・わかりやすく、改めて子育てについて考える時間となりました。今後の生活に取り入れます。　（アンケート）
・今回より座談時間の流れを、講座の感想や質問を付箋に記載→グループ内で発表し共有や話し合う→グループ代表者が会場全体に共有する事とした参加者同士のコミュニケーションと講座の振り返りが深まった。（報告）
・参加者の中には地域活動の担い手として活動したいと感じながら、どのように活動に加わったら良いかと動けずにいる人も多い。アンケートから汲み取り、当団体の地域協力者として活動に移してもらう。一歩を踏み出す事で更に活動への意欲が高められる様に、また当サロン運営の後継者を生む様にする。　（ミーティング）

【3月9日（金）】
・行動に移せる方法を教えて貰えたので、まずは防災リュックや備蓄品の見直しを始めます。　（アンケート）
・男女共同参画課の持つ託児システムを利用させてもらえた事で、参加者に落ち着いた環境での受講ができた。
・災害時支援者や災害への備えを促進する活動者など子育て世代以外の参加者もあった。グループワークの時間で地域の活動への意識を高める時間ともなった。　（報告）
・講師の経験から充実した講座となったが、打合せ不足から座談時間の短縮となった。最大の事業目的は学びを通じて地域との密着を図る事。改めて、打合せを充実させて、スタッフ・担当課・講師と事業目的に根差したサロン作りを行なっていく。　（ミーティング）

以上の内容より
◆受益者である子育て世代に、学びと交流の場を提供する目的を充実した結果となった。
◎１年目のアンケート結果から、講座内容を吟味した。
◎スタッフをファシリテーターとした座談会の形式を、グループワークに

	よる参加者に委ねる時間を設ける形式に変更する事とした。 →・更に学びと交流を深める結果になった。 ・事業運営に携わりたいと申し出る参加者が急増した。 →・参加者から地域協力者として活動してもらう事となった。（４人） ・参加者から講師として活動してもらう事となった。（１人） ◆団体と担当課の共有や意見交換の密度を増した。 ◎課題を両者から出し合う事ができた。 ◎課題解決に向けた両者の知見を発揮する結果を生んだ。 →・広報時期の改善や方法の多様化、電話受付等の導入。 ・他団体や企業、他課との連携を図った事業運営。 →・受益者へ平等な参加機会の提供が行なえた。 ・多世代との交流で地域力の発揮を促す結果と繋がった。 また、継続していく事で、子育て世代の充実した日々、意識の高い地域貢献者の育成に繋げる事ができる事業である事と考えています。 更なる展開も踏まえて、今後も事業成長にむかいたいと邁進します。

収 支 決 算 書

協働推進事業費

（総事業費）　　680,100　　円

（収　入）　　（円単位）

区　分	当初予算額	決算額	内訳（内容、数量、単価など）
A　茅ケ崎市負担金	547,000	547,000	協働推進事業負担金
B　　参加者負担金	125,000	133,100	参加者 500 円×参加 204 組（102,000 円） 実費材料費（31,100 円）
C　収入合計額 （A＋B）	672,000	680,100	

（支　出）　　（円単位）

区　分	当初予算額	決算額	内訳（内容、数量、単価など）
D　人件費	388,000	335,500	○運営定例スタッフ会議 85.50 人時×1000 円　＝　85,500 円 ○書類作成 38.25 人時×1000 円　＝　38,250 円 ○参加者窓口　　（申込み・問合せ窓口） 12.00 人時×1000 円　＝　12,000 円 ○参加者名簿管理（名簿データ管理・保険申請） 12.00 人時×1000 円　＝　12,000 円 ○サロン当日会場管理（会場管理・座談会運営） 89.25 人時×1000 円　＝　89,250 円 ○会計管理（会計集計・監査） 18,00 人時×1000 円　＝　18,000 円 ○担当課打合せ 8,00 人時×1000 円　＝　8,000 円 ○各打合せ 31,00 人時×1000 円　＝　31,000 円 ○事業管理（取材協力・web 管理・広報等） 41,50 人時×1000 円　＝　41,500 円
E　謝金	84,000	96,000	サロン講座講師宛て　3000 円×1 人　＝　3,000 円 5000 円×2 人　＝　10,000 円 7000 円×7 人　＝　49,000 円 30000 円×1 人　＝　30,000 円

			地域協力者宛て　　1000円×3回 ＝ 3,000円 500円×2回 ＝ 1,000円
F　旅費交通費	71,840	68,120	■スタッフ会議交通費　　計32,780円 720円×29回　780円× 8回　500円×7回 360円× 6回 ■サロン当日スタッフ交通費　　計15,950円 360円×10回　720円×10回　500円×4回 390円× 3回　780円× 1回　1200円×1回 ■運営管理スタッフ交通費　　計19,390円 360円×32回　720円× 5回　500円×3回 390円× 1回　800円× 1回　1580円×1回
G　通信運搬費	0	0	
H　印刷製本費	27,000	33,681	資料コピー代　932円　・コピー紙　2,751円　・インク代　29,998円 ■カラーコピー ○チラシ　（A４片面） 参加者宛て　280枚 子育て支援センター（4）・まちスポ・サポセン（4回×各20枚×6施設）　500枚 参加者人数不安時　230枚×3回　690枚 ○スタッフ名札（名刺）6人　35枚 ■白黒コピー ○参加者アンケート　280枚 ○スタッフ会議等運営資料　1800枚 ○担当課報告資料　80枚
I　物品費	25,000	76,817	○事務用品　14,143円 （領収書・ファイル・ラベルなど） ○サロン必要品　6,411円 （ネームタグ・衛生品・受付用品・講座必要品など） ○10月キャンプサロン　38,610円 （食材・エコバッグ作成材料など） ○11月食育サロン　8,920円 （食材・エコバッグ作成材料など） ○12月アートサロン　8,733円 （画材と衛生品など）
J　賃借料	0	0	
K　保険料	18,000	8,790	ボランティア行事保険28円×314人＝8,790円
L　一般管理費	58,000	61,192	D～k項目までの合計金額618,908円の10%以下
M　支出合計額 （DからLまで）	672,000	680,100	

協働事業評価書

事業名	子育て世代のための生涯学習交流サロンTsu・mu・guちがさき
団体名	マム04
担当課名	文化生涯学習部文化生涯学習課

目標の設定

事業実施前に、事業の実施により達成する目標や、受益者評価の目標を設定してください

成果目標

各項目については、実施団体と担当課が協議の上で決定してください。

目標とする成果（何がどう変化することを目指すのかを記入してください。）
交流サロンの開催で、学びの機会及び仲間づくりや活動の場を提供。また、交流サロンに参加した子育て世代の、学び・仲間作りや交流への意欲が増す事を目標とする。

活動指標（サービスやイベントなどの実施内容）	対象者等	目標値	結果
ア. サロンの年間開催数 イ. サロンの参加親子数 ウ. 参加リピート参加率	子育て中の親子	ア. 年間12回 イ. 年間200組 ウ. 50%	ア. 年間12回 イ. 年間217組 ウ. 33.6%

受益者評価の目標値

評価手法	対象者等	目標値	結果
（アンケート調査）事業に対する満足度	参加者		
1. 次回も交流サロンに参加したいと思う。	参加者	70%	91%
2. 参加により他の地域活動やイベントに参加意欲が増	参加者	70%	85%
3. 参加者同士や講師・スタッフと交流が出来た。	参加者	70%	68%

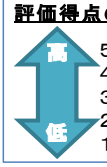
受益者評価ができない場合、その理由を記入してください。

中間評価

中間評価
各項目の評価

下記の評価項目について、1点から5点の評価または、設問に沿ったコメントを記入してください。

評価得点の目安



5点・・事業実施前の想定をはるかに良い方向に上回った
4点・・事業実施前の想定をやや良い方向に上回った
3点・・事業実施前に想定した範囲の評価であった
2点・・事業実施前の想定より評価がやや低いと感じられた
1点・・事業実施前の想定より評価がはるかに低いと感じられた

協働プロセス

相乗効果	評価点数・団体	評価点数・行政
1. それぞれが単独で行うよりも大きな効果を得ることができていますか	5	4 ↑ 1点から5点を記入

事業内容の評価

事業の進捗状況	評価点数・団体	評価点数・行政
1. 事業は計画通りに進捗しているか	4	3 ↑ 1点から5点を記入
1点及び2点と評価した場合、理由を記入してください→	↑コメントを記入してください	↑コメントを記入してください

事業手法の妥当性	評価点数・団体	評価点数・行政
3. この事業を協働という事業手法で行うことが最善であると感じましたか	4	4 ↑ 1点から5点を記入
そのように感じる理由を記入してください→	受益者と同じ立場である市内在住の母親達が活動する市民団体が運営する事で、受益者の声を反映し事業は伸展し、開催回数を重ねる毎に、受益者の満足度は上がっています。また受益者に正確で安心な情報の提供が行なえるのは、行政の持つ知見からの指導助言が必須である事から協働の意義を感じています。	マム04の構成員が現役子育て世代であることから、参加者の多くの割合を占める子育て世代のニーズが把握され、子育て世代が参加しやすいサロンの企画実施につながっている。また、マム04が市民団体としてこれまでイベント開催してきたスキルや情報は、参加者の新たな活動へとつながり、子育て世代の活躍の場の増加へと効果を上げていることが評価できる。 ↑コメントを記入してください

事業手法の妥当性	評価点数・団体	評価点数・行政
4. 事業を実施する事により市民の満足度は高めることができそうであると感じますか	4	4 ↑ 1点から5点を記入
そのように感じる理由を記入してください→	広報紙による事業の認知度が上がっています。更に受益者への認知度を上げる必要がありますが、参加者アンケートやサロン当日の声から、満足度が高い事、事業目的である学びや仲間作りへの意欲が増している事。事業への期待が高い事を実感しています。	今年度は子育て世代だけを対象とした講座でなく、茅ヶ崎に関する歴史講座やデイキャンプなどを、他課や他団体と共催で企画実施している。アンケートの結果からも、「茅ヶ崎のことを深く知ることが出来た」、「多世代交流が出来て嬉しかった」というような声が多くあり、交流サロンを通じて、他世代交流の場づくり、他の地域活動やイベントへの参加意欲の向上、茅ヶ崎市を知る機会の提供など、より幅広い市民を対象に満足度を高めることにつながっていることが高く評価できる。 ↑コメントを記入してください

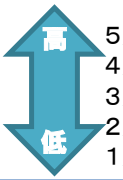
期末評価

期末評価について

各項目の評価

下記の評価項目について、1点から5点の評価または、設問に沿ったコメントを記入してください。

評価得点の目安



5点・・事業実施前の想定をはるかに良い方向に上回った
4点・・事業実施前の想定をやや良い方向に上回った
3点・・事業実施前に想定した範囲の評価であった
2点・・事業実施前の想定より評価がやや低いと感じられた
1点・・事業実施前の想定より評価がはるかに低いと感じられた

協働プロセス

目的共有	評価点数・団体	評価点数・行政
1. 事業内容は共有できましたか	5	5 ↑ 1点から5点を記入

役割分担	評価点数・団体	評価点数・行政
2. 協定書で定めた役割分担は適正でしたか	3	3 ↑ 1点から5点を記入

対等性と相互理解	評価点数・団体	評価点数・行政
3. 対等な関係で意見交換や事業を推進することができましたか	3	4 ↑ 1点から5点を記入

自主性と自立性	評価点数・団体	評価点数・行政
4. 互いの立場、役割を理解して事業を進めることができましたか	4	4 ↑ 1点から5点を記入

透明性と公開性	評価点数・団体	評価点数・行政
5. 事業に関する情報を広く公開し、事業の状況を周知することができましたか	3	3 ↑ 1点から5点を記入

相乗効果	評価点数・団体	評価点数・行政
6. それぞれが単独で行うよりも大きな効果を得ることができましたか	5	5 ↑ 1点から5点を記入

協働プロセスの総合評価	評価点数・団体	評価点数・行政
7. 1～6の視点で、協働プロセスを総合的に評価してください	4	4 ↑ 1点から5点を記入

最終評価	B 左のA～Eを記入

A:十分達成できた　B:ほぼ達成できた　C:課題も残ったが概ね達成できた　D:あまり達成できなかった　E:ほとんど達成できなかった

最終評価の理由や根拠などを記入してください	・団体員が子育て世代であることから、子育て世代が参加しやすいサロンの企画実施につながっている点、団体としての運営スキル・情報・他団体等とのコネクションの強みが、参加者の新たな活動へとつながり、子育て世代の活躍の場の増加へと効果を上げており、非常に相乗効果を感じている。【担当課意見】 ・事業目的を広げる事の出来た2年目である当年は、情報周知や申込方法を多様化させる必要が生じた事など課題も発生した。市民団体が支援事業とし担うには未熟である事を実感した。しかし、担当課との連携が出来ている事で、お互いの知見の共有や強みを活かす事による対応ができ、事業成長と成果は予想以上のものとなった。市民団体と行政の両方が携わる事での更なる事業の発展性を感じている。【団体意見】

事業内容の評価

事業目的目標達成度	評価点数・団体	評価点数・行政
1. 事業計画に記載した事業目的は達成できましたか	5	4 ↑ 1点から5点を記入
2. 評価書で設定した成果目標は達成できましたか	3	4 ↑ 1点から5点を記入

事業スケジュール	評価点数・団体	評価点数・行政
3. 事業計画書のスケジュールどおりに実施できましたか	3	3 ↑ 1点から5点を記入

事業手法の妥当性	評価点数・団体	評価点数・行政
4. この事業を協働という事業手法で行うことが最善であると感じましたか	4	4 ↑ 1点から5点を記入
そのように感じる理由を記入してください→	事業の必要性や受益者のニーズを開催回数が増える毎に知り課題が増えた。その対応には両者の知見が必須であった為。	マム04の構成員が現役子育て世代であることから、参加者の多くの割合を占める子育て世代のニーズが把握され、子育て世代が参加しやすいサロンの企画実施につながっている。また、マム04が市民団体としてこれまでイベント開催してきたスキルや情報は、参加者の新たな活動へとつながり、子育て世代の活躍の場の増加へと効果を上げていることが高く評価できる。 ↑コメントを記入してください

市民（受益者）満足度	評価点数・団体	評価点数・行政
5. サービスの受け手となる市民のニーズや意見、その他情報収集に努めましたか	4	4 ↑ 1点から5点を記入
6. 事業を実施した事により市民満足度は高まったと感じますか	4	4 ↑ 1点から5点を記入
そのように感じる理由を記入してください→	当日スタッフが受益者と生活が近い市民団体である事、またリラックスした環境作りを大切に考え運営した事から多くの声を聞き、その声の反映の為に行政の知見を活かす事ができた事をアンケートから実感します。	今年度は、他課や他団体と共催でサロンを実施したこと及び座談会での参加者同士の交流の時間を設けたことにより、多様な情報・多世代交流・地域住民との交流のきっかけなどを提供することができた。アンケート結果からも、地域活動等への参加意欲の向上、茅ヶ崎市を知る機会の提供について参加者より評価されており、幅広い市民を対象に満足度を高めることにつながっていることが高く評価できる。 ↑コメントを記入してください

事業内容の総合評価	評価点数・団体	評価点数・行政
7. 1～6の視点で、事業内容を総合的に評価してください	4	4 ↑ 1点から5点を記入

予算の妥当性	評価点数・団体	評価点数・行政
8. 事業を進める上、当初設定した予算は、想定よりも有効に活用されたと感じますか	3	3 ↑ 1点から5点を記入

最終評価	B 左のA～Eを記入

A：十分達成できた　B:ほぼ達成できた　C:課題も残ったが概ね達成できた　D:あま

最終評価の理由を記入してください	・リピート率が目標値に達しなかったが、サロンに参加した参加者が講師として活動をするきっかけになった実績や、地域活動等への参加意欲が増したという回答割合の高さより、概ね目標を達成することが出来た。【担当課意見】 ・行政が発信する情報は、本当に支援の必要な世帯に届ける事が出来る。それは市民団体の努力だけでは担えない。受益者のニーズに合った企画開催や受益者の声を深く聞くことが出来た事は市民団体が運営したからこそであり、どちらかだけでは成り立たない事業成果を成し遂げられた。しかし、双方の知識や認識の違いは多くあり、意見交換や知見共有には多くの時間が必要であった。この事業成果は1年満了では成り立たず、2年満了とさせて貰えたことが大きな事業成果に繋がっていると思う。事業目的である、子育て世代が地域活動の担い手として活き活きと活動できる地域作りには達していないのが現状であり、今後も更なる高みを目指し活動していく必要を感じているため。【団体意見】

市民提案型　１１　美術「みるっこ」プログラム事業

（ＮＰＯ法人赤ちゃんからのアートフレンドシップ協会・文化生涯学習課）

協働推進事業実績報告書

平成 30 年　5 月　1　日

（あて先）茅ヶ崎市長　様

所在地
提出者　名称　　NPO 法人　赤ちゃんからの
アートフレンドシップ協会
代表者氏名　冨田めぐみ　　印

平成 29 年度（行政提案型・市民提案型）協働推進事業の実績について、次のとおり報告します。

事業の名称	美術「みるっこ」プログラム事業
担当課名	文化生涯学習課
事業の内容等	別紙「協働推進事業実施結果」のとおり

※この実績報告書には、収支決算書及び最終評価（当事者評価後の協議を含む）終了後の協働事業評価書を添付してください。
※実績報告書の内容については、協働事業評価書の内容とともに、事業実施の翌年度５月から６月に開催する協働推進事業報告会で発表していただくことになります。

協働推進事業実施結果

事業の実施内容 ※できるだけ具体的に記入してください。	A：園児（年長クラス）対象の「鑑賞出張講座」 計 17 園 25 クラス実施。園児数 564 名、うち出席 514 名（詳細別添） 【実施の流れ】 申込方法やアンケート内容等の協議　→　申込書・アンケート等作成　→　市担当課より市内保育園・幼稚園の園長会にて事業周知　→　申込受付　→　参加園ごと打合せ　→　順次実施　→　アンケート集計 講座で見せる作品をパネル化。触れる作品の作成。 作家から作品を拝借及び返却。 【講座の内容】 園児 4～8 名程度にスタッフ 1 名ずつ担当し、グループで話し合う時間と、全体で内容を共有したり作品についての解説を聞く時間で構成。 B 事業で作成した冊子に掲載した作品 5 点をパネル化し、グループごとで間近に見ながら園児の発言を引き出す。園児の発言や反応をスタッフが記録する。 今年度の工夫として、取り上げた作品と同種手法の「さわれる作品」を作成（油絵）および拝借（日本画、版画）し、園児が触れる時間をとった。 マナーについてパネルと実演で説明し、理解を促した上で、作家から拝借した作品 3 点を間近で鑑賞する。 鑑賞した作品をヒントとした描画の時間をとる。今年度は植物が描かれている作品が多かったのと、より「五感」を喚起した内容にしたかったので「葉っぱ」をテーマとした。事前に園で葉を集めてもらい、みんなで集めた思いや講座を楽しみにする気持ちを喚起。当日は「さわる・においをかぐ・音をきく・みる」などを行った上で描いてもらい、色形など自由に描いてもらいつつ、数種類の技法も紹介した。 冊子は夏休み前に配布。秋からの講座時に「園にある冊子を見て、クラスの皆やお迎えに来たおうちの人とお話してくださいね」と伝えて終了。 【昨年度の課題改善】 昨年度終了時に挙げた募集についての改善方法を実行し、今年度は申込み開始 2 日で 20 クラス以上（25 クラス）申込みとなった。 【成果】 園の先生方からのアンケート結果（別添）の通り、とても好評だった。園児さんからも「また来てね！」と多数声をかけられた。今年度も、講座を受講した園児家族が C 事業の鑑賞会に参加する連動性があった。 船橋市教育委員会の学芸員さん（前職は東京都現代美術館）が見学、園に出向いて行う鑑賞教育は、他に例がないのではとのお話で、船橋市でも取り入れたいとのこと。先駆的な取り組みが実現できたことも協働のおかげと考える。 B：冊子「みるっこ GOGO 美術館！」制作 10,000 部作成し 9,724 部配布。残 276 部。今年度は市内全園児に配布。 28 年度分は年長児のみ配布し他は配架、残約 800 部。これを次年度に引き続き委託事業として実施される「鑑賞出張講座」の教材として配布予定。 配布先：市内保育園・幼稚園に通う全園児、園閲覧用、子育て支援センター、公民館、青少年会館、コミュニティーセンター等の公共施設（30 カ所）、子育て支援課・こども育成相談課窓口、美術館、本事業と当会が実施する鑑賞会参加者、他地域美術館など 【実施の流れ】 内容の協議　→　作品の写真データ借受について美術館と相談　→　市担当課より作家へ許諾確認　→　解説等の原稿作成　→　入稿、再校正等を経て完成、配布

	【昨年度の課題改善】 昨年度、当団体、市担当課、美術館のそれぞれ複数名が校正にあたったにもかかわらずミスプリントがあった点を改善するため、今年度は市担当課と当団体と集まって読み上げ確認をし、ミスプリントを予防した。 【成果】 今年度は夏休み前に全園児に配布することができた。冊子裏表紙の美術館情報欄に夏の「家族鑑賞会」日時を掲載したので、その募集にも効果を上げた。 アウトリーチとして小学校へ鑑賞教育を推進している船橋市教育委員会・美術館新設に向けた勉強会で、みるっこ冊子を7部配布。また小中学生向け鑑賞講座を実施している福井県文化振興課・職員兼講師の声かけによる勉強会へ10部提供。市外の教育機関へ少しではあるが広がり「公益性」の意味合いが拡大した。 【課題】 夏と春、2つの展覧会に出る作品が掲載されていたため冊子に掲載されている作品すべてを鑑賞会時に見ることができず、昨年度より冊子と展覧会の連動性が薄かった。そのためかアンケート「冊子が配布されて良かったか」の問いに「普通」が多い結果となった。また秋から冬の「鑑賞出張講座」時、園で冊子についてご記憶が薄く、昨年のように講座時に手渡した方が、インパクトが大きく、冊子をもらう喜びも大きいようだ。 C：茅ヶ崎市美術館にて「家族鑑賞会」 「夏の福袋2017動物美術館」にて5回実施。申込133名、参加92名。 「春季収蔵作品展」にて4回実施。申込134名、参加112名。 合計　申込267名、参加204名。（詳細別添） 【実施の流れ】 申込方法やアンケート内容等の協議　→　冊子に夏展の鑑賞会日時を掲載、アンケート作成、春展鑑賞会用にチラシ作成 展示ごとに：広報ちがさき掲載　→　美術館にて展示下見　→　鑑賞の流れや解説等の検討 当会メール・申込み専用フォームにて申込受付　→　申込み多数につき追加実施を検討、連絡　→　欠席連絡が入る都度、キャンセル待ちの方へ連絡　→　順次実施　→　アンケート集計 親子連れの事業はどうしても欠席者が出てしまうので、申込受付時に、欠席連絡をお願いしておき、欠席者が出た場合はキャンセル待ちの方へ連絡し、全員来たとしても対応できる多めの人数で予約受付するなど、できるだけ多くの方に参加していただけるよう対応した。 そのような対応をしても受付しきれない人数の申込みがあったので、予算を考慮しつつ効率的な運営に努め、実施回数6回予定のところ9回に増設して実施できた。 【昨年度の課題改善】 「日頃の育児に役立つ方法」についての提供が課題となっていたが、ガイダンス方法や年令ごとグループで鑑賞するなどの工夫で、やや改善した。 【課題】 ご家族（お父さん）に抱っこされている子が複数名、作品に触れてしまった。ガイダンスは大人向けでもあるのだが、より伝わるよう努力する。 【成果】 大人数の鑑賞会を、複数回、無事に開催できたことを、まず関係各位の皆様へお礼申し上げます。 アンケート結果など大変好評だった。昨年度より美術館へ来場する習慣のある方が増えるなど、美術に親しみを持っていただくことと、市内の文化的資源である美術館活用の機会増大に多少寄与できた様子。広報ちがさき

	へのカラーページ特集記事掲載、春展チラシは小学校全児童への配布がかなうなど、周知効果が高かった。ほか、当団体 HP、Facebook、レディオ湘南出演などで広報を行った。 出張講座を受けた園児ご家族複数名から「鑑賞会での作品の見方、話す様子などが出張講座での学びによる成長と見られ、大変感動した」とのお話をいただいた。また昨年「家族鑑賞会」に参加したお子さんが昨年の展示作品を記憶していて、それについて語る場面に親御さんも感じ入っていた。鑑賞会は子どもの成長を確認する場になるので、毎年、行うことの意義が大きい。
事業の参加者等	茅ヶ崎市内の保育園・幼稚園の園児、小学生、子育て世帯など。 上記内容と別添資料をご参照ください。
実施日程等	A：鑑賞出張講座 4〜6 月　協議、園長会にて周知 5〜8 月　内容作成、パネル作業 6 月　申込開始 8 月　作品拝借 1 月　申込み定数超過園への追加実施検討、連絡 10〜2 月　実施、作品返却 B：冊子制作 4〜5 月　美術館を交えた協議 5〜7 月　著作権者許諾確認、写真データ拝借、原稿制作、 デザイン作業、 校正、入稿、納品、配布 C：家族鑑賞会 7 月　夏の福袋展　展示内容の確認 7〜8 月　美術館下見、内容検討、申込開始、実施 2 月　春季収蔵作品展　展示内容の確認、 美術館下見、内容検討、申込開始、実施 10 月：中間報告 順次：打合せなどの協議、会計、実施報告、次年度の協議など 2〜3 月：アンケート集計、年度末報告書、収支決算書、評価書等の作成
	協働推進事業終了後の平成 30 年度は、 鑑賞出張講座：茅ヶ崎市委託事業 家族鑑賞会：茅ヶ崎市美術館事業 という形で継続していくこととなった。 また市民に浸透しはじめた「みるっこ」事業の良さを発展させるべく、積極的に乳幼児から小学生への美術に関する講座を開催し、「みるっこ」プログラムの内容をより発展させ、育てていきたいと考えている。

収 支 決 算 書

協働推進事業費
（総事業費）　　１，１８０，０００　　円

（収　入）　　（円単位）

区　分	当初予算額	決算額	内訳（内容、数量、単価など）
A　委託料または負担金の額	1,180,000	1,180,000	市の支出金
B			
C			
D			
E　収入合計額（A＋B＋C＋D）	1,180,000	1,180,000	

※収入欄には、市の支出金のほか、参加費、寄附金等の収入を記入して下さい。

（支　出）　　（円単位）

区　分	当初予算額	決算額	内訳（内容、数量、単価など）
F　人件費	819,000	845,025	A.　鑑賞出張講座　303,375 円 事前：17 園にて打ち合わせ、教材制作、スタッフ用レジメ作成　(1 名) 1,000 円×107.5h＝107,500 円 パネル改訂　デザイン専門スタッフ(1 名) 1,500 円×1h＝1,500 円 当日：17 園 25 クラス 準備～実施～片づけ、申し送り(9 人で分担) 1,000 円×134.75h＝134,750 円 講師専門スタッフ(2 人で分担) 1,500 円×39.75h＝59,625 円 B.　冊子制作　103,125 円 デザイン専門スタッフ(1 名) 1,500 円×42.75h＝64,125 円 原稿作成、各所連絡、校正 (3 人で分担) 1,000 円×39h＝39,000 円 C.　家族鑑賞会：205,775 円 事前：2 展示分の下見、打ち合わせ(7 名)、レジメ作成(1 名) 1,000 円×121h＝121,000 円 チラシ作成　デザイン専門スタッフ(1 名) 1,500 円×6.1h＝9,150 円

			当日：実施 9 回 1,000 円×55h＝55,000 円(6 名で分担) 講師専門スタッフ(1 名) 1500 円×13.75h＝20,625 円 全体に係る作業：232,750 円 チラシ原稿、アンケート作成、経理事務、 関係各所への連絡、アンケート集計、 報告書まとめ、報告会、市との打ち合わせ (3 人で分担) 1,000 円×232.75h
G　旅費交通費	64,000	52,540	A.　鑑賞出張講座 事前：8,380 円、当日：24,680 円 B.　冊子制作　1,860 円 C.　家族鑑賞会 事前：3,440 円、当日：9,880 円 全体に係る作業：4,300 円
H　通信運搬費	11,000	15,843	車両費　14,500 円 A～C の車使用日、チラシ・冊子・作品の 運搬　(公共交通運賃が 500 円以上になる 移動は車を使用し、上限 500 円とした) 500 円×29 回 作品・文書の郵送代　1,343 円
I　印刷製本費	88,000	130,948	A.　鑑賞出張講座　と　C.　家族鑑賞会　共通 アンケート・記録用紙の製版代　300 円 コピー用紙　298 円、インク代　4,060 円 B.　冊子制作 印刷代　97,290 円 C.　家族鑑賞会 チラシ印刷代　29,000 円
J　物品費	24,000	4,455	A.　鑑賞出張講座 画用紙　1,188 円 触れる油絵用のキャンバス　403 円 C.　家族鑑賞会 解説用図録　1,500 円 腕章・名前シール　1,364 円
K　賃借料	20,000	20,000	作品賃借料 10,000 円×お 2 人
L　観覧料	10,000	7,600	C.　家族鑑賞会　下見と当日の観覧料 夏展：300 円×のべ 16 人 春展：200 円×のべ 14 人
M　保険料	37,000	19,107	本事業に係る NPO 保険　7,236 円 鑑賞会行事保険　11,655 円 保険振込手数料　216 円
N　一般管理費	107,000	84,482	直接事業費の 10%以内
O　支出合計額 （F から M まで）	1,180,000	1,180,000	

平成 29 年度　美術「みるっこ」プログラム事業　鑑賞出張講座　実施結果　NPO 法人 赤ちゃんからのアートフレンドシップ協会

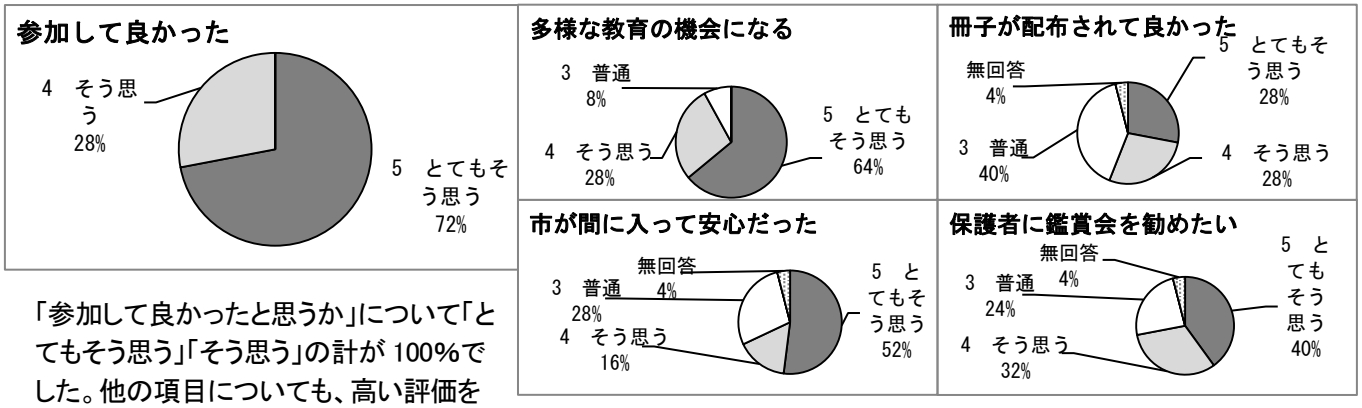
実施日	実施保育園 （クラス単位）	在籍数	出席数
10/24	湘南アイルド茅ヶ崎保育園	13	12
10/27	松浪れいらに保育園	17	15
11/1	浜見平保育園	30	27
11/17	マミー保育園茅ヶ崎	7	7
12/12→1/10 に延期	中海岸保育園	24	24
12/18	萩園愛児園	20	17
1/18	フィートリッヂ・フィールズ緑が浜	25	14
1/19	茅ヶ崎保育園	19	18
1/31	浜須賀保育園 ＊内容上 1 クラス 30 名まで。1 クラス 36 名だったため 2 回に分けて実施	18	14
1/31	浜須賀保育園	18	13
2/5→2/22 に延期	アスク茅ヶ崎保育園	20	18
2/13	あおぞら輝き保育園	5	4
2/26	湘南くすの木保育園	19	18
合計	12 園 13 クラス	235	201

実施日	実施幼稚園 （クラス単位）	在籍数	出席数
11/2	聖鳩幼稚園	19	18
11/2	聖鳩幼稚園	20	18
12/5、6	湘南マドカ幼稚園	29	29
12/5、6	湘南マドカ幼稚園	30	29
12/5、6	湘南マドカ幼稚園	29	29
12/5、6	湘南マドカ幼稚園	29	27
12/8	香川富士見丘幼稚園	28	28
12/8	香川富士見丘幼稚園	29	27
1/12	ひかりの子幼稚園	29	26
1/12	ひかりの子幼稚園	29	26
1/30	茅ヶ崎松若幼稚園	29	27
1/30	茅ヶ崎松若幼稚園	29	29
合計	5 園 12 クラス	329	313

計 17 園 25 クラス（在籍 564 名）出席 514 名
（うち昨年度実施　9 園 12 クラス）

【アンケート結果】回答数 25 クラス

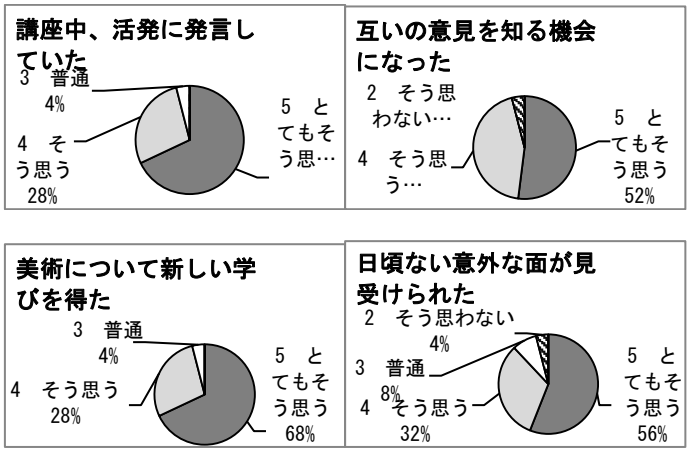
1. 講座について



「参加して良かったと思うか」について「とてもそう思う」「そう思う」の計が 100%でした。他の項目についても、高い評価を頂きました。

「冊子が配布されて良かったか」については、講座終了時に手渡していた 28 年度の方が良かったと思って頂けていました（28 年度「とてもそう思うと「そう思う」の計 88%）。今年度は夏休み前に一斉配布したため、10 月～2 月の講座時には冊子についてのご記憶が薄い状況でした。

2. 子どもたちについて



園のコメントより（抜粋）

・絵を描くことを苦手と感じている子が、初めは興味がないように見えていたのが、自分から版画にさわっていたり落ち葉を描いている姿に驚きました（茅ヶ崎松若幼稚園①）

・普段とはまた違った子どもたちの新たな一面を見ることができ、私たち保育士にとっても、良い機会となりました（湘南アイルド茅ヶ崎保育園）

3.　講座後の園児さんの変化、エピソード（抜粋）

＜友だちとのコミュニケーション＞　10 クラス
・他のお友達の描いた葉っぱの絵を見て、「カラフルでかわいい！」「本物の葉っぱみたいな色で上手だね！」などと、子ども同士で会話が盛り上がっていました（湘南マドカ幼稚園②）
・子どもたちが描いた葉っぱの絵をクラスに飾っていたら「コレ誰が描いたの？！すっげぇ～！！」「コレはオレだよ！！」と普段はおとなしい子がとても嬉しそうに満面の笑みで、照れている姿を見られたので、講座に参加して良かった！と感じる瞬間でした（松浪れいらに保育園）

＜「見る目」の変化＞　8 クラス
・散歩等で看板やポスターなどみると、不思議を多く意識してみつけるようになり、歩いていても更に楽しくなった（マミー保育園茅ヶ崎）他「絵本」「木々や葉」など
・作品展（園内）を観る際、みるっこで教わった鑑賞の仕方を思い出し、実践していた。2 月初旬に行われたにもかかわらず覚えていた（萩園愛児園）
・講座の中で拾って来た葉を描いたことで、次の日、自分たちが育てていた大根の観察画では丁寧に観察し、特に葉の枚数を数えたり、じっと見ている姿もあった（湘南くすの木保育園）

＜描画の変化、楽しさ＞　8 クラス
・教えてもらった技法を子どもたちが取り入れて自由画を描くようになりました（中海岸保育園）
・葉っぱを使ったお絵描きが印象に強かったようで、そのあともやっていました。色使いも豊かになった子もいて、とても良かったです（浜見平保育園）
・事前の葉っぱ拾いの時の場面を思い出して、黄色のチョウチョや緑の草、茶色の葉など、たくさんの色を使い描いていたことに驚かされました。直接葉っぱに描いたり、個性も豊かに表現することができていたので、それぞれが楽しめていた様子でした。散歩に言った時に「この葉っぱ、描こうよ！！」と子どもたちからも発言もありました（松浪れいらに保育園）

＜親子のコミュニケーション＞　5 クラス
・飾った絵をお母さんに自慢気にみせたり、「こうやって描いたんだよ」と教える姿がありました（聖鳩幼稚園①）
・休みの日に家の周りの葉っぱを拾って家でも描いたという方もいた（香川富士見丘幼稚園①）

＜冊子を見てディスカッション＞　4 クラス
・園にも絵画のポストカード等を鑑賞できるよう用意したところ、じっくり観て意見交換している姿も見られました。頂いた冊子を手に取り「この絵、前に見たよね」「やっぱりこの絵が好きだな」など感想を再び言い合っていました（ひかりの子幼稚園①）

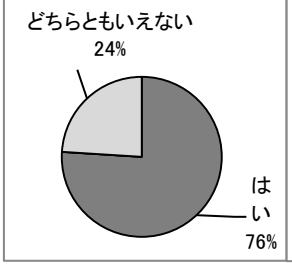
＜発言の自由、楽しさ、自信＞　4 クラス
・講座中に「自分の思ったことを言う」という時間があったので、その時間のおかげで普段の生活でも発言する機会が多くなったと思いました（湘南マドカ幼稚園③）

＜美術館への興味＞　3 クラス
・お母様から子どもがとても楽しかったようで、家で様子を教えてくれ、美術館に行きたい！と話していたと教えてくれました。冊子も熱心に 2 人で見ていました（茅ヶ崎保育園）
・楽しかった印象が残っているようで「どこに飾ってある絵なのかな？見に行きたいな」など話す子どももいました（ひかりの子幼稚園②）

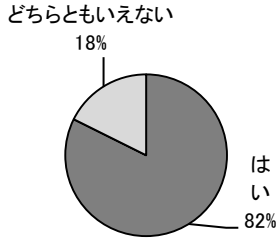
＜小学校への憧れ＞　1 クラス
・本物の絵を触れる時間、版画を触ったことがきっかけで、小学校で早くやりたいという意欲が芽生えた（茅ヶ崎松若幼稚園②）

4. 30 年度以降も参加希望か

（クラス単位で集計：25クラス）



（園単位で集計：17園）



はい　理由
・絵画に触れる機会、美術館での約束など、園ではなかなか経験できないので（浜須賀保育園②）
・昨年度、今年度と参加させて頂いたので新年度の子も体験できたら良いなと思います（アスク茅ヶ崎保育園）

いいえ　理由
・子どもたちの新たな面を知ることが出来たので是非参加したいが、来年度のクラス編成や行事予定がまだ確定していない為どちらともいえない（湘南マドカ幼稚園②）

その他
・たくさん体験させてあげたくなりました。美術館の方へも、子どもたちを連れて行きたくなりました。本物にふれる、見る、感じることは、世界を広げることですばらしい体験でした。また参加したいです（あおぞら輝き保育園）

平成 29 年度　美術「みるっこ」プログラム事業　家族鑑賞会　実施結果　NPO 法人 赤ちゃんからのアートフレンドシップ協会

実施日　「夏展」平成 29 年 7 月 23 日(日)①②、25 日(火)①②、8 月 1 日(火)①、
「春展」平成 30 年 2 月 17 日(土)①②③、21 日(水)①

参加人数　204 名

月日		「夏展」平成 29 年 7 月 23 日(日)		25 日(火)		8 月 1 日(火)	「春展」平成 30 年 2 月 17 日(土)			2 月 21 日(水)	計
回		①	②	①	②	①	①	②	③	①	9 回
人数	大人	11	11	9	9	9	9	11	11	12	92 名
	子ども	11	8	18	11	13	15	12	10	14	112 名
	計	41		47		22	68			26	204 名

【アンケート結果】

102 回答(子 1 人につき 1 枚回答)

年齢	0 歳	1 歳	2 歳	3 歳	4 歳	5 歳	6 歳	7 歳以上	合計
人数	10	24	12	9	15	10	11	11	102 回答

1. 知ったきっかけ(複数回答あり)

夏展 56 回答

みるっこ冊子の裏表紙に鑑賞会の日時を記載し、全保育園児・幼稚園児に 7 月上旬に配布。

みるっこ冊子をもらった　22 名(NAS で 2)
広報ちがさき　16 名
インターネット 6 名(美術館 HP2、無回答 4)
その他　6 名(案内メール 5、無回答 1)、チラシ　4 名(小学校 2、市役所 1、保育園 1)、友人から 3 名、お子さんが園で出張講座を受けた 2 名、無回答 1 名

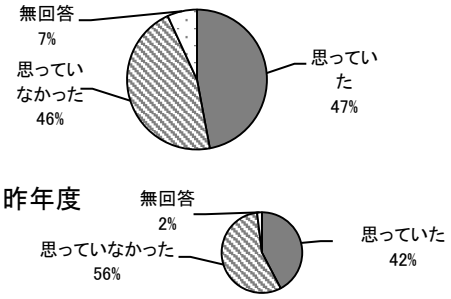
春展 46 回答

みるっこ鑑賞会チラシを作成し、全保育園児・幼稚園児に 1 月半ば～2 月初めに配布。

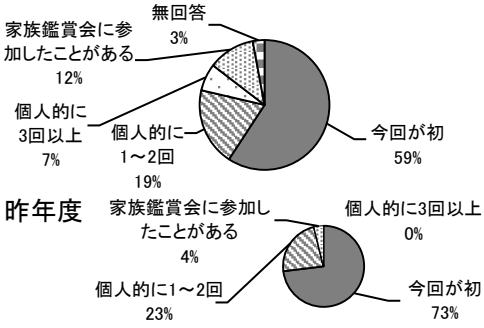
チラシをみて　22 名(保育園 8、幼稚園 5、小学校 5、ハマミーナ 2、なみっこ 1、姉の園 1)
広報ちがさき　9 名
子が園で出張講座を受けた 5 名
友人から 4 名、その他 3 名(親子鑑賞会 1、赤ちゃんアート参加 2)、みるっこの冊子をもらった 1 名、無回答 2 名

周知方法は「実施直前に」「園を通じて」「子ども(家族)向けの冊子やチラシを配布する」ことが効果的である、とわかりました。
また美術館ご作成の展覧会チラシにもみるっこ鑑賞会の案内を載せてくださったので、より目にとまりやすい状況になりました。

2. 子連れで鑑賞できると



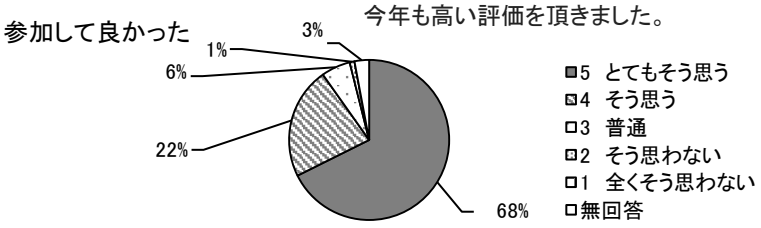
3. 茅ヶ崎市美術館で有料の展示を子どもと鑑賞したことがあるか



子連れで鑑賞できると「思っていた」という方が昨年度より 5%増加。「みるっこ」プログラム事業で、乳幼児の鑑賞会がより多く開催され、冊子配布や広報掲載など「目に留まる」機会も増えました。子連れで鑑賞できることの理解が少しずつ広がってきています。
また「茅ヶ崎市美術館で有料の展示を子どもと鑑賞したことがあるか」は「今回が初」が 14%減少し、複数回来館している方が増加しました。

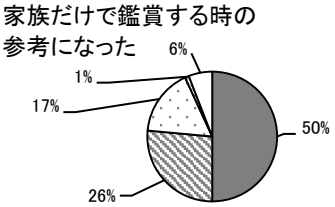
4. 本日の鑑賞会について

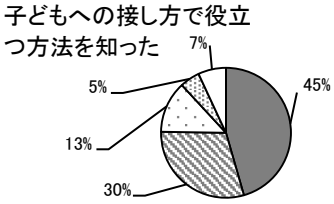
「とてもそう思う」「そう思う」の計が 90%と今年も高い評価を頂きました。

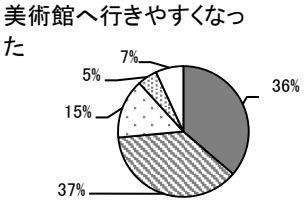


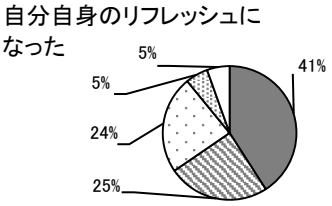
「とてもそう思う」「そう思う」の計

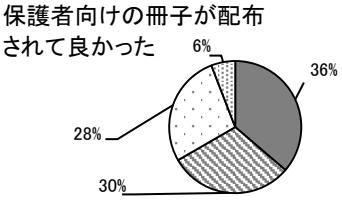
「家族だけで鑑賞する時の参考になった」	76%
「子どもへの接し方で役立つ方法を知った」	75%
「美術館へ行きやすくなった」	73%
「自分自身のリフレッシュになった」	66%
「保護者向けの冊子が配布されて良かった」	66%
「他の家族やお子さんを見ることができて良かった」	58%

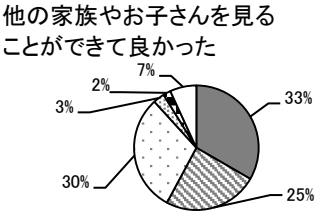








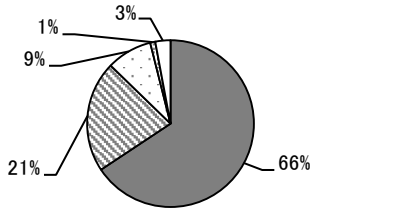




「冊子が配布されて良かったか」については、鑑賞時の展覧会で、冊子に掲載した全ての作品が展示されていた 28 年度の方が良かったと思って頂けていました(28 年度「とてもそう思うと「そう思う」の計 81%)。冊子については「掲載作品が実際に展示されているか」、展示との連動性がキーになっているかもしれません。

5. 鑑賞会で、お子さんについて

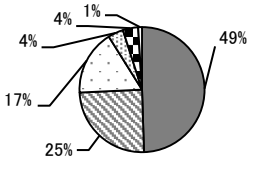
子どもに良い影響がある



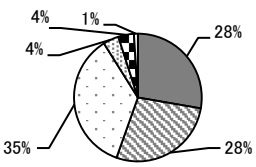
「とてもそう思う」「そう思う」の計

「子どもに良い影響がある」	87%
「自分の好みや意見を伝えていた」	74%
「美術について新しい学びを得た様だ」	56%
「日頃ない意外な面が見受けられた」	53%
「人への配慮や作品保護などマナーがわかったようだ」	50%
「他の子に刺激を受けていた」	44%

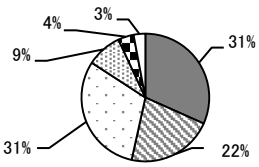
自分の好みや意見を伝えていた



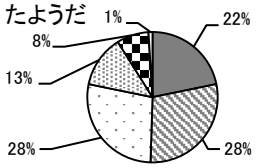
美術について新しい学びを得たようだ



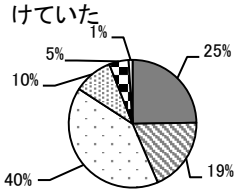
日頃ない意外な面が見受けられた



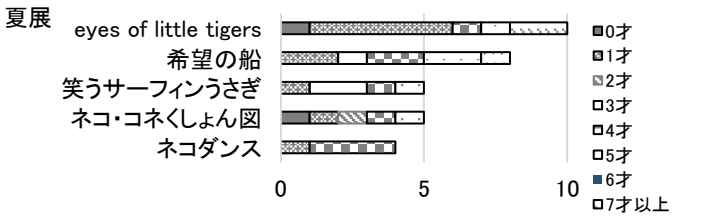
人への配慮や作品保護などマナーがわかったようだ

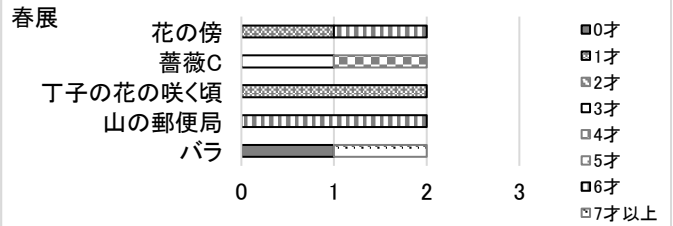


他の子に刺激を受けていた

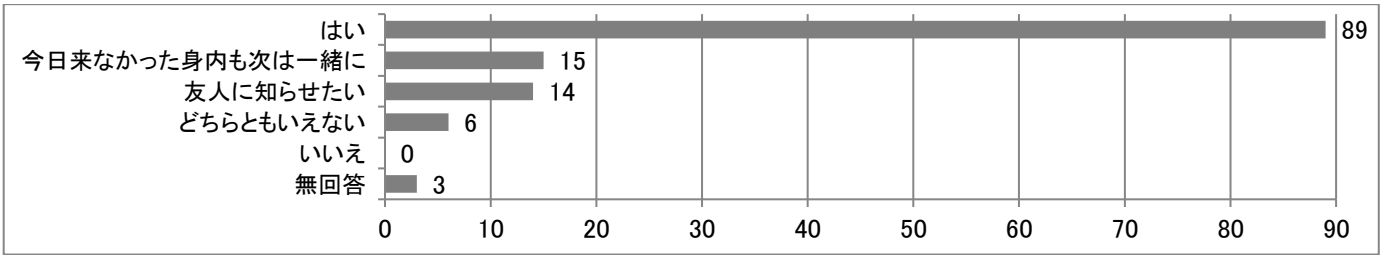


6. 好まれた作品

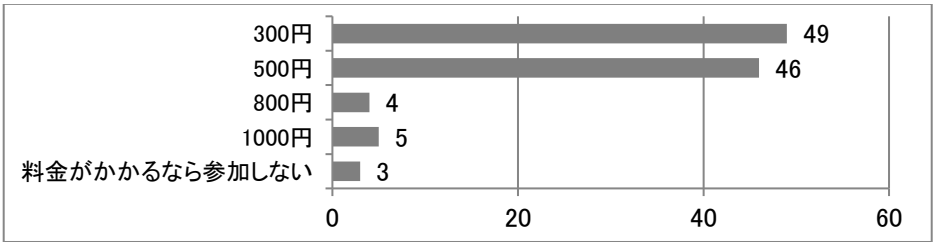




7. 今後もこのような鑑賞会に参加したいですか（複数回答あり）



8. 観覧料のほかに参加費がかかるとしたら、いくらくらいでしたら参加なさいますか（複数回答あり）



協働推進事業終了に伴い、今後の参考に受益者負担についてお尋ねしてみました。
参加費がかかることについて好意的なご回答でした。
今後、参加費を頂くかは未定で、観覧券は各自ご購入頂いているので、できれば参加無料で実施したいと考えています。

自由記述より

・楽しかった（10 名）
・勉強になった、理解が深まった（10 名／作品についての説明 4、子どもへの対応アドバイス 2）
・良かった（5 名／子ども中心の鑑賞 3、わかりやすい説明 2）
・子ども中心に鑑賞できる、子どもが感じるものを聴くことができた（5 名）
・次に来た時の成長を見てみたい（4 名）
・子どもに様々な色・形・作品を見せてあげられる（3 名）
・個人で行くより安心（3 名）
・「またきたいです」（4 歳 6 ヶ月本人の手書きメッセージ！）

改善ご意見（2 名）
・（夏展で）さわりたい気持ちがどうしてもでてきてしまう時期なので 1 歳には早いと思った。親も各自気を付けていても思わぬ行動をするので子ども×美術館はこわいと思いました（抜粋　1 歳 7 ヶ月）
→ （上記ご意見をふまえ春展で工夫）年齢グループに分かれて鑑賞し、他家族との関わりや支え合いを生むようにする。会で「さわれる作品」を持参、それをさわってもらう。
・（春展で）参加したいですがずっと抱っこは思いです（2 歳 10 ヶ月）
→ （次年度～）ソファに座って鑑賞して頂いてよいことを、より頻繁に伝えるようにする。

家族鑑賞会の様子

応募多数につき年間6回のところ９回に増設して実施しました。
0歳から10歳のお子さん112名、保護者92名の計204名参加。

鑑賞時の小さい子への関わり方やマナーについて解説、展示室へ。
今年は、昨年度のげんき基金で制作した「鑑賞についての動画」を
事前にご案内し、ご自宅で見て来て頂きました。

お父さんも多数参加。

冊子を参照して鑑賞の方も。

出張講座に参加した園児さんのご家族は、自身の子の着眼点や様子に驚いていました。

鑑賞出張講座の様子

パネルを介した鑑賞ディスカッション、本物の作家さんの作品鑑賞に加え、
今年は「より五感や経験とリンクした形」を意識し2点新しく構成しました。

新構成の1つ「さわれる作品」。
油絵や日本画で「さわれる作品」を作成し、持参しました。
子どもたちはもちろん、先生方も喜んでさわってくださいました。

新構成2点目は「葉っぱのワーク」。冊子掲載の作品に植物が多く描かれていたことから、描くテーマを「葉っぱ」にしました。
葉っぱを事前に園で子どもたちと集めて頂くようお願いして、
「皆で葉っぱを拾う経験で、記憶と体感を喚起」しました。
描く際は「さわったり、においをかぐ」ことからスタート。削る描法、
フワフワした感じを出すための描法なども盛り込みました。
園児さんの描きたい気持ちがぐんぐん広がった様子です。
その後の園児さんの変化についても、アンケートで多数、言及頂きました。

鑑賞出張講座も応募多数につき予算執行の効率化に努め、予定の20クラス以上の25クラス実施しました。

協働事業評価書

事業名	美術「みるっこ」プログラム事業
団体名	NPO法人赤ちゃんからのアートフレンドシップ協会
担当課名	文化生涯学習部文化生涯学習課

目標の設定

事業実施前に、事業の実施により達成する目標や、受益者評価の目標を設定してください。

成果目標　　各項目については、実施団体と担当課が協議の上で決定してください。

目標とする成果（何がどう変化することを目指すのかを記入してください。）

・幼児への鑑賞教育の普及
・乳幼児の子育てをする家族へ、親子間の新たなコミュニケーションの場や方法を提供する
・美術による子育て支援という新たな価値を創出、市の財産である美術館の有効利用を拡大する
・美術館の認知度を高めるとともに、子ども連れで美術館に訪れることができるということを周知する

活動指標（サービスやイベントなどの実施内容）	対象者等	目標値	結果
ア. 鑑賞出張講座の実施クラス数 イ. 冊子の作成及び配布 ウ. 家族鑑賞会の参加者数	ア. 市内保育園（42園）・幼稚園（17園） イ. 市内保育園（42園）・幼稚園（17園）の年長児の家族、鑑賞会の参加者など ウ. 家族鑑賞会に参加した親子	ア. 20クラス イ.10,000部 ウ. 120名	ア. 25クラス（予定より5クラス増やして実施） イ. 作成10,000部、配布：9,724部 ウ. 204名（予定6回のところ9回に増やして実施）

受益者評価の目標値

評価手法	対象者等	目標値
【鑑賞出張講座アンケート】 A事業（鑑賞出張講座）も対する満足度	鑑賞出張講座に参加した市内保育園・幼稚園の園長・クラス担任など	アンケート項目「講座に参加して良かった」の回答尺度4～5の割合が60%以上
①【鑑賞出張講座アンケート】 ②【家族鑑賞会アンケート】 B事業（鑑賞冊子）に対する満足度	①鑑賞出張講座に参加した市内保育園・幼稚園の園長・クラス担任など ②家族鑑賞会に参加した保護者	①アンケート項目「冊子が配布されて良かった」の回答尺度4～5の割合が60%以上 ②アンケート項目「保護者向けの冊子が配布されて良かった」の回答尺度4～5の割合が60%以上
【家族鑑賞会アンケート】 C事業（家族鑑賞会）に対する満足度	家族鑑賞会に参加した保護者	アンケート項目「講座に参加して良かった」の回答尺度4～5の割合が60%以上

受益者評価ができない場合、その理由を記入してください。

中間評価

中間評価1

事業の進捗状況、今後の予定、課題等について

進捗状況	4月下旬より：冊子および家族鑑賞会に関する準備 6月1日より：各園へ鑑賞出張講座の募集開始 7月上旬：冊子納品、配布、広報紙等への鑑賞会記事掲載 7月下旬～8月：茅ヶ崎市美術館にて夏季家族鑑賞会実施 8月下旬：鑑賞出張講座用の作品借用 9月下旬より：鑑賞出張講座の打ち合わせ、準備
今後のスケジュール	10月～2月：鑑賞出張講座の打ち合わせ及び実施 2月：茅ヶ崎市美術館にて春季家族鑑賞会実施 3月：期末評価および報告書等の作成
課題	・30年度以降の事業手法の検討 ・28～29年度冊子残部の配布

中間評価

中間評価

各項目の評価

下記の評価項目について、1点から5点の評価または、設問に沿ったコメントを記入してください。

評価得点の目安

高
5点・・事業実施前の想定をはるかに良い方向に上回った
4点・・事業実施前の想定をやや良い方向に上回った
3点・・事業実施前に想定した範囲の評価であった
2点・・事業実施前の想定より評価がやや低いと感じられた
低
1点・・事業実施前の想定より評価がはるかに低いと感じられた

協働プロセス

相乗効果	評価点数・団体	評価点数・行政
1. それぞれが単独で行うよりも大きな効果を得ることができていますか	4	4
	↑ 1点から5点を記入	↑ 1点から5点を記入

事業内容の評価

事業の進捗状況	評価点数・団体	評価点数・行政
2. 事業は計画通りに進捗していますか	4	4
	↑ 1点から5点を記入	↑ 1点から5点を記入
1点及び2点と評価した場合、理由を記入してください→		
	↑コメントを記入してください	↑コメントを記入してください

事業手法の妥当性	評価点数・団体	評価点数・行政
3. この事業を協働という事業手法で行うことが最善であると感じましたか	4 ↑　1点から5点を記入	4 ↑　1点から5点を記入
そのように感じる理由を記入してください→	作家の許諾や、美術館、幼稚園保育園との連携など、市が間に入ることで円滑に行われた。市の広報にて広く周知できた。 ↑コメントを記入してください	市、美術館、実施団体の3者が連携し、各々の特性を生かしながら取組むことができた。 ↑コメントを記入してください

事業手法の妥当性	評価点数・団体	評価点数・行政
4. 事業を実施する事により市民の満足度を高めることができそうであると感じますか	5 ↑　1点から5点を記入	4 ↑　1点から5点を記入
そのように感じる理由を記入してください→	鑑賞出張講座の申込みが、開始日翌日までに定数以上となり、昨年度の実績を園から好意的に評価されていると感じる。また夏季の家族鑑賞会の申込みも定数を大幅に超えたため、回数を予定していた3回から5回に増して対応。市民から期待されていると感じた。 ↑コメントを記入してください	28年度と比較し「みるっこ」という事業名が浸透してきているように感じた。家族鑑賞会の参加者は、初めて美術館に来館するご家族も多く、「小さな子ども連れでも美術鑑賞できる」ということを子育て世代に向けて働きかけができているように感じた。 ↑コメントを記入してください

期末評価

期末評価について

各項目の評価

下記の評価項目について、1点から5点の評価または、設問に沿ったコメントを記入してください。

評価得点の目安

高
5点・・事業実施前の想定をはるかに良い方向に上回った
4点・・事業実施前の想定をやや良い方向に上回った
3点・・事業実施前に想定した範囲の評価であった
2点・・事業実施前の想定より評価がやや低いと感じられた
低
1点・・事業実施前の想定より評価がはるかに低いと感じられた

協働プロセス

目的共有	評価点数・団体	評価点数・行政
1. 事業内容は共有できましたか	4 ↑　1点から5点を記入	4 ↑　1点から5点を記入

役割分担	評価点数・団体	評価点数・行政
2. 協定書で定めた役割分担は適正でしたか	4 ↑　1点から5点を記入	4 ↑　1点から5点を記入

対等性と相互理解	評価点数・団体	評価点数・行政
3. 対等な関係で意見交換や事業を推進することができましたか	4	4
	↑ 1点から5点を記入	↑ 1点から5点を記入

自主性と自立性	評価点数・団体	評価点数・行政
4. 互いの立場、役割を理解して事業を進めることができましたか	4	4
	↑ 1点から5点を記入	↑ 1点から5点を記入

透明性と公開性	評価点数・団体	評価点数・行政
5. 事業に関する情報を広く公開し、事業の状況を周知することができましたか	5	5
	↑ 1点から5点を記入	↑ 1点から5点を記入

相乗効果	評価点数・団体	評価点数・行政
6. それぞれが単独で行うよりも大きな効果を得ることができましたか	4	5
	↑ 1点から5点を記入	↑ 1点から5点を記入

協働プロセスの総合評価	評価点数・団体	評価点数・行政
7. 1～6の視点で、協働プロセスを総合的に評価してください	4	4
	↑ 1点から5点を記入	↑ 1点から5点を記入

最終評価	A 左のA～Eを記入 A:十分達成できた　B:ほぼ達成できた　C:課題も残ったが概ね達成できた D:あまり達成できなかった　E:ほとんど達成できなかった
最終評価の理由や根拠などを記入してください	目的もプロセスもしっかりと共有することができた。そのことが、スムーズな事業進行を可能とし、受益者の好評価につながったと考える。

事業内容の評価

事業目的目標達成度	評価点数・団体	評価点数・行政
1. 事業計画に記載した事業目的は達成できましたか	5	4
	↑ 1点から5点を記入	↑ 1点から5点を記入
2. 評価書で設定した成果目標は達成できましたか	4	4
	↑ 1点から5点を記入	↑ 1点から5点を記入

事業スケジュール	評価点数・団体	評価点数・行政
3. 事業計画書のスケジュールどおりに実施できましたか	4	4
	↑　1点から5点を記入	↑　1点から5点を記入

事業手法の妥当性	評価点数・団体	評価点数・行政
4. この事業を協働という事業手法で行うことが最善であると感じましたか	4	4
	↑　1点から5点を記入	↑　1点から5点を記入
そのように感じる理由を記入してください→	著作権者の許諾、美術館、幼稚園保育園への連絡など、市が間に入ることで実現した。また2月の鑑賞会は小学校校長会で通知頂きチラシを全児童に配布、より幅広い年齢の子と家族に周知できた。団体独自では掲載できない市広報紙に掲載、かつカラーページ特集して頂けるなど市の周知支援が大きかった。	市、実施団体、美術館の三者が連携し、各々のスキル等を活かし役割分担をしながら良い形で進めることができた。 特に鑑賞出張講座は、市や美術館の職員ではマンパワー的に実施が厳しいが、協働という形で乳幼児鑑賞教育に精通する団体が入ることで、園の先生方との調整から講座の実施まで安心して任せることができた。
	↑コメントを記入してください	↑コメントを記入してください

市民（受益者）満足度	評価点数・団体	評価点数・行政
5. サービスの受け手となる市民のニーズや意見、その他情報収集に努めましたか	3	4
	↑　1点から5点を記入	↑　1点から5点を記入
6. 事業を実施した事により市民満足度は高まったと感じますか	4	4
	↑　1点から5点を記入	↑　1点から5点を記入
そのように感じる理由を記入してください→	「家族鑑賞会」アンケート結果で「子連れで鑑賞できると思っていた」が微増、美術館の有料展示を子どもと一緒に鑑賞した経験」が増加。子連れで鑑賞できるという認知が高まり、地域資源である美術館を市民が活用する機会の増大に寄与した可能性がある。「鑑賞出張講座」アンケート結果では、先生方より、園児の生き生きした様子、教育的効果や保育士の専門性以外の美術的アプローチについて言及多数。園児に対する新しい教育方法として評価された。	美術館で乳幼児などの小さなお子さん連れでも一緒に美術鑑賞できることを周知でき、また「みるっこ」という愛称で事業の認知度が高まったようにも思う。 30年度以降も鑑賞出張講座や家族鑑賞会を引き続き実施することにより、美術的アプローチによる教育普及と、美術館利用者の増加につながることを期待する。
	↑コメントを記入してください	↑コメントを記入してください

事業内容の総合評価	評価点数・団体	評価点数・行政
7. 1～6の視点で、事業内容を総合的に評価してください	4	4
	↑　1点から5点を記入	↑　1点から5点を記入

予算の妥当性	評価点数・団体	評価点数・行政
8. 事業を進める上、当初設定した予算は、想定よりも有効に活用されたと感じますか	4	4
	↑ 1点から5点を記入	↑ 1点から5点を記入

最終評価	A 左のA～Eを記入 A:十分達成できた　B:ほぼ達成できた　C:課題も残ったが概ね達成できた D:あまり達成できなかった　E:ほとんど達成できなかった
最終評価の理由を記入してください	地域にある芸術資源を活用し、美術による子どもたちへの新しい教育方法を構築したこと、美術館をより市民にとって身近にする機会を作ったこと、子どもとの鑑賞方法や作品の理解普及を行ったこと、園へ出張する講座・冊子・家族鑑賞会の3つを連動させた新しい事業形態を構築したこと、など充実した結果を残せたと思われるため。

市民提案型　12　これから働きたいママのための起業・就業支援事業
（うみのあお、そらのあお・男女共同参画課・雇用労働課）

協働推進事業実績報告書

平成３０年４月２３日

（あて先）茅ヶ崎市長

所在地
提出者　名　称　うみのあお、そらのあお
代表者氏名　　橋本　笑穂

平成２９年度（行政提案型・(市民提案型)）協働推進事業の実績について、次のとおり報告します。

事業の名称	これから働きたいママのための起業・就業支援事業
担当課名	男女共同参画課、雇用労働課
事業の内容等	別紙「協働推進事業実施結果」のとおり

※この実績報告書には、収支決算書及び最終評価（当事者評価後の協議を含む）終了後の協働事業評価書を添付してください。

※実績報告書の内容については、協働事業評価書の内容とともに、事業実施の翌年度５月から６月に開催する協働推進事業報告会で発表していただくことになります。

協働推進事業実施結果

事業の実施内容 ※できるだけ具体的に記入してください。	１．「これから働きたいママのためのプレおしごと講座」の実施 「柔軟な働き方」についての情報提供を行う講座を実施しました。具体的には、「柔軟な働き方」の例として、クラウドソーシングを利用した在宅ワーク、ものを作って売る仕事の２つをピックアップし、それぞれの働き方や実現のための具体的なノウハウを提供しました。また、各講座の最終回終了後に茶話会を実施し、参加者同士の交流を図りながら、グループインタビューを実施しました。 ○クラウドソーシングコース クラウドソーシングサービスを利用して在宅で仕事をスタートすることを目指すコースです。 （夏季開講：2回連続講座）各回2時間、定員20名、参加費無料 ・WEBライター編 ・デザイナー編 （秋季開講：2回連続講座）各回2時間、定員20名、参加費無料 ・WEBライター編 ・デザイナー編 ○ものづくりコース ものづくりの仕事の始め方と広げ方､商品企画やマーケティングのポイント､ワークスタイルや子育てとの両立のヒントなどを学ぶコースです。 （2回連続講座）各回2時間、定員20名、参加費無料 ・アクセサリー作家編 ・革小物作家編 ２．「これから働きたいママのための起業サポート」の実施 商品・サービスの企画立案、集客・販売手法等を基礎から学び、講座受講者自身のビジネスプランをまとめていく実践的な講座を実施しました。 ○商品・サービス企画コース 実際に事業を行っている方の事例を踏まえて、ニーズの見立て方、メニュー設計や価格設定の手法について学びながら、講座受講者自身のビジネスプランを作成するコースです。 （4回連続講座）各回　2時間、定員20名、参加費無料 ・ニーズを捉えた商品サービスの作り方 ・価格設定の考え方 ・商品・サービス計画まとめ・発表

	・創業に関する相談窓口・支援機関の紹介　※最終回は両コース共通実施 ○販売・集客戦略コース 実際に事業を行っている方の事例を踏まえて、ブログやＳＮＳ、ネットショップを通じた集客や広告の手法について学ぶコースです。 （4回連続講座）各回　2時間、定員20名、参加費無料 ・商品サービスの魅力の伝え方 ・ＳＮＳ・ブログの活用方法 ・ネットショップ・ブログ・ＳＮＳの始め方 ・創業に関する相談窓口・支援機関の紹介　※最終回は両コース共通実施 ３．「個人事業主登録・起業手続き勉強会」の実施 各講座の受講者向けに実施するフォローアップ講座です。フリーランスとして働いたり、事業を立ち上げたりする際に必要な事務手続きについて、税理士を講師に招き、税金・社会保険などについて話を伺いました。 ・夏季、冬季（各1回完結）2時間、定員20名、参加費無料 ４．「同窓会」の実施 過去３年間の講座受講者へのフォローアップとして、講座受講者自身の取り組みの進捗報告や相談、事業の宣伝など、自由に情報交換や交流ができる場を提供しました。 2時間、定員20名、参加費無料
事業の参加者等	１．「これから働きたいママのためのプレおしごと講座」の実施 ○クラウドソーシングコース（夏季開講）全2回　のべ34名 ○クラウドソーシングコース（秋季開講）全2回　のべ31名 ○ものづくりコース　全2回　のべ25名 ２．「これから働きたいママのための起業サポート」の実施 ○商品サービス企画コース　全4回　のべ61名 ○販売・集客戦略コース　全4回　のべ72名 ３．「個人事業主登録・起業手続き勉強会」の実施 ○夏季　11名 ○冬季　14名 ４．「同窓会」の実施 ○同窓会　8名

実施日程等	１．「これから働きたいママのためのプレおしごと講座」の実施 ○クラウドソーシングコース（夏季開講）6月8日・22日 ○ものづくりコース　6月13日・27日 ○クラウドソーシングコース（秋季開講）10月19日・11月16日 ２．「これから働きたいママのための起業サポート」の実施 ○商品・サービス企画コース　9月19日・10月3日・17日・11月28日 ○販売・集客戦略コース　10月24日・11月7日・21日・28日 ３．「個人事業主登録・起業手続き勉強会」の実施 ○夏季　7月4日 ○冬季　12月7日 ４．「同窓会」の実施 ○同窓会　2月6日

収 支 決 算 書

協働推進事業費

（総事業費）　　１，４４４，０００円

（収　入）　　（円単位）

区　分	当初予算額	決算額	内訳（内容、数量、単価など）
A　委託料または負担金の額	1,444,000	1,444,000	市の支出金
E　収入合計額	1,444,000	1,444,000	

※収入欄には、市の支出金のほか、参加費、寄附金等の収入を記入して下さい。

（支　出）　　（円単位）

区　分	当初予算額	決算額	内訳（内容、数量、単価など）
F　人件費	870,000	714,348	713.7 人時×時給 1,000 円 ・市と団体の定例 18 人時 ・団体内定例 132 人時 ・中間報告振り返り資料作成 18 人時 ・ポスターチラシの作成 15 人時 ・チラシポスターの掲示依頼 3 人時 ・HP・Facebook 管理 7.5 人時 ・アンケート集計フォーム作成 4 人時 ・講師打ち合わせ 24.5 人時 ・講座資料作成 104.75 人時 ・配布資料準備 17.25 人時 ・受講者問い合わせ対応 27.45 人時 ・講座当日運営 234.5 人時 ・アンケート集計分析 20 人時 ・イベントレポート作成 80.25 人時 ・その他（就業意識調査修正作業等)7.5 人時 振込手数料 648 円
G　謝金	212,000	152,000	講師謝金 ・これから働きたいママのためのプレおしごと講座 12,000 円×2 名×1 回 ・これから働きたいママのための起業サポート 12,000 円×2 名×2 回 ・個人事業主登録・起業手続き勉強会 40,000 円×1 名×2 回
H　旅費交通費	138,000	76,724	市定例 富士見町－茅ヶ崎駅南口　250 円×2×6 回 逗子－茅ヶ崎　410 円×2×6 回 団体内定例 北茅ヶ崎－茅ヶ崎　140 円×2×3 回 逗子－大船　170 円×2×1 回 市営プール前－茅ヶ崎駅南口　180 円×2×4 回 茅ヶ崎学園入口－辻堂駅南口　190 円×2×3 回 辻堂－大船　200 円×2×1 回

			新百合ヶ丘－相模大野　220 円×2×2 回 浜須賀入口－茅ヶ崎駅南口　250 円×2×3 回 富士見町－茅ヶ崎駅南口　250 円×2×4 回 海水浴場－茅ヶ崎駅南口　250 円×2×4 回 逗子－茅ヶ崎　410 円×2×2 回 辻堂－相模大野　500 円×2×2 回 講師打ち合わせ 茅ヶ崎学園入口－辻堂駅南口　190 円×2×2 回 辻堂－鎌倉　240 円×2×2 回 富士見町－茅ヶ崎駅南口　250 円×2×1 回 逗子－茅ヶ崎　410 円×2×1 回 配布資料準備 富士見町－茅ヶ崎駅南口　250 円×2×1 回 海水浴場－茅ヶ崎駅南口　250 円×2×1 回 講座当日運営 北茅ヶ崎－茅ヶ崎　140 円×2×15 回 市営プール前－茅ヶ崎駅南口　180 円×2×15 回 浜須賀入口－茅ヶ崎駅南口　250 円×2×16 回 富士見町－茅ヶ崎駅南口　250 円×2×15 回 海水浴場－茅ヶ崎駅南口　250 円×2×16 回 逗子－茅ヶ崎　410 円×2×14 回 新百合ヶ丘－茅ヶ崎　610 円×2×2 回 振込手数料 3,564 円
I　通信運搬費	15,000	17,228	WIFI レンタル　5,940 円 電話代(講師、受講者、担当課とのやり取り) 9,560 円 振込手数料　1,728 円
J　印刷製本費	61,000	76,475	夏季クラウドソーシングコースチラシ　2,110 円 夏季ものづくりコースチラシ　2,110 円 夏季クラウドソーシングコースチラシ(追加)　4,930 円 夏季ものづくりコースチラシ(追加)　5,110 円 夏季ものづくりコースチラシ(追加)　5,670 円 全講座共通チラシ　4,910 円 秋期講座チラシ　4,840 円 当日配布資料(全 16 回分)　46,255 円 振込手数料　540 円
K　消耗品費	2,000	2,916	文具類　1,836 円 クリップ　540 円 紙コップ　540 円
L　賃借料	0	0	
M　保険料	15,000	7,881	賠償責任保険　5,000 円 傷害保険　2,881 円
N　一般管理費	131,000	104,757	事業費(1,047,572 円)×10%以内
O　返納金		291,671	1,444,000 円-1,152,329 円
P　支出合計額 (F から O まで)	1,444,000	1,444,000	

協働事業評価書

事業名	これから働きたいママのための起業・就業支援事業
団体名	うみのあお、そらのあお
担当課名	男女共同参画課・雇用労働課

目標の設定

事業実施前に、事業の実施により達成する目標や、受益者評価の目標を設定してください

成果目標

各項目については、実施団体と担当課が協議の上で決定してください。

目標とする成果（何がどう変化することを目指すのかを記入してください。）			
子育て中の女性を対象に「これから働きたいママのためのプレおしごと講座」を実施し、柔軟な働き方の情報提供を通じて受講者の就業意欲を高め、就業（起業）への具体的な行動を促すことを目標とする。			
活動指標（サービスやイベントなどの実施内容）	対象者等	目標値	結果
「これから働きたいママのためのプレおしごと講座」受講後のアンケートにおいて、①就業意欲、②働き方イメージ、③行動イメージのいずれかが受講前に比べて高まった（具体的になった）人の割合	事業参加市民	50%	67%
「これから働きたいママのための起業サポート」受講者のうち実際に開業（商品の販売やサービス提供の開始）した人の割合	事業参加市民	20%	72%

受益者評価の目標値

評価手法	対象者等	目標値
「これから働きたいママのためのプレおしごと講座」受講後のアンケートにおいて、講座満足度が非常に満足またはやや満足と回答した人の割合	事業参加市民	80%

受益者評価ができない場合、その理由を記入してください。

中間評価

中間評価

各項目の評価

下記の評価項目について、1点から5点の評価または、設問に沿ったコメントを記入してください。

評価得点の目安

5点・・事業実施前の想定をはるかに良い方向に上回った
4点・・事業実施前の想定をやや良い方向に上回った
3点・・事業実施前に想定した範囲の評価であった
2点・・事業実施前の想定より評価がやや低いと感じられた
1点・・事業実施前の想定より評価がはるかに低いと感じられた

協働プロセス

相乗効果	評価点数・団体	評価点数・行政
1. それぞれが単独で行うよりも大きな効果を得ることができていますか	4	4
	↑　1点から5点を記入	↑　1点から5点を記入

事業内容の評価

事業の進捗状況	評価点数・団体	評価点数・行政
1. 事業は計画通りに進捗しているか	4	4
	↑　1点から5点を記入	↑　1点から5点を記入
1点及び2点と評価した場合、理由を記入してください→		
	↑コメントを記入してください	↑コメントを記入してください

事業手法の妥当性	評価点数・団体	評価点数・行政
3. この事業を協働という事業手法で行うことが最善であると感じましたか	4	4
	↑　1点から5点を記入	↑　1点から5点を記入
そのように感じる理由を記入してください→	市が関わることで集客が非常にしやすかった。市民団体が運営することで、茶話会を通じた個別聞き取りや情報提供、講座後のフォローも丁寧にできた。	団体の特性を生かし、子育て中の母親による目線で講座運営が行われた。今年度より新たに起業サポートを開始し、母親のニーズに合った就労支援に取り組んでいる。
	↑コメントを記入してください	↑コメントを記入してください

事業手法の妥当性	評価点数・団体	評価点数・行政
4. 事業を実施する事により市民の満足度は高めることができそうであると感じますか	4	4
	↑　1点から5点を記入	↑　1点から5点を記入
そのように感じる理由を記入してください→	3年目を迎え、初年度受講者のアクションが具体的な成果として見えてきた。今年度の結果が目に見えるのは少し先であると思われるが、確実に就労意欲を持つ母親の後押しになっている。	講座受講後のアンケートでは、受講者の満足度が高く事業の効果が出ている。また、参加者に対し継続して聞き取りを行った結果、就労に結びついていることが把握できている。
	↑コメントを記入してください	↑コメントを記入してください

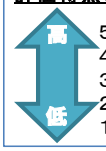
期末評価

期末評価について

各項目の評価

下記の評価項目について、1点から5点の評価または、設問に沿ったコメントを記入してください。

評価得点の目安



5点・・事業実施前の想定をはるかに良い方向に上回った
4点・・事業実施前の想定をやや良い方向に上回った
3点・・事業実施前に想定した範囲の評価であった
2点・・事業実施前の想定より評価がやや低いと感じられた
1点・・事業実施前の想定より評価がはるかに低いと感じられた

協働プロセス

目的共有	評価点数・団体	評価点数・行政
1. 事業内容は共有できましたか	4 ↑ 1点から5点を記入	4 ↑ 1点から5点を記入

役割分担	評価点数・団体	評価点数・行政
2. 協定書で定めた役割分担は適正でしたか	4 ↑ 1点から5点を記入	4 ↑ 1点から5点を記入

対等性と相互理解	評価点数・団体	評価点数・行政
3. 対等な関係で意見交換や事業を推進することができましたか	4 ↑ 1点から5点を記入	4 ↑ 1点から5点を記入

自主性と自立性	評価点数・団体	評価点数・行政
4. 互いの立場、役割を理解して事業を進めることができましたか	4 ↑ 1点から5点を記入	4 ↑ 1点から5点を記入

透明性と公開性	評価点数・行政	評価点数・行政
5. 事業に関する情報を広く公開し、事業の状況を周知することができましたか	4 ↑ 1点から5点を記入	4 ↑ 1点から5点を記入

相乗効果	評価点数・行政	評価点数・行政
6. それぞれが単独で行うよりも大きな効果を得ることができましたか	4 ↑ 1点から5点を記入	4 ↑ 1点から5点を記入

協働プロセスの総合評価	評価点数・団体	評価点数・行政
7. 1～6の視点で、協働プロセスを総合的に評価してください	4 ↑ 1点から5点を記入	4 ↑ 1点から5点を記入

最終評価	A 左のA～Eを記入
最終評価の理由や根拠などを記入してください	団体と担当課で定例を持ち、団体が講座後に実施している茶話会での聞き取り内容や講座アンケートの分析を一緒に読み込み、ディスカッションを重ねながら、事業を運営した。計画した事業を淡々と運営するのではなく、対象者が抱える課題の解決に役立つように創意工夫を重ねながら取り組むことができた。

A:十分達成できた　B:ほぼ達成できた　C:課題も残ったが概ね達成できた　D:あまり達成できなかった　E:ほとんど達成できなかった

事業内容の評価

事業目的目標達成度	評価点数・団体	評価点数・行政
1. 事業計画に記載した事業目的は達成できましたか	5	5
	↑　1点から5点を記入	↑　1点から5点を記入
2. 評価書で設定した成果目標は達成できましたか	5	5
	↑　1点から5点を記入	↑　1点から5点を記入

事業スケジュール	評価点数・団体	評価点数・行政
3. 事業計画書のスケジュールどおりに実施できましたか	4	4
	↑　1点から5点を記入	↑　1点から5点を記入

事業手法の妥当性	評価点数・行政	評価点数・行政
4. この事業を協働という事業手法で行うことが最善であると感じましたか	4	4
	↑　1点から5点を記入	↑　1点から5点を記入
そのように感じる理由を記入してください→	市と協働であることで事業への信頼感を獲得できた。また市報で告知をすることで、本事業の対象者に効果的にアプローチできた。	本事業の実施にあたっては団体の持つ講座の企画・運営ノウハウと人脈が不可欠なものとなっている。市と団体が互いの特性を活かすことで効果的なサービスを共に創りあげることができた。
	↑コメントを記入してください	↑コメントを記入してください

市民（受益者）満足度	評価点数・団体	評価点数・行政
5. サービスの受け手となる市民のニーズや意見、その他情報収集に努めましたか	5	5
	↑　1点から5点を記入	↑　1点から5点を記入
6. 事業を実施した事により市民満足度は高まったと感じますか	5	5
	↑　1点から5点を記入	↑　1点から5点を記入
そのように感じる理由を記入してください→	「チャレンジしたい気持ちになった」という声が多く聞かれ、実際に多くの受講者が仕事に向けたアクションを起こした。（プレおしごと56%、起業サポート72%）	受講者に対するアンケート調査だけではなく、過去の受講者も招いた同窓会を開催するなどして受講後の動向を調査し、講座の改善に絶えず取り組み満足度の高い講座の企画・運営につなげている。
	↑コメントを記入してください	↑コメントを記入してください

事業内容の総合評価	評価点数・団体	評価点数・行政
7. 1～6の視点で、事業内容を総合的に評価してください	5	5
	↑　1点から5点を記入	↑　1点から5点を記入

予算の妥当性	評価点数・団体	評価点数・行政
8. 事業を進める上、当初設定した予算は、想定よりも有効に活用されたと感じますか	5	5
	↑　1点から5点を記入	↑　1点から5点を記入

最終評価	A	A：十分達成できた　B:ほぼ達成できた　C:課題も残ったが概ね達成できた　D:あまり達成できなかった　E:ほとんど達成できなかった
	左のA～Eを記入	
最終評価の理由を記入してください	過去2年間の事業運営を通じて、事業の対象者が抱える課題やニーズをより精緻に見立てられるようになり、講座の内容や運営方法を工夫することができた。その結果、プレおしごと講座受講者の56%、起業サポート受講者の72%が、就業に向けたアクションや事業活動開始をすることにつながった。また事業運営の効率化もすすみ、より少ない予算で高い効果を上げられるようになった。	